

Canon

POWER
PROJECTOR

4K600STZ
4K600Z

使用説明書




AISYS
Aspectual Illumination
System


WiFi[®]
CERTIFIED


HDMI[™]
HIGH DEFINITION MULTIMEDIA INTERFACE


PjLink[™]

ご使用の前に、必ずこの使用説明書をお読みください。
特に「安全にお使いいただくために」の項は必ずお読みになり、正しくご
使用ください。
またお読みになった後、この使用説明書をいつでも見られる場所に保管
してください。

本製品は日本国内用に設計されております。
電源電圧の異なる外国ではご使用になれません。

安全にお使いいただくために

はじめに

設置のしかた

接続のしかた

投写のしかた

便利な機能

メニューの使いかた

メニューの構成

メニューによる設定

ネットワーク上の
プロジェクターを使用する

高度な投写

メンテナンス

製品の仕様

困ったときには

基本編

応用編

その他

JPN

本書の読みかた

キヤノン製品のお買い上げ、誠にありがとうございます。

パワープロジェクター 4K600STZ / 4K600Z は、高解像度コンピューターの画面や高画質デジタル映像を、高精細で大画面に投写可能な高性能レーザー光源プロジェクターです。

本書について

本書はパワープロジェクター **4K600STZ / 4K600Z** (以降「本機」または「プロジェクター」と呼びます) の使用説明書です。**基本編**には、本機の設置方法や使いかたが説明されています。**応用編**には、メニューの説明とネットワーク接続方法が説明されています。本機の機能を十分に活用していただくため、お使いになる前に本書をよくお読みください。また、設置作業については設置業者または販売店で行って頂くことをお勧めします。

ボタン操作を表す記号

本機は、付属のリモコンまたは本体側面のボタンを使って操作します。本書では、ボタン操作を次のように表記しています。

■ 言語を選ぶ画面が表示されたとき

ご購入後に初めて電源を入れたときは、メッセージやメニューの言語を選ぶ画面が表示されます。リモコンで言語を選ぶ【OK】ボタンを押してください。なお、言語は後からメニューを使って変更することもできます。(P108) 画面が読めないときは、ピントを調整してください。(P50)

本体側面ボタンの操作

リモコンの操作

操作するボタンを表します

English	Русский	Čeština
Deutsch	Nederlands	Dansk
Français	Suomi	العربية
Italiano	Norsk	中文简体
Español	Türkçe	中文繁體
Português	Polski	ภาษาไทย
Svenska	Magyar	日本語

オレンジの項目が選ばれます

説明の内容を表す記号

本文中で以下のマークがついた欄は、次のような内容となっています。

操作上の注意事項や知っておいていただきたいことが記載されています。

本書の読みかた	2	応用編	65
おもな特長	4	メニューの使いかた	66
安全にお使いいただくために	5	メニューの構成.....	66
安全上の注意を表す記号	5	メニューの基本操作.....	67
使用上のご注意.....	6	メニューの構成	69
電源について	6	メニューによる設定	77
設置・ご使用について	7	映像設定	77
レーザー光源について	9	イメージ調整	82
リモコンの電池について	11	設置設定	91
取り扱いについて.....	11	システム設定	102
正しくお使いいただくために	12	ネットワーク設定.....	120
持ち運びおよび設置について	12	無線 LAN (Wi-Fi) について	123
設置の前に	13	プロジェクターでの設定	124
持ち運び時／輸送時のご注意	13	インフォメーション.....	140
設置のときのご注意	13	ネットワーク上のプロジェクターを 使用する	142
第三者のソフトウェアについて ..	18	ネットワーク接続時のコンピューター 設定.....	142
はじめに	19	ネットワークを設定する	145
同梱品の確認	19	コンピューターからプロジェクターを 制御する	169
各部のなまえ	20	高度な投写	171
リモコンの準備.....	26	エッジブレンディング機能を使って 投写する	171
基本編	29	高度なレジストレーションにより 投写画面を調整する.....	175
設置のしかた	30	周辺フォーカスを調整する	179
プロジェクターを設置する	30	その他	181
画面サイズと投写距離の関係	32	メンテナンス	182
レンズシフト機能について	34	本体を清掃する.....	182
接続のしかた	36	エアフィルターを交換する	183
コンピューターを接続する	36	製品の仕様	185
AV 機器を接続する.....	37	表示できるテストパターン	185
4K 映像を投写する.....	38	対応信号	186
電源コードを接続する	43	仕様一覧.....	191
投写のしかた	44	困ったときには	197
ステップ 1 電源を入れる	44	LED インジケーターのワーニング	197
ステップ 2 入力信号を選択する.....	47	困ったときのアドバイス.....	198
ステップ 3 画面を調整する	49	索引	203
ステップ 4 スクリーンに合わせて 縦横比 (アスペクト) を選択する.....	55	保証とアフターサービス	205
ステップ 5 台形ひずみを調整する	56		
ステップ 6 画質 (イメージモード) を 選択する	59		
ステップ 7 電源を切る	61		
便利な機能	62		

おもな特長

高精細（4096 × 2400 画素）の LCOS パネルによる 4K モデル

0.76 型の 4K-LCOS（反射型液晶）パネルを 3 枚搭載し、高性能映像エンジン（2 基）、新開発の 4K 対応ワイドズームレンズと合わせて、最大 4096 × 2400 ドットでの高品位投写が可能で 3 板式 LCOS プロジェクターです。

レーザー光源採用の高輝度コンパクト機

従来の水銀ランプ光源に対して、寿命が長いレーザーダイオードを光源に採用し、高輝度 6000ルーメンの 4K モデルでありながら、幅 559mm × 奥行き 624mm × 高さ 201mm とコンパクトです。

完全デジタル対応の映像入力

HDMI: 2（4K / Deep Color / HDCP2.2）を搭載しブルーレイ映像機器等から HDMI ケーブル 1 本で 4K 映像（最大 4096 × 2160 60Hz）の投写ができます。また、2 つの HDMI 端子と 4 つの DVI 端子を搭載し、複数の映像入力端子を組み合わせたマルチインプット機能により 4K 映像の投写ができます。

周辺フォーカス調整

画面周辺部のフォーカスを調整できるため、ドーム型スクリーンに対応します。

エッジブレンディング

複数のプロジェクターを並べて 1 つの画面にして投写するとき、映像の重なり部分の境界を目立たなくします。

高精度なレジストレーション補正

画面内の各領域によって色ずれが気になる場合に、赤、緑、青の色ずれを個別に、各領域ごとに微調整できます。

動画視認性を向上

動画視認性を向上する MB リダクションに新方式を採用し、従来よりも快適な動画を表示できます。

輝度一定機能

長い間プロジェクターを使うと徐々に明るさが低下します。使い始めの明るさをあらかじめ低めに設定し、明るさを随時モニタリングし、同じ明るさを維持するように光源の出力を自動調整します。

ダイナミックレンジを拡大

HDR（High Dynamic Range）コンテンツに対応し、映像の輝度レンジを拡大して、白トビや黒つぶれを抑えた映像を表示できます。

スケジュール機能

あらかじめ登録したスケジュールに従って、電源の入 / 切、入力信号の選択などプロジェクターを自動制御できます。

Wi-Fi 機能

有線 LAN に加え、無線 LAN（Wi-Fi）をサポートしました。PJ AP（プロジェクターアクセスポイント）モードを使用すれば、無線アクセスポイントを用意しなくても最大 5 台のコンピューターに接続可能です。

Canon Service Tool for PJ (Canon ST)

Wi-Fi を介してプロジェクターと接続し、リモコン操作やプロジェクターの状態管理が簡単に行える iOS アプリケーションです。プロジェクターをアクセスポイントとして接続する（P121）か、すでにお使いのアクセスポイントを使って接続してください（P122）。Canon ST 使用時にはパスワード（P149）が必要になります。

安全にお使いいただくために

安全上の注意を表す記号

この使用説明書で使用しているマークについて説明します。本書では製品を安全にお使いいただくため、大切な記載事項には次のようなマークを使用しています。これらの記載事項は必ずお守りください。

安全にお使いいただくために

 警告	この表示を無視して取り扱いを誤った場合に、死亡または傷害が発生する可能性が想定される内容を示しています。安全にお使いいただくために、必ずこの注意事項をお守りください。
 注意	この表示を無視して取り扱いを誤った場合に、傷害が発生する可能性が想定される内容を示しています。安全にお使いいただくために、必ずこの注意事項をお守りください。
 感電注意	この表示を無視して取り扱いを誤った場合に、感電の可能性が想定される内容を示しています。安全にお使いいただくために、必ずこの注意事項をお守りください。
 高温注意	この表示を無視して取り扱いを誤った場合に、やけどをする可能性が想定される内容を示しています。安全にお使いいただくために、必ずこの注意事項をお守りください。
	この記号は、使用規定を正しく守らない場合に目がレーザー照射により損傷を受ける危険性があることを示しています。
 禁止	この記号は、その他の行ってはいけない行為（禁止事項）を示しています。図の中に具体的な禁止内容が描かれています。
	この記号は、行わなければならない行為を示しています。図の中に具体的な指示内容が描かれています。
 注意	この記号は、必ず守っていただきたい行為や内容を示します。

電波障害自主規制について

この装置は、クラス A 情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

VCCI-A

使用上のご注意

安全に関する重要な内容ですので、ご使用前によくお読みの上、正しくお使いください。



警告

電源について

設置する際は、電源プラグをすぐに抜けるようにするか、または配線用遮断器を手の届くところに設置してください。

以下のような場合はすぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてから、販売店へご連絡ください。放置すると火災や感電の原因になります。



電源プラグをコンセントから抜く



感電注意

- 煙が出ている。
- 変なにおいや音がする。
- 水などの液体が本機に入った。
- 金属類や異物が本機に入った。
- 本機を倒したり、落としたりしてキャビネットを破損した。

電源および電源プラグ、コネクターの取り扱いについて以下の点にご注意ください。火災や感電の原因になります。



禁止



感電注意

- 電源コードの上に重い物を載せたり、本機の下敷きにならないようにしてください。
- 電源コードを敷物などで覆わないでください。
- 電源コードを加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、また巻いたり、束ねたりしないでください。
- 電源コードを熱器具に近づけたり加熱したりしないでください。
- 破損した電源コードを使用しないでください。電源コードが破損した場合は販売店にご相談ください。
- 表示されている電源電圧（AC100V）以外の電圧で使用しないでください。
- 電源プラグやコネクターの接点部に金属類を差し込まないでください。
- 付属している電源コードは、本製品専用です。他の製品では使用できません。
- 電源コードのアース線を必ずアースに接続してください。
- アース線の接続は、必ず電源プラグをコンセントに接続する前に行ってください。またアース線を外すときは、必ず電源プラグをコンセントから抜いてから行ってください。



アース線を接続する



感電注意

警告

電源および電源プラグ、コネクターの取り扱いについて以下の点にご注意ください。火災や感電の原因になります。



ぬれ手禁止



感電注意

- ぬれた手で電源プラグやコネクタを抜き差ししないでください。
- 電源プラグやコネクタは根元まで確実に差し込んでください。また、傷んだ電源プラグやゆるんだコンセントは使用しないでください。
- 電源プラグやコネクタを抜くときは、電源コードを引っ張らず、必ず電源プラグやコネクタを持って抜いてください。電源コードが破損します。
- コンセント付き延長コードを使う場合は、延長コードの定格容量を超えない範囲でお使いください。
- 電源プラグとコンセントは定期的に点検し、プラグとコンセントの間にたまったホコリ・ゴミ・汚れなどを取り除いてください。
- 雷が鳴り出したら、本機、電源コード、ケーブルに触れないでください。
- 本機を移動させる場合は、電源を切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、機器間のケーブル類を外してから行ってください。
- 本機のお手入れの際は電源プラグをコンセントから抜いてください。



注意



感電注意

設置・ご使用について

設置および取り扱い上、以下の点にご注意ください。火災や感電またはけがの原因になります。



水ぬれ禁止



感電注意

- 水や雨のかかるおそれのある室外や風呂、シャワー室などで使用しないでください。
- 本機の上に液体の入った容器を置かないでください。
- キャビネットを外したり本機を分解しないでください。内部には電圧の高い部分および温度の高い部分があります。内部の点検・整備・修理は販売店にご相談ください。
- 本機（消耗品を含む）やリモコンの分解や改造をしないでください。



分解禁止

警告

設置および取り扱い上、以下の点にご注意ください。火災や感電またはけがの原因になります。



禁止

- 湿気やホコリの多い所、油煙や湯気が当たるような所に置かないでください。
- 天吊りのように高所に設置する場合は必ず落下防止ワイヤーなどの落下防止措置をプロジェクター本体に施してください。
- 使用中は排気口をのぞかないでください。
- 吸気口や排気口等の穴から物などを差し込まないでください。
- 排気口の前にはスプレー缶を置かないでください。熱で缶内の圧力が上がり、スプレー缶が破裂する原因になります。
- 本機のレンズ、フィルターなどに付着したゴミ、ホコリの除去に可燃性ガスのスプレーを絶対使用しないでください。本機内部の一部が高温になっているため、引火による火災の原因になります。
- 本機のメンテナンスの際に接着剤、潤滑剤、油、アルカリ性の洗剤などを使用しないでください。
- 使用中は強い光が出ていますので、レンズをのぞかないでください。目を傷める恐れがあります。特に小さなお子様にはご注意ください。
- 本製品の投写光は IEC62471-5:2015 に基づくリスクグループ 2 (RG2) に分類されます。
- 子供が本機に近づいたり触れたりする可能性がある場合は、必ず大人の管理・監督のもとで使用してください。
- 投写光が通る範囲に光学機器（ルーペ、反射鏡、メガネ等）をかざしたり、設置しないでください。投写光が屈折または反射しそれが目に入ると、目を傷めるなどの原因になります。
- 本機を持ち上げるときは2人以上で行ってください。
- 本機を高いところに置いて使用する場合は、必ず水平で安定した場所に設置してください。
- カーペットやスポンジマットなどの柔らかい面の上に設置しないでください。
- 天吊り設置および設置工事は必ず設置業者または販売店に依頼してください。工事の不備により、事故の原因になります。



注意



警告

レーザー光源について



禁止



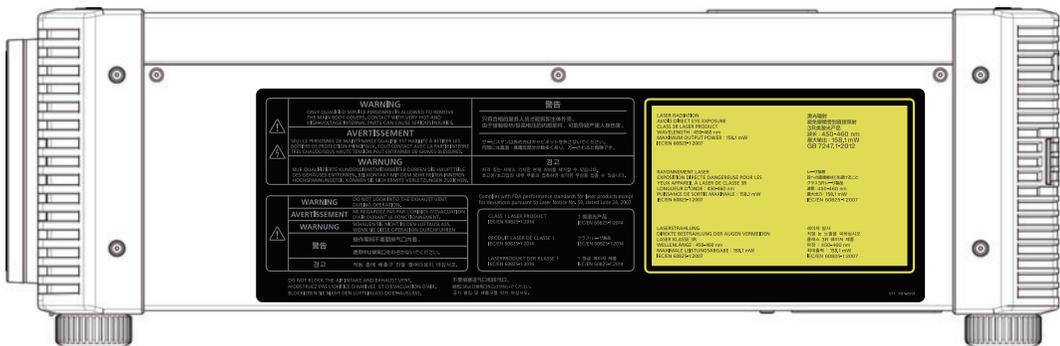
感電注意



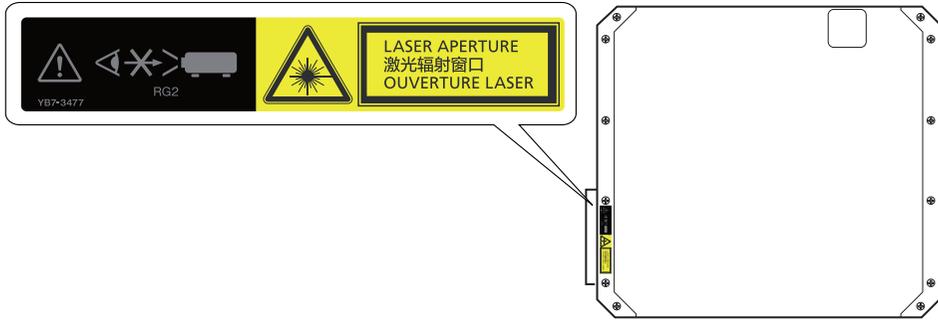
注意

- 本製品は IEC/EN60825-1:2014、JIS C6802:2014 に基づくクラス1レーザー製品であることを確認しています。
(IEC/EN60825-1:2007 ではクラス3Rが適用されます)
- レーザーモジュールの仕様
 波長：450nm ~ 460nm
 最大出力：144W
 ビーム広がり角：2°
- 本機はレーザーモジュールを内蔵しています。分解・改造は危険ですで行わないでください。
- 使用説明書に記載した手順で操作や調整を行ってください。間違った手順で操作や調整を行うと危険なレーザー光にさらされることとなります。
- 故障したまま使用しないでください。本書に従って正しく使用しても、画面に異常があるなど故障状態のまま使用すると火災・感電・レーザー光により視力障害の原因になります。
- 本機を廃棄する際は、お買い上げの販売店にお問い合わせください。廃棄の際にお客様自身で本機を分解しないでください。

説明ラベルと警告ラベルは、本機の以下の箇所に添付されています。



安全にお使いいただくために



	<p>WARNING ONLY QUALIFIED SERVICE PERSONNEL IS ALLOWED TO REMOVE THE MAIN BODY COVERS. CONTACT WITH VERY HOT AND HIGH-VOLTAGE INTERNAL PARTS CAN CAUSE SERIOUS INJURIES.</p>	<p>警告 只有合格的服务人员才能拆卸主体外壳。由于接触极热/极高电压的内部部件，可能导致严重人身伤害。</p>
	<p>AVERTISSEMENT SEUL LE PERSONNEL DE MAINTENANCE QUALIFIÉ EST HABILITÉ À RETIRER LES BOÎTIERS DE PROTECTION PRINCIPAUX. TOUT CONTACT AVEC LA PARTIE INTERNE TRÈS CHAUDE/SOUS HAUTE TENSION PEUT ENTRAÎNER DE GRAVES BLESSURES.</p>	<p>サービスマン以外の方はキャビネットを外さないでください。内部には高温・高電圧部分が多くあり、万一さわると危険です。</p>
	<p>WARNING NUR QUALIFIZIERTE KUNDENDIENSTMITARBEITER DÜRFEN DIE HAUPTTEILE DES GEHÄUSES ENTFERNEN. BEI KONTAKT MIT DEM SEHR HEIßEN INNEREN HOCHSPANNUNGSTEIL KÖNNEN SIE SICH ERNSTE VERLETZUNGEN ZUZIEHEN.</p>	<p>경고 자격 있는 서비스 기사만 본체 커버를 제거할 수 있습니다. 초고온/초고압의 내부 부품과 접촉하면 심각한 부상을 입을 수 있습니다.</p>
	<p>AVERTISSEMENT NE REGARDEZ PAS PAR L'ORIFICE D'ÉVACUATION D'AIR DURANT LE FONCTIONNEMENT.</p> <p>WARNING SCHAUEN SIE NICHT IN DEN LUFTAUSSLASS, WENN SIE DIESE OPERATION DURCHFÜHREN</p>	<p>Complies with FDA performance standards for laser products except for deviations pursuant to Laser Notice No. 50, dated June 24, 2007</p>
	<p>WARNING DO NOT LOOK INTO THE EXHAUST VENT DURING OPERATION.</p>	<p>CLASS 1 LASER PRODUCT IEC/EN 60825-1:2014</p> <p>1 类激光产品 IEC/EN 60825-1:2014</p> <p>PRODUIT LASER DE CLASSE 1 IEC/EN 60825-1:2014</p> <p>クラス1レーザー製品 IEC/EN 60825-1:2014</p> <p>LASERPRODUKT DER KLASSE 1 IEC/EN 60825-1:2014</p> <p>1 등급 레이저 제품 IEC/EN 60825-1:2014</p>
	<p>AVERTISSEMENT NE REGARDEZ PAS PAR L'ORIFICE D'ÉVACUATION D'AIR DURANT LE FONCTIONNEMENT.</p>	
	<p>WARNING SCHAUEN SIE NICHT IN DEN LUFTAUSSLASS, WENN SIE DIESE OPERATION DURCHFÜHREN</p>	
	<p>警告 操作期间不要朝排气口内看。</p> <p>使用中は排気口をのぞかないでください。</p>	
<p>경고 작동 중에 배출구 안을 들여다보지 마십시오.</p>	<p>不要堵塞进气口和排气口。</p> <p>吸気口および排気口をふさがないでください。 공기 흡입 및 배출구를 막지 마십시오.</p>	
<p>DO NOT BLOCK THE AIR INTAKE AND EXHAUST VENT. N'OBSTRUEZ PAS L'ORIFICE D'ARRIVÉE ET D'ÉVACUATION D'AIR. BLOCKIEREN SIE NICHT DEN LUFTEINLASS ODER-AUSLASS.</p>	<p>DO NOT BLOCK THE AIR INTAKE AND EXHAUST VENT. N'OBSTRUEZ PAS L'ORIFICE D'ARRIVÉE ET D'ÉVACUATION D'AIR. BLOCKIEREN SIE NICHT DEN LUFTEINLASS ODER-AUSLASS.</p>	

<p>LASER RADIATION AVOID DIRECT EYE EXPOSURE CLASS 3R LASER PRODUCT WAVELENGTH : 450-460 nm MAXIMUM OUTPUT POWER : 158.1 mW IEC/EN 60825-1:2007</p>	<p>激光辐射 避免眼睛受到直接照射 3R类激光产品 波长：450-460 nm 最大输出：158.1 mW GB 7247.1-2012</p>
<p>RAYONNEMENT LASER EXPOSITION DIRECTE DANGEREUSE POUR LES YEUX APPAREIL À LASER DE CLASSE 3R LONGUEUR D'ONDE : 450-460 nm PUISSANCE DE SORTIE MAXIMALE : 158.1 mW IEC/EN 60825-1:2007</p>	<p>레이저 방사 目への直接被ばくを避けること クラス3Rレーザー製品 波長：450-460 nm 最大出力：158.1 mW IEC/EN 60825-1:2007</p>
<p>LASERSTRAHLUNG DIREKTE BESTRAHLUNG DER AUGEN VERMEIDEN LASER KLASSE 3R WELLENLÄNGE : 450-460 nm MAXIMALE LEISTUNGSABGABE : 158.1 mW IEC/EN 60825-1:2007</p>	<p>레이저 방사 직접 눈 노출을 피하십시오 클래스 3R 레이저 제품 파장 : 450-460 nm 최대출력 : 158.1 mW IEC/EN 60825-1:2007</p>

UT1 YB7-3991

警告

リモコンの電池について

電池の取り扱いについて以下の点に注意してください。火災やけがの原因になります。



禁止

- 電池を火の中に入れてたり、加熱、ショート、分解したりしないでください。
- 付属の電池は充電しないでください。



注意

- 電池を使いきったときや、長時間使用しないときは電池を取り外してください。
- 電池を交換するときは2本一緒に交換してください。また、種類の異なる電池を一緒に使用しないでください。
- +と-の向きを正しく入れてください。
- 万一、液漏れなどで内部の液体が体についたときは、水でよく洗い流してください。

注意

取り扱いについて

設置および取り扱い上、以下の点にご注意ください。



- 長期間、機器をご使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。電源プラグやコンセントにホコリがたまり、火災の原因になることがあります。



- 投写中は排気口周辺や排気口上部のキャビネットが高温になりますので、手で触れたりしないでください。特に小さいお子様にはご注意ください。また、排気口周辺や上部に金属類を置かないでください。高温になり、やけどやけがの原因になることがあります。



禁止

- 本機の上に重い物をのせたり、乗ったりしないでください。特に小さなお子様にはご注意ください。倒れたり、こわれたりしてけがの原因になることがあります。
- ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に設置しないでください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因になることがあります。
- レンズの前に物を置いて投写しないでください。また、レンズキャップを付けたまま投写しないで下さい。火災の原因になることがあります。
- 本機はレンズシフト機能により、モーターでレンズが上下左右に動きまわります。レンズが動いているときは、レンズに触れないでください。けがの原因になることがあります。



注意

持ち運びおよび設置について

本機を持ち運ぶ際は、以下の点にご注意ください。



注意

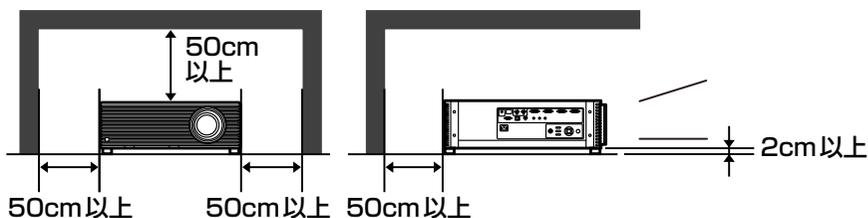
- 本機は精密機器です。衝撃を与えたり、倒したりしないでください。故障の原因になります。
- 移動時に調整脚が出たまま移動すると破損の恐れがありますので、調整脚をおさめてください。
- レンズを素手で触らないでください。レンズに汚れや指紋が付くと、画質を損なう原因になります。
- 使用済みの梱包材、緩衝材では十分保護できなかつたり、また、緩衝材の破片などが本機内部に入り込んで故障の原因になります。

設置または使用に関して、以下の点にご注意ください。



注意

- 結露に注意してください。
低温の場所から高温の場所へ急に持ち込んだときや、部屋の温度を急に上げたとき、空気中の水分が本機のレンズやミラーに結露して、画像がぼやけることがあります。その場合、しばらく待って結露がとれたことを確認後、使用してください。
- 高温、低温になる場所に設置しないでください。故障の原因になります。なお使用温度と保管温度の範囲は次の通りです。
使用温度範囲 0℃～ 45℃ ・湿度85% まで
保管温度範囲 -20℃～ 60℃
- 海拔2,300m以上の高地でご使用されるお客様へ
本機のメニューから【高地設定】を【入】に変更してください (P96)。
- 本機の吸気口および排気口をふさがないでください。吸気口・排気口をふさぐと内部に熱がこもり光学部品等の寿命が短くなつたり故障の原因になることがあります。
- 本機の各側面の吸気口、排気口を壁などから50cm以上離して設置してください。ただし、本機の底面から2cm以上隙間を空けてください。底面に吸気口があります。内部に熱がこもり故障の原因になることがあります。



- 熱で変形や変色の恐れのあるものを上に置かないでください。
- 高圧電線や電力源の近くに設置しないでください。

持ち運び時／輸送時のご注意

本機を持ち運び、運搬するときは次のことにご注意ください。



注意

- 接続ケーブルを外してください。ケーブルを取り付けたまま運ぶと、事故の原因になります。
- 調整脚をおさめてください。移動時に調整脚が出たまま移動すると破損の恐れがあります。
- 強い衝撃や振動を与えないでください。
- 重量がありますので持ち運びは2人以上で行ってください。

設置のときのご注意

5～12ページの「安全にお使いいただくために」および「正しくお使いいただくために」を必ずお読みください。また、設置するときは次のことに注意してください。



注意

- 本機をたいたり、衝撃を与えたりしないでください。故障の原因になることがあります。
- 本機を立てかけたり、不安定な状態で置かないでください。転倒により故障の原因になることがあります。

■以下のような場所には設置しないでください



注意

- **湿気やホコリ、油煙やタバコの煙が多い場所**
レンズやミラーなどの光学部品に汚れが付着して、画質を損なう原因になることがあります。
- **高圧電線や電力源の近く**
正しく動作しないことがあります。
- **カーペットやスポンジマットなどの柔らかい面の上**
内部に熱がこもり、本機の故障の原因になることがあります。
- **高温、低温、高湿度になる場所**
故障の原因になることがあります。なお、使用温度・湿度、保管温度の範囲は以下の通りです。

使用温度範囲	使用湿度範囲	保管温度範囲
0℃～45℃	85%まで	-20℃～60℃

■レンズを素手で触らないでください



レンズを素手で触らないでください。レンズに汚れや指紋が付くと、画質を損なう原因になることがあります。

■画面のピントを合わせる (P51) ときは、30 分以上点灯させてから行うことを推奨します。

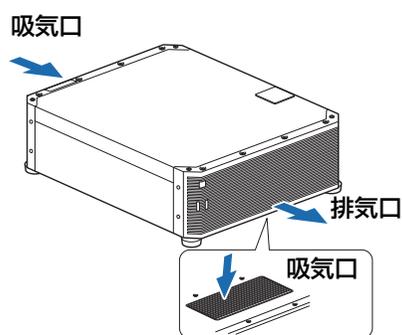
電源を入れた直後は光源の熱の影響でピント位置が安定しない場合があります。また、ピントを合わせる際はテストパターン (P101、P185) の⑩の画像を使用することをお勧めします。

■壁などから十分な距離をあけて設置してください



吸気口・排気口をふさぐと内部に熱がこもり、本機の寿命を縮めたり、故障の原因になります。

また、密閉された風通しの悪い狭いところに設置しないで、風通しのよい場所に設置してください。上方、側面、後部いずれも壁などから 50cm 以上離してください。また、本機の底面は 2cm 以上隙間を空けてください。



■結露にご注意ください

部屋の温度を急に上げたときなど、空気中の水分が本機のレンズやミラーに結露して映像がぼやけることがあります。結露が消えて通常の映像が投写されるまでお待ちください。

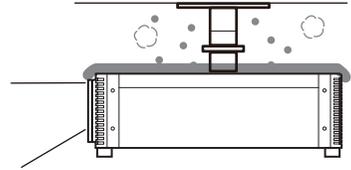
■海拔 2,300m 以上の高地で使用するときには設定を変更してください

海拔 2,300m 以上の高地でご使用される場合は、プロジェクターの設定を変更する必要があります。詳しくは、設置設定メニューの [高地設定] (P96) を参照してください。

■ 天井から吊り下げてご使用になる場合



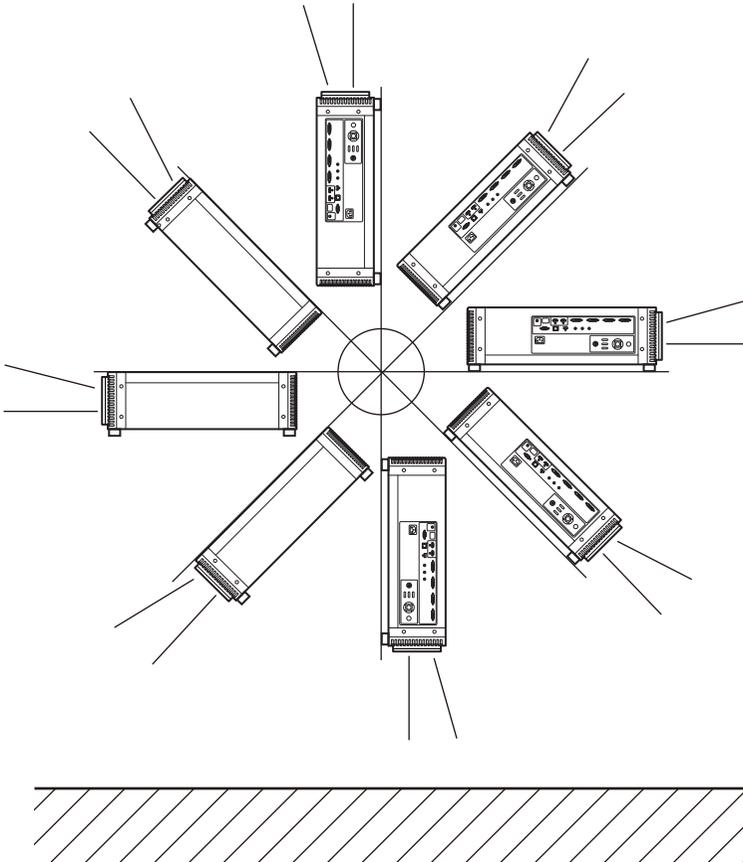
天井から吊り下げたり、高いところへ設置してご使用になるときは、吸気口や排気口周辺の清掃を定期的に行ってください。吸気口や排気口にホコリがたまると、冷却効果が悪くなり、内部の温度上昇を招いて故障や火災の原因になることがあります。吸気口や排気口についたホコリは掃除機などで取り除いてください。



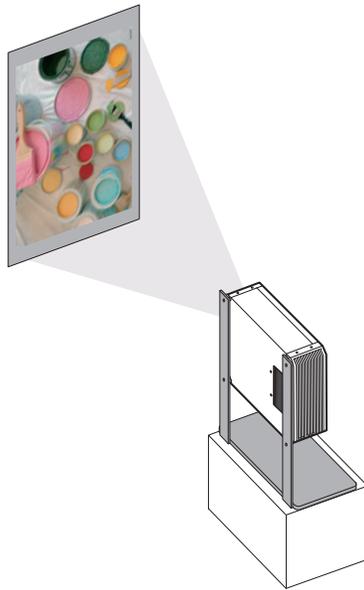
■ 上下投写、斜め投写の設置



- 本機は、上向き投写、下向き投写等あらゆる方向で投写できますが、吸気口、排気口をふさがらないでください。特に底面の吸気口から2cm以上の隙間を必ず空けてください。
- 本機は天吊り金具以外の設置のためのオプションは用意されていません。
- 本機を天井から吊り下げて設置するときは、調整脚が下側になるよう設置することをお勧めします。



■ ポートレート（縦置き）設置のときの注意



注意

- 吸気口、排気口をふさがらないでください。特に底面に吸気口があるため、底面から2cm以上の隙間を必ず空けてください。
- ポートレート設置のための取り付け金具等のオプションは用意されていません。

■ 光源について

本機の光源はレーザーを使用しています。レーザーには以下のような特性があります。



注意

本機を長期間使用した場合や環境の変化などにより画質が変化します。使用時間と環境温度による輝度の変化は、【キャリブレーション】の【光源補正】(P118) で調整することができます。

著作権についてのご注意

営利目的または公衆に視聴させることを目的として、本機の画面サイズ切り換え機能などを利用して画面の圧縮、引き伸ばしなどを行いますと、著作権法で保護されている著作者の権利を侵害する恐れがありますので、ご注意ください。

ネットワークのセキュリティについてのご注意

ネットワークのセキュリティ対策に関しては、お客様ご自身の責任で行ってください。不正アクセスなどネットワークのセキュリティ上の問題により発生した直接、間接の損害については、弊社は一切の責任を負いかねます。

利用に際しては、プロジェクター本体、コンピューター、ネットワークに適切なセキュリティの設定を行ってください。

- プロジェクターはインターネットに直接接続せず、ファイアーウォールなどで保護されたネットワーク内に設置してください。
- 無線LAN環境でご利用される場合、無線LANのセキュリティ設定を行うことを推奨します。
- 無線LANのセキュリティキーは定期的に変更してください。

商標について

- Ethernet は Xerox 社の登録商標です。
- Microsoft、Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国および、その他の国における登録商標または、商標、商品名です。
- Mac、Mac OS、および Macintosh は米国その他の国で登録された Apple Inc. の商標です。
- HDMI、HDMI ロゴ、および High-Definition Multimedia Interface は、HDMI Licensing, LLC の商標または登録商標です。
- PJLink は JBMIA の登録商標です。
- PJLink 商標は、日本、米国および、その他の国や地域における登録または出願商標です。
- AMX は、Harman International Industries, Inc. の登録商標です。
- Crestron®, Crestron RoomView®, Crestron Connected™ は、Crestron Electronics, Inc. の登録商標です。
- Wi-Fi は、Wi-Fi Alliance の登録商標です。
- Wi-Fi CERTIFIED、WPA、WPA2 と Wi-Fi CERTIFIED ロゴは、Wi-Fi Alliance Setup を意味しています。
- その他の社名、商品名などは、各社の商標または登録商標です。

第三者のソフトウェアについて

この製品には、第三者のソフトウェアモジュールが含まれています。
詳細は、ダウンロードサイト (<http://www.canon.com/ipri>) から取得した使用説明書フォルダ内のLICENSE フォルダの「ThirdPartySoftware.pdf」(第三者ソフトウェアライセンス) をご覧ください。
また、各モジュールのライセンス条件につきましては、同じフォルダに含まれていますので、ご覧ください。

■ GNU General Public License Version 2 に基づくソフトウェアプログラム

本メディアに含まれるソフトウェアプログラム(「本プログラム」)はフリーソフトウェアです。お客様は、GNU General Public License Version 2の定める条件の下で再配布および改変することができます。

それぞれのプログラムは有用であることを願って配布されますが、販売見込みまたは特定の目的への適合性に関する黙示的保証を含め、一切の保証がありません。下記の「保証の否認」と「サポート」をご覧ください。詳しくは、GNU General Public License Version 2の原文をご覧ください。

保証の否認

本プログラムは無償でライセンスされるものであり、準拠法の下で認められる限りにおいて何らの保証もありません。これと異なる書面による定めがなされる場合を除き、著作権者およびその他の当事者は、本プログラムをそのままの状態、いかなる保証(明示的か黙示的に関わらず、また、販売見込みまたは特定の目的への適合性に関する黙示的保証を含み、これらに限定されない)もすることなく提供するものとします。本プログラムの品質および性能に関するリスクは、すべてお客様が負うものとします。本プログラムに瑕疵のあることが明らかになった場合でも、必要な保守点検、修補、または修正に要する費用は、すべてお客様のご負担となります。

準拠法において義務が課されている場合または書面による合意がある場合を除き、著作権者または上記の定めに従い本プログラムを修正または配布した当事者は、たとえ損害が発生するおそれのあることを事前に知らされていたとしても、お客様の被った損害について何らの責任も負いません。当該損害には、本プログラムを使用したことによるものと本プログラムを使用できなかったことによるもの(データの消失、誤ったデータの生成、損害を被ったのがお客様である場合と第三者である場合、および本プログラムが他のプログラムと連携して適切に動作しない場合を含み、これらに限定されない)を問わず、一般的、特殊的、偶発的、必然的な損害のすべてを含みます。

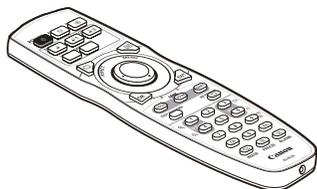
サポート

キヤノン株式会社、キヤノンの関係会社、および販売会社は、本プログラムに関するいかなるサポートサービスもいたしません。本プログラムに関する、お客様もしくは他のいかなるお客様からのご質問やお問い合わせにもご回答いたしかねます。

同梱品の確認

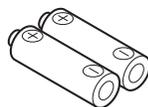
次の同梱品が揃っていることを確認してください。

- ・リモコン (品番 : RS-RC05)

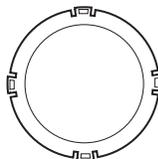


 リモコンを本体とケーブルで接続して使用することもできます。(P27)

- ・リモコン用乾電池 (単3形2本)

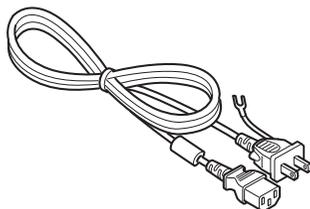


- ・レンズキャップ



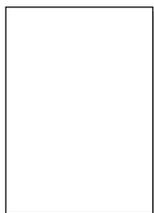
- ・電源コード (1.8m)

アース線にはキャップが付いています。

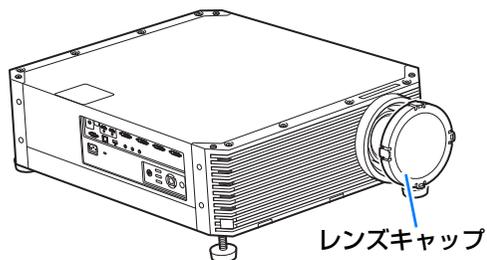


- ・保証書

- ・重要なお知らせ
(Important Information) (冊子)



■ レンズキャップについて

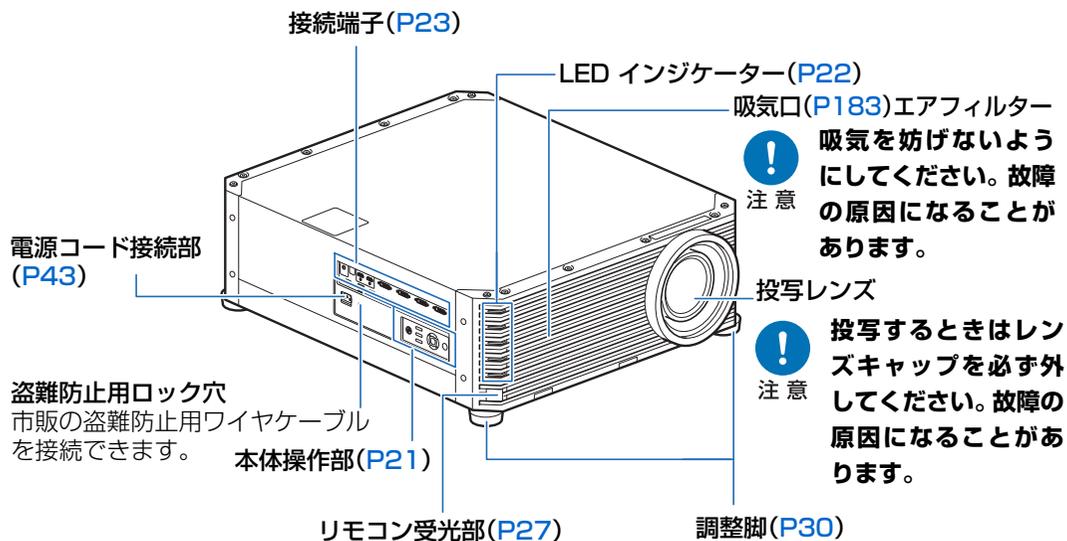


投写するときは必ずレンズキャップを外してください。レンズキャップを付けたまま投写するとレンズキャップが変形し本機の故障の原因になることがあります。

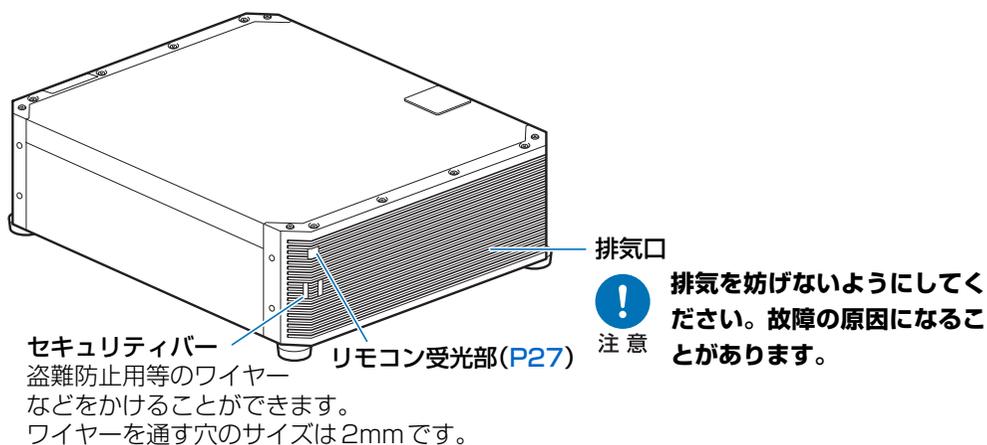
各部のなまえ

本体

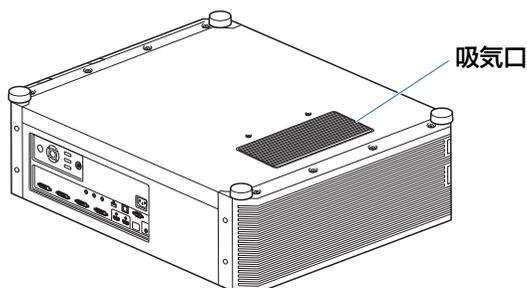
■ 前面



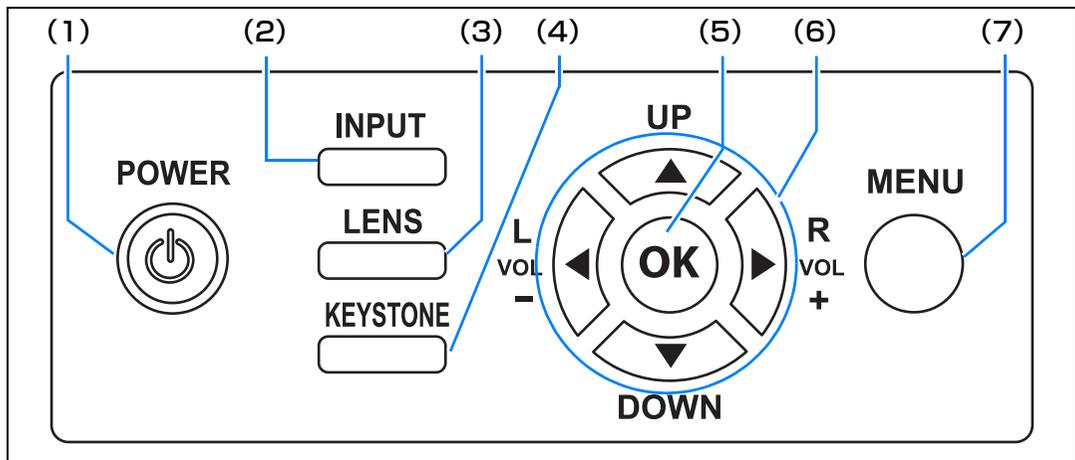
■ 背面



■ 底面



本体操作部



パワー
(1) POWER ボタン (P44、P61)

電源をON / OFFします。

インプット
(2) INPUT ボタン (P47)

投写する入力信号を選びます。

レンズ
(3) LENS ボタン (P51)

押すごとにフォーカス (ピント) (P51)、ズーム (画面サイズ) (P51)、レンズシフト (画面位置) (P53) の調整画面が切り換わります。

調整は【▲】【▼】ボタンまたは【◀】【▶】ボタンで行います。

[周辺フォーカス] の設定 (P97) により、フォーカス調整画面の次に周辺フォーカス (画面周辺のピント) (P179) の調整画面も表示されます。

キーストーン
(4) KEYSTONE ボタン (P56)

台形ひずみ (キーストーン) を補正します。

オーケー
(5) OK ボタン (P68)

メニューなどで選んだ項目を確定します。

ボリューム
(6) 方向 / VOL ボタン (P67)

メニュー操作などでは上下左右の方向を指定します。

音量を調整します。

【◀】【VOL -】ボタンは音量を下げます。

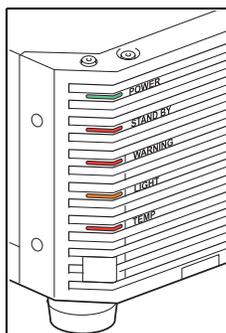
【▶】【VOL +】ボタンは音量を上げます。

メニュー
(7) MENU ボタン (P66)

投写画面にメニューを表示します。

LED インジケータ

LEDの表示（消灯 / 点灯 / 点滅）で本機の状態を知らせます。



- POWER（緑）：投写された状態で点灯します。
また、下記の状態で点滅します。
 - スタンバイ状態から投写されるまでの間。
 - パワーマネージメントモードで光源を消灯時。
- STANDBY（赤）：スタンバイ状態で点灯します。
また、下記の状態で点滅します。
 - 投写された状態からスタンバイ状態までの間。
 - パワーマネージメントモードで光源を消灯時。
- WARNING（赤）：エラー発生時に点灯または点滅します。
- LIGHT（橙）：光源の異常時に点灯または点滅します。
- TEMP（赤）：内部が高温状態になったときに点灯または点滅します。

■ LED インジケータの表示について

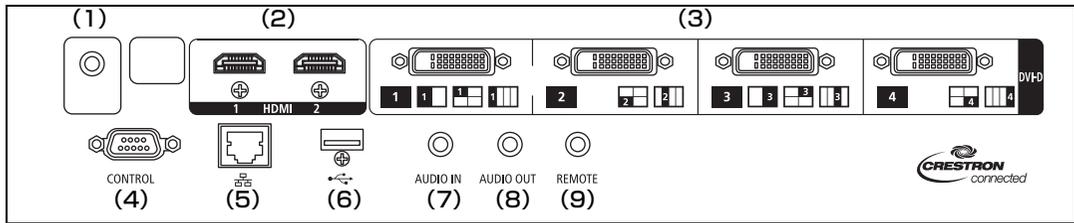
本機の動作状態は5つのLEDの表示で下表の通りに示されます。

警告の表示については、「LED インジケータのワーニング」(P197) をご覧ください。

[POWER] インジケータの点灯例 □: 消灯 ■: 点灯 ■■: 点滅

LED インジケータ					動作状態
POWER (緑)	STANDBY (赤)	WARNING (赤)	LIGHT (橙)	TEMP (赤)	
□	□	□	□	□	電源が接続されていません
□	■	□	□	□	スタンバイ状態
■■	□	□	□	□	スタンバイ状態から電源 ON（投写）に移行中です
□	■■	□	□	□	電源 ON からスタンバイ状態、またはパワーマネージメントモードに移行中で、クーリングダウンしています
■	□	□	□	□	電源が入っています（投写しています）
■■	■■	□	□	□	パワーマネージメントモードで光源を消灯しています（緑、赤が交互に点滅）
□	■	□	□	■■	内部の温度が高くなっています（スタンバイ状態時）
■	□	□	□	■■	内部の温度が高くなっています（投写時）
□	□	■	■	□	光源ユニットのエラーが発生しています
□	□	■	□	■	温度のエラーが発生しています
□	□	■■	□	□	3 回点滅：エアフィルターのエラーが発生しています 4 回点滅：ファンのエラーが発生しています 5 回点滅：電源のエラーが発生しています

接続端子



(1) トリガー端子 (TRIGGER) (P180)

外部のスクリーンなどの機器をプロジェクターの電源に連動して制御するときに使用する端子です。

(2) HDMI端子 (HDMI) (P36、P37)

デジタルコンテンツの映像信号 (HDMI) の入力端子です。
映像と音声を1本のケーブルで入力できます。

(3) デジタルPC / DVI-D端子 (DVI-D) (P36)

コンピューターの外部モニター出力と接続します。
デジタル信号 (デジタルPC) の入力端子です。

(4) サービス用端子 (CONTROL) (P194)

ユーザーコマンドを実行することができます。(P195、P196)

(5) LAN端子 (P120)

LANケーブル (シールドタイプ) を接続します。
本機をネットワークに接続できます。

(6) USB端子 (P119)

USBメモリを接続する端子です。ファームウェアのバージョンアップに使用します。

(7) 音声入力端子 (AUDIO IN) (P36)

音声信号の入力端子です。選択中の映像入力に対応した音声入力端子選択で [オーディオイン] を設定していた場合に、本端子から入力した音声が入蔵スピーカーから出力されます。

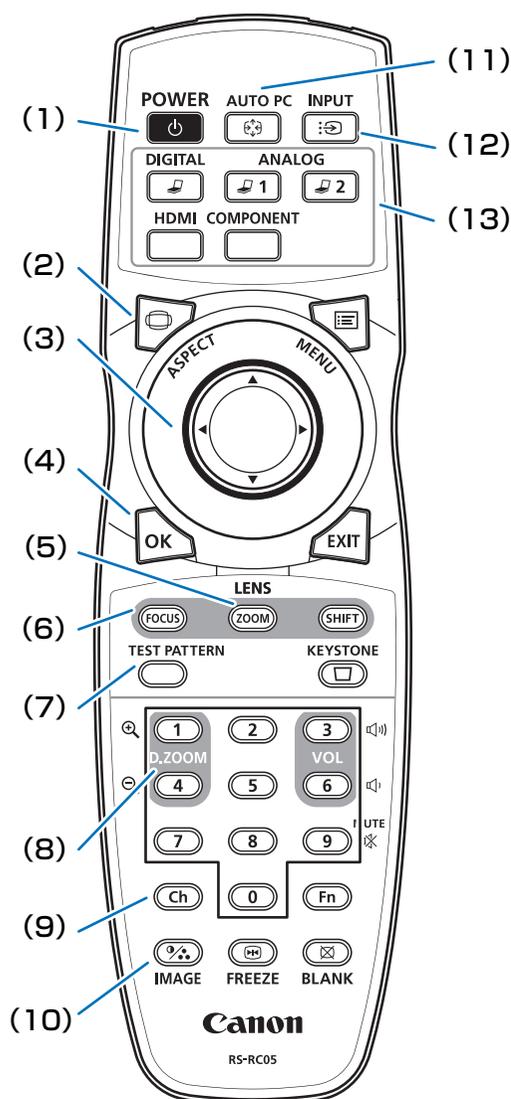
(8) 音声出力端子 (AUDIO OUT) (P36、P37)

選択中の音声信号が出力されます。(音声ケーブルを端子に接続するとスピーカーは消音になります。)

(9) 有線リモコン用端子 (REMOTE) (P27)

リモコンをケーブルで接続するときに使用する端子です。

リモコン

**(1) POWER ボタン (P44、P61)**

電源を ON / OFF します。

(2) ASPECT ボタン (P55、P78)

映像の縦横比(アスペクト)を切り換えます。

(3) 方向ボタン (P67)

メニューなどで上下左右の方向を指定します。

(4) OK ボタン (P68)

メニューなどで選んだ項目を確定します。

(5) ZOOM ボタン (P51)

画面サイズを調整します。

【▲】【▶】ボタン

画面サイズを拡大します。

【▼】【◀】ボタン

画面サイズを縮小します。

(6) FOCUS ボタン (P51)

画面のピントを合わせます。

【▲】【▶】ボタン

ピントの位置を遠くにします。

【▼】【◀】ボタン

ピントの位置を近くにします。

FOCUS ボタンを 2 回押すと画面周辺のピントを合わせることができます (P179)。

[周辺フォーカス] の設定 (P97)

(7) TEST PATTERN ボタン (P101)

テストパターンを表示します。

(8) D. ZOOM ボタン

本機では使用しません。

(9) Ch ボタン (P107)

リモコンを赤外線で使用する場合のチャンネルを切り換えます。

(10) IMAGE ボタン (P59)

イメージモード(画質)を切り換えます。

(11) AUTO PC ボタン

本機では使用しません。

(12) INPUT ボタン (P47)

投写する入力信号を選びます。

(13) 入力信号切り換えボタン

入力信号をデジタルPC、HDMIに切り換えます。

[ANALOG 1]、[ANALOG 2]、

[COMPONENT] は本機では使用しません。

メニュー

(14) MENUボタン (P66)

投写画面にメニューを表示します。

イグジット

(15) EXITボタン (P68)

メニュー表示や、テストパターンなどの使用中の機能を解除し、映像の表示に戻ります。

シフト

(16) SHIFTボタン (P53)

画面を上下左右に移動します。

【▲】【▼】【◀】【▶】ボタン

画面を移動します。

キーストーン

(17) KEYSTONEボタン (P56)

台形ひずみを調整します。

操作は「キーストーン」の設定により、上下、または左右方向の長さを調整する縦横キーストーンと、画面の四隅を調整する4点補正があります。

ボリューム

(18) VOLボタン

音量を調節します。

【▶】、数字ボタンの【3】

音量を上げます。

【◀】、数字ボタンの【6】

音量を下げます。

ミュート

(19) MUTEボタン

音声を一時的に消します。

(20) 数字ボタン (P112、P125、P128)

パスワードやTCP / IPの設定値などの入力を行います。

ファンクション

(21) Fnボタン

本機では使用しません。

ブランク

(22) BLANKボタン (P62)

映像を一時的に消します。

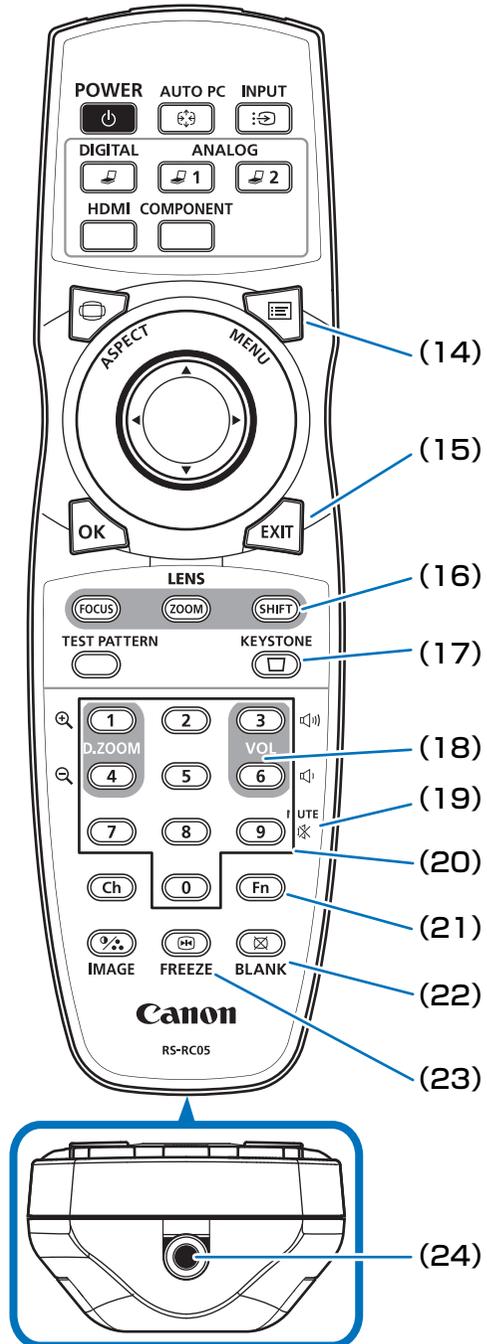
フリーズ

(23) FREEZEボタン (P62)

映像を静止させます。

(24) 有線リモコン用端子 (P27)

本体とリモコンをケーブルで接続して、操作します。

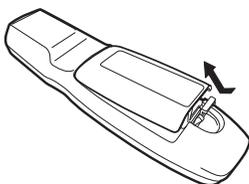


リモコンの準備

■ リモコンへの電池の入れかた

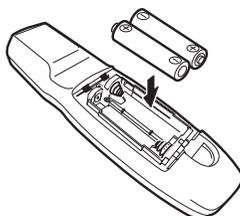
1 電池カバーを開く。

電池カバーのつまみを押しながら上に持ち上げます。



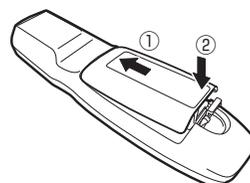
2 電池を入れる。

新しい単3乾電池2本を＋プラスと－マイナスの向きに注意して入れます。



3 電池カバーを閉じる。

ツメをリモコンの切り欠けに入れ(①)、電池カバーを押し下げます(②)。



- リモコンでの操作ができない場合は、新しい電池と交換してください。
- リモコンを落としたり衝撃を与えないでください。
- リモコンに液状のものをかけないでください。故障の原因になることがあります。
- 電池を廃棄する時は、各自自治体の条例に従って廃棄してください。



警告



禁止



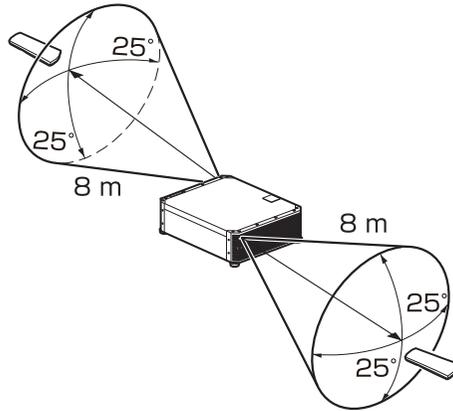
注意

電池の取り扱いについて以下の点に注意してください。火災やけがの原因になります。

- 電池を火の中に入れてたり、加熱、ショート、分解したりしないでください。
- 付属の電池は充電しないでください。
- 電池を使い終わったときや、長時間使用しないときは電池を取り外してください。
- 電池を交換するときは2本一緒に交換してください。また、種類の違う電池を一緒に使用しないでください。
- 十と一の向きを正しく入れてください。
- 万一、液漏れなどで内部の液体が体についたときは、水でよく洗い流してください。

■ リモコンで操作できる範囲

リモコンは赤外線方式です。本体の前面または背面にあるリモコン受光部に向けて操作してください。

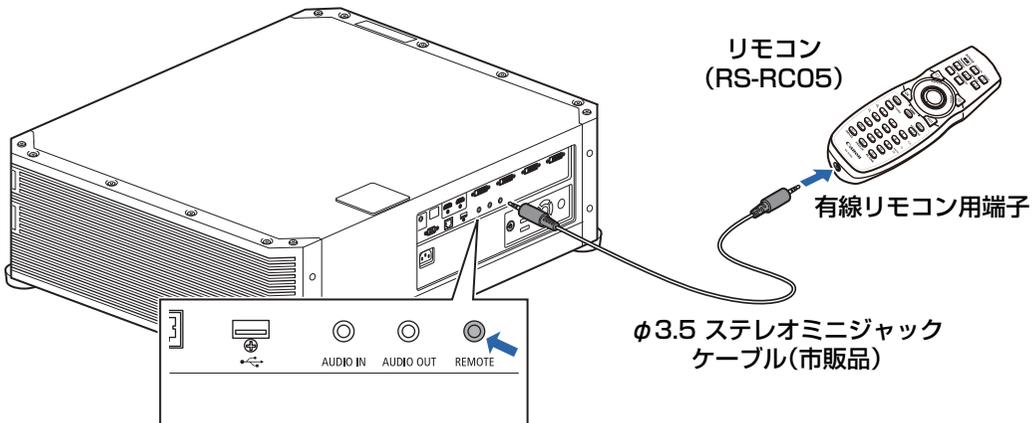


- リモコンは本体の受光部の正面から 25° の範囲で使用してください。
- 本体との間に障害物があるときや、本体の受光部に直射日光や照明器具の強い光が当たっているときは、リモコンが操作できないことがあります。
- 2台以上のプロジェクターを使用する場合は、リモコンが干渉し合わないようチャンネル設定を切り換えてください。(P107)

■ リモコン (RS-RC05) をケーブルで接続して使う場合

リモコンを本体とケーブルで接続して使用することもできます。

ケーブルは、市販品のφ3.5ステレオミニジャックケーブルをご使用ください。



- 本体、またはリモコンにケーブルを接続している場合は、赤外線での操作ができません。
- φ3.5ステレオミニジャックケーブル(市販品)は、長さ30m以下のものを使用してください。

基本編

安全にお使いいただくために

はじめに

基本編

設置のしかた

接続のしかた

投写のしかた

便利な機能

応用編

メニューの使いかた

メニューの構成

メニューによる設定

ネットワーク上の
プロジェクターを使用する

高度な投写

その他

メンテナンス

製品の仕様

困ったときには

設置のしかた

本機を設置する前に、「設置の前に」(P13)を必ずお読みください。

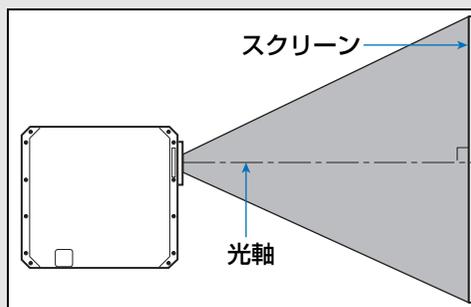
プロジェクターを設置する

■ スクリーンの正面に置く

本機をスクリーンの正面に置いてください。



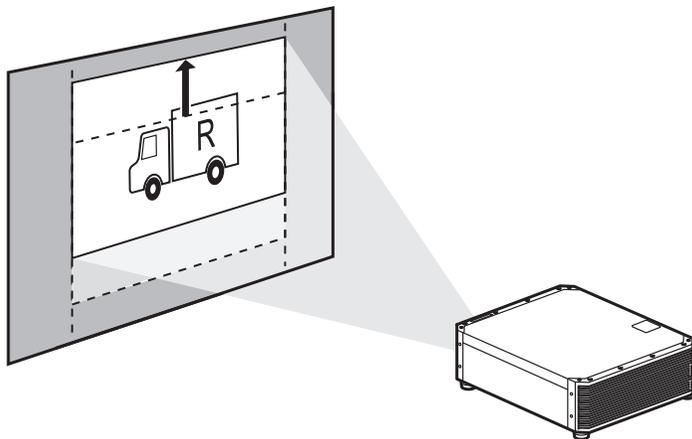
- まっすぐ投写しないと画面がひずみます。
- スクリーンには、太陽光線や照明が直接当たらないようにしてください。明るい部屋では、照明を消す、カーテンを引くなどすると、画面が見やすくなります。
- 使用するスクリーンの特性によっては、斜めから見た場合に投写画面の一部が色づいて見えることがあります。広視野角タイプ(マットタイプ)のスクリーンの使用を推奨します。



■ 床に置く

床置きするとき、スクリーンへの投写位置を調整するには、レンズシフト機能(P34、P53)を使用して画面を上下左右に調整することができます。

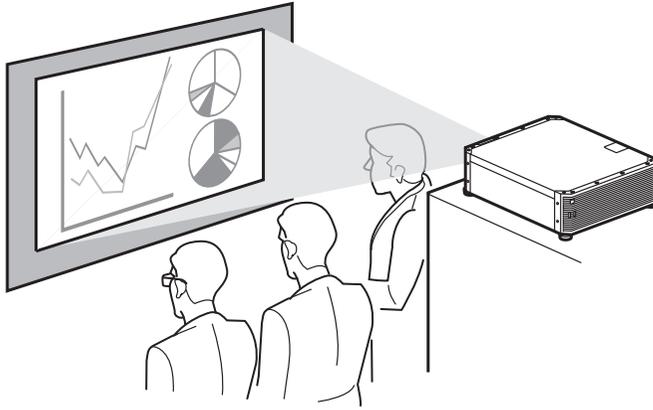
画面サイズと投写距離の関係については32ページを参照してください。



レンズシフト

■ 高い位置に置く

本機は、レンズシフト機能 (P34) を使用して画面を下側に投写することができます。本機を高いところに置いて使用する場合は、必ず水平で安定した場所に調整脚を下にして設置してください。

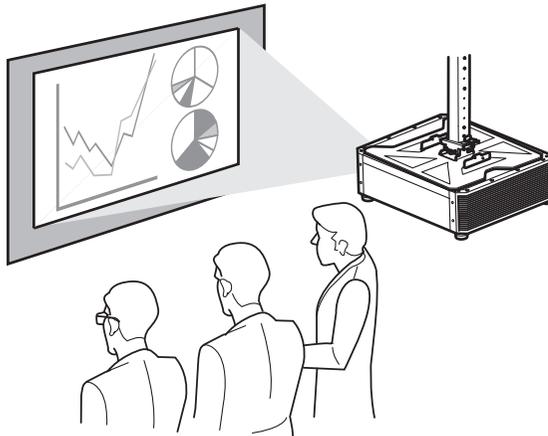


警告

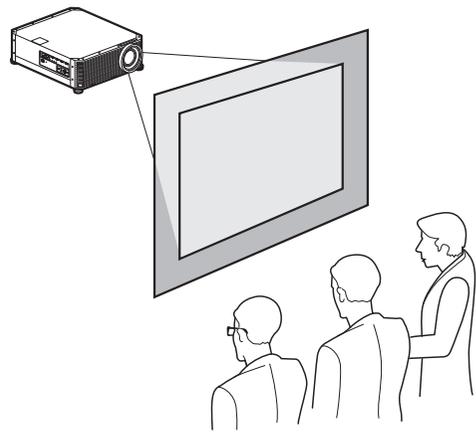
本機を高いところに置いて使用する場合は、必ず水平で安定した場所に設置してください。本機が落下して事故やけがの原因になります。

■ 天吊り / リア投写について

本機は、天井から吊り下げ (天吊り) て投写したり、透過型スクリーンを使用してスクリーン裏側から投写 (リア投写) することもできます。



天吊り投写



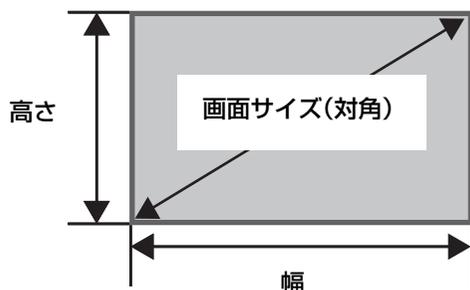
リア投写



本機を天井から吊り下げて設置するときは、調整脚が下側になるよう設置することをお勧めします。

画面サイズと投写距離の関係

画面サイズは、本機からスクリーンまでの距離（投写距離）とズーム位置で決まります。次の表を参考に、本機のスクリーンからの距離を決めてください。



4K600STZ

画面サイズと投写距離の関係（参考値）

画面 サイズ (型)	4096 × 2160				4096 × 2400			
	画面サイズ [cm]		投写距離 [m]		画面サイズ [cm]		投写距離 [m]	
	幅	高さ	ワイド端	テレ端	幅	高さ	ワイド端	テレ端
40	90	47	0.9	1.2	88	51	0.9	1.1
60	135	71	1.3	1.8	131	77	1.3	1.7
80	180	95	1.8	2.4	175	103	1.8	2.3
100	225	118	2.3	3.0	219	128	2.2	2.9
120	270	142	2.7	3.6	263	154	2.7	3.5
140	315	166	3.2	4.2	307	180	3.1	4.1
160	359	190	3.7	4.8	351	205	3.6	4.7
180	404	213	4.1	5.4	394	231	4.0	5.3
200	449	237	4.6	6.0	438	257	4.5	5.8
220	494	261	5.1	6.6	482	282	4.9	6.4
240	539	284	5.5	7.2	526	308	5.4	7.0
260	584	308	6.0	7.8	570	334	5.9	7.6
280	629	332	6.5	8.4	614	360	6.3	8.2
300	674	355	6.9	9.0	657	385	6.8	8.8
350	786	415	8.1	10.5	767	449	7.9	10.3
400	899	474	9.3	12.1	877	514	9.0	11.8
450	1011	533	10.4	13.6	986	578	10.2	13.2
500	1123	592	11.6	15.1	1096	642	11.3	14.7
550	1236	652	12.8	16.6	1205	706	12.4	16.2
600	1348	711	-	-	1315	770	13.6	17.7

4K600Z

画面サイズと投写距離の関係（参考値）

画面 サイズ (型)	4096 × 2160				4096 × 2400			
	画面サイズ [cm]		投写距離 [m]		画面サイズ [cm]		投写距離 [m]	
	幅	高さ	ワイド端	テレ端	幅	高さ	ワイド端	テレ端
40	90	47	1.2	2.1	88	51	1.2	2.1
60	135	71	1.8	3.2	131	77	1.8	3.1
80	180	95	2.4	4.2	175	103	2.3	4.1
100	225	118	3.0	5.3	219	128	2.9	5.2
120	270	142	3.6	6.3	263	154	3.5	6.2
140	315	166	4.2	7.4	307	180	4.1	7.2
160	359	190	4.8	8.5	351	205	4.7	8.2
180	404	213	5.4	9.5	394	231	5.3	9.3
200	449	237	6.0	10.6	438	257	5.9	10.3
220	494	261	6.6	11.6	482	282	6.4	11.3
240	539	284	7.2	12.7	526	308	7.0	12.4
260	584	303	7.8	13.7	570	334	7.6	13.4
280	629	332	8.4	14.8	614	360	8.2	14.4
300	674	355	9.0	15.9	657	385	8.8	15.5
350	786	415	10.5	18.5	767	449	10.3	18.0
400	899	474	12.0	21.1	877	514	11.7	20.6
450	1011	533	13.5	23.8	986	578	13.2	23.2
500	1123	592	15.0	26.4	1096	642	14.6	25.8
550	1236	652	16.5	29.1	1205	706	16.1	28.3
600	1378	711	-	-	1315	770	17.6	30.9

レンズシフト機能について

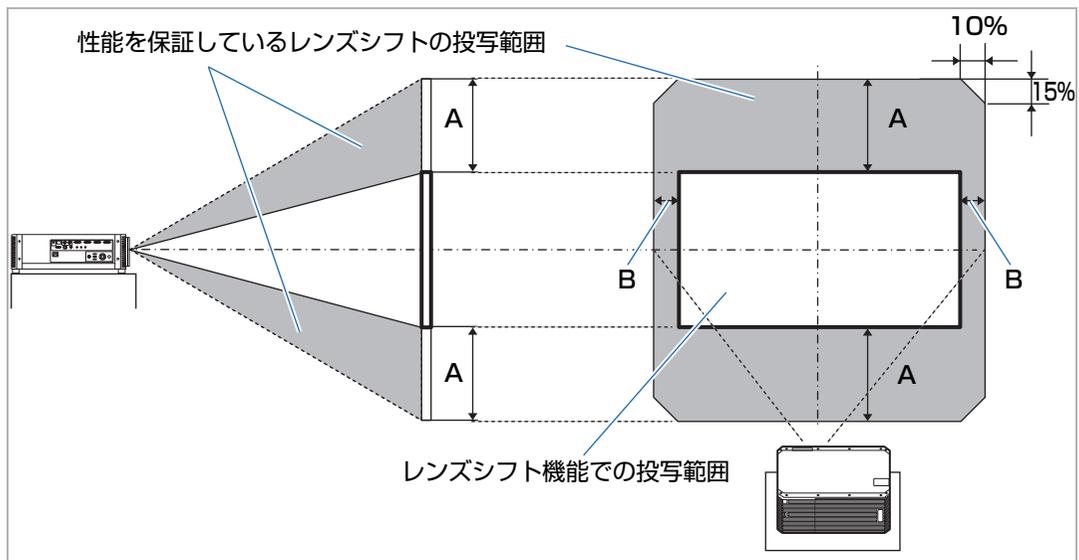
リモコンの【SHIFT】ボタンで投写レンズを上下左右にスライドさせ、画面位置を上下左右に移動することができます。操作のしかたについては、「画面の位置を調整する」(P53)を参照してください。

■ レンズシフト移動量について

レンズシフト量は、画面の高さおよび幅に対する移動量をパーセンテージで表したものです。本機におけるレンズシフト量は、次の通りです。

A 上下方向のシフト量	± 60%
B 左右方向のシフト量	± 10%

本機では、上下左右方向のレンズシフト操作が可能です。以下は、本機のレンズシフト操作の性能を保証している範囲です。四隅の横10%、縦15%の範囲を外れた場合、周辺光量が低下したり、解像感が劣化する場合があります。この場合、許容範囲内までレンズシフト位置をずらしてご使用ください。



レンズシフトによる上下方向 (A) と左右方向 (B) の最大移動量 (参考値) [cm]

画面サイズ (型)	4096 × 2160		4096 × 2400	
	A	B	A	B
40	28	9	31	9
60	43	13	46	13
80	57	18	62	18
100	71	22	77	22
120	85	27	92	26
140	100	31	108	31
160	114	36	123	35
180	128	40	139	39
200	142	45	154	44
220	156	49	169	48
240	171	54	185	53
260	185	58	200	57
280	199	63	216	61
300	213	67	231	66
350	249	79	270	77
400	284	90	308	88
450	320	101	347	99
500	355	112	385	110
550	391	124	424	121
600	427	135	462	131



- A の数値は、レンズシフト機能でスクリーンに対し垂直方向に移動したとき、映像が移動できる範囲の中心の位置からのおおよその移動量です。
- B の数値は、レンズシフト機能でスクリーンに対し水平方向に移動したとき、映像が移動できる範囲の中心の位置からのおおよその移動量です。
- レンズシフトの操作は映像を投写し、映像を確認しながら行ってください。
- レンズシフトの操作中、映像が移動しなくなったら移動範囲の限界です。

接続のしかた



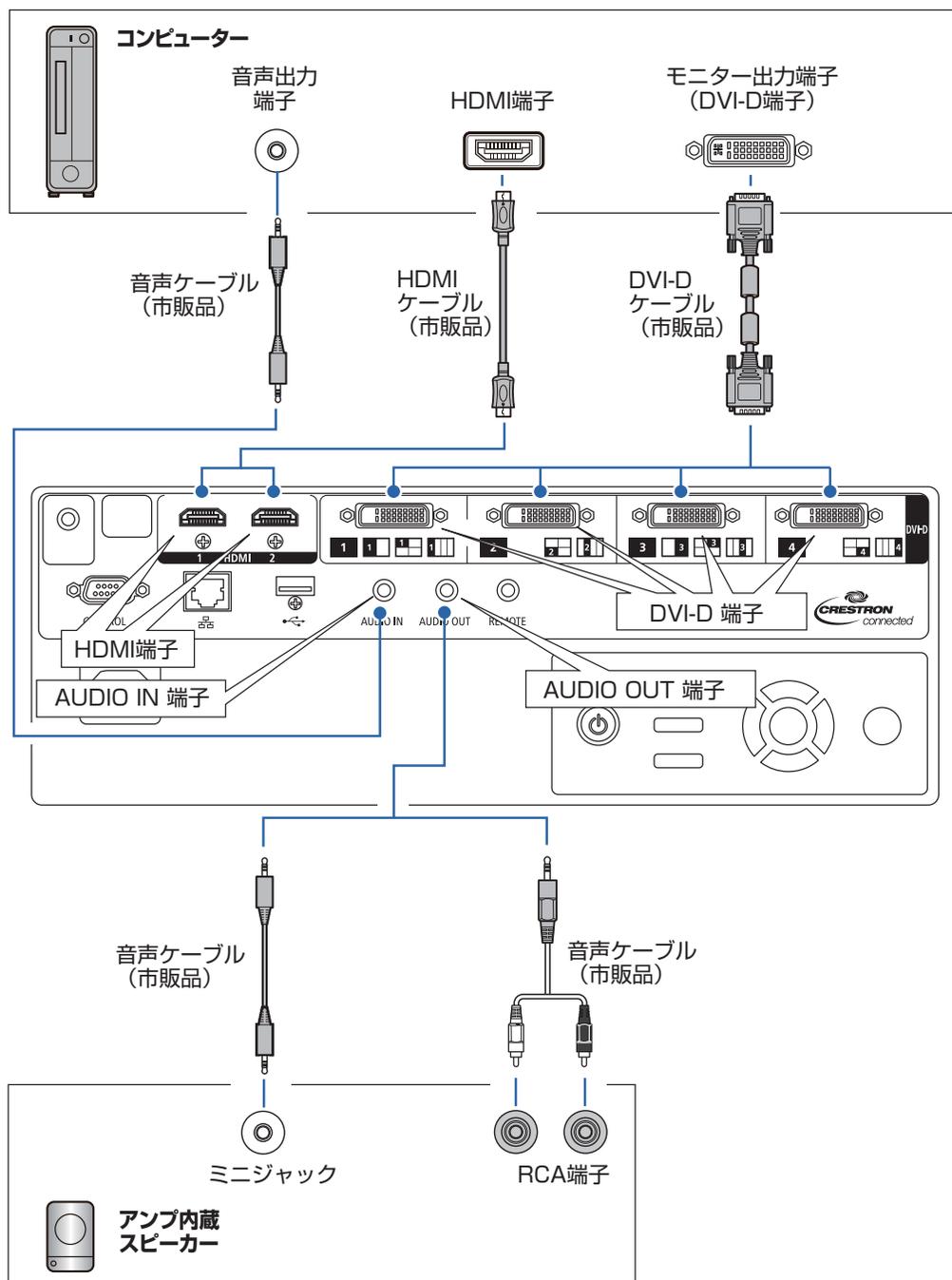
注意

プロジェクターと接続機器の電源を切ってから接続してください。

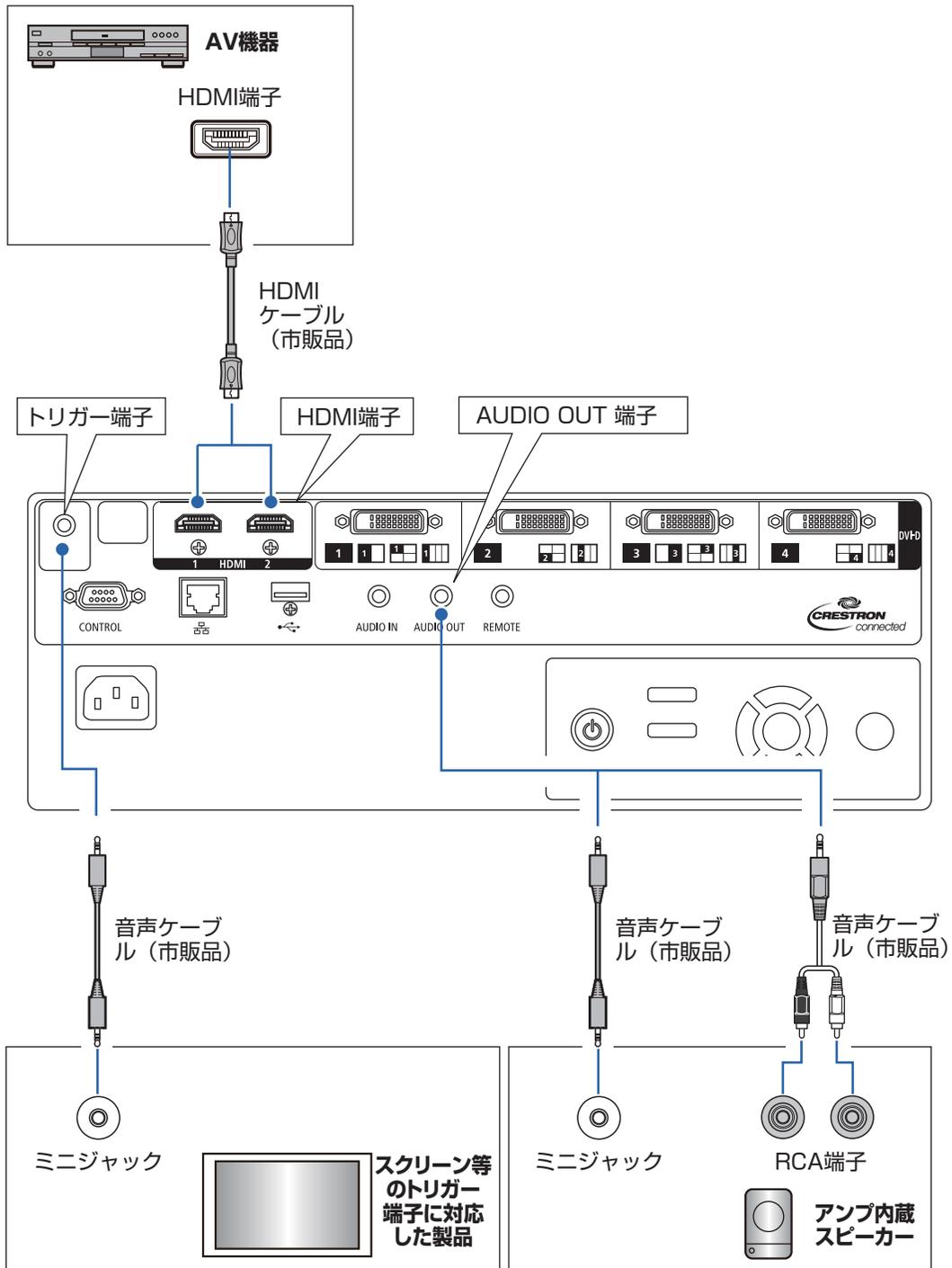


マルチインプットにより 4K 投写する場合の接続は、「4K 映像を投写する」(P38) を参照してください。

コンピューターを接続する



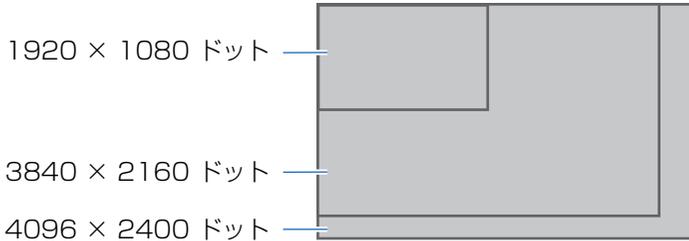
AV 機器を接続する



4K 映像を投写する

■ 4K とは

3840 × 2160 ドット、3840 × 2400 ドット、4096 × 2160 ドット、4096 × 2400 ドットなどの解像度の規格を「4K」と言います（下記は解像度のイメージ図）。



本機は4Kの最大解像度4096 × 2400 ドットまでの入力信号に対応しています。詳細は対応信号の一覧表を確認してください。（P186）

■ 4K のデジタル信号対応

本機は、DVI-D入力とHDMI: 2 (4K / Deep Color / HDCP2.2^{*1}) 入力を備えています。DVI-D 入力はドットクロックによりシングルリンクとデュアルリンクが規定されています。

ドットクロックが165MHzを超えるような解像度の場合は、デュアルリンクのコネクターとケーブルを使用する必要があります。

DVI-D入力のおもな解像度

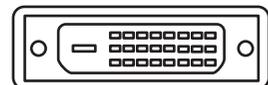
- 4096 × 2160 (デュアルリンク、垂直周波数24Hz)

HDMI (バージョン2.0) 入力のおもな解像度

- 3840 × 2160 (垂直周波数60Hz)
- 4096 × 2160 (垂直周波数60Hz)



シングルリンクコネクター



デュアルリンクコネクター

解像度	QFHD (3840 x 2160)							
	24Hz				60Hz			
	422		444		422		444	
色深度	8bit	10bit	8bit	10bit	8bit	10bit	8bit	10bit
HDMI 1.4 (10.2Gbps 帯) × 1本	○	○	○	×	×	×	×	×
HDMI 2.0 ^{*2} (18Gbps 帯) × 1本	○	○	○	○	○	○	○	×

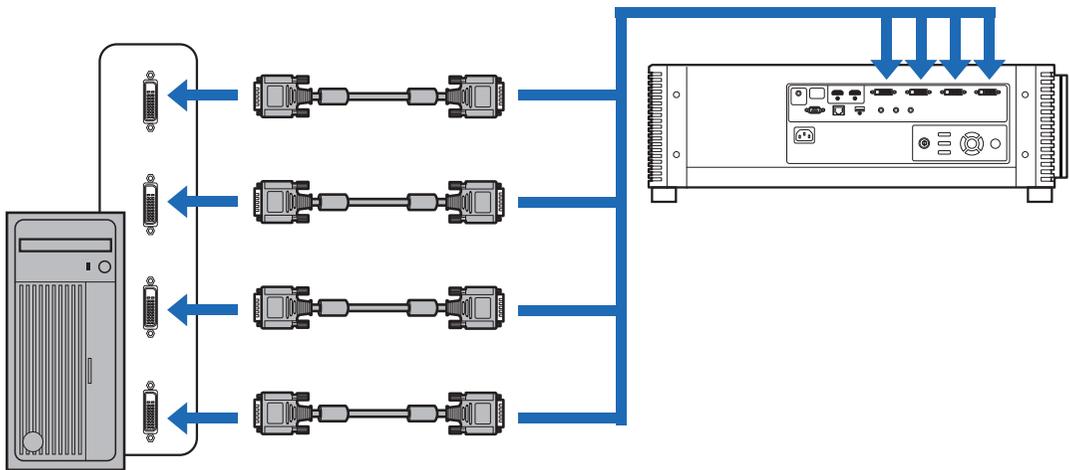
解像度	DCI (4096 x 2160)							
	24Hz				60Hz			
	422		444		422		444	
色深度	8bit	10bit	8bit	10bit	8bit	10bit	8bit	10bit
HDMI 1.4 (10.2Gbps 帯) × 1本	○	○	○	×	×	×	×	×
HDMI 2.0 ^{*2} (18Gbps 帯) × 1本	○	○	○	○	○	○	○	×

- *1 HDCPとは、Higt-bandwidth Digital Content Protectionの略でHDMIを經由してコンピューターなどの映像再生機器からプロジェクターなどの表示機器にデジタル信号を送信するときに暗号化することで、コンテンツの不正コピーを防止する著作権保護技術です。HDCPの規格は、Digital Content Protection,LLCという団体によって、策定・管理されています。
- *2 18Gbpsに対応したHDMIケーブルをご使用ください。

■ マルチインプット機能について

- DVI-D

DVI-Dデュアルリンクケーブルを4本使用して最大4096 × 2400ドット（垂直周波数60Hz）の信号を入力できます。4本のケーブルから入力された信号は合成されて1つの映像として表示されます。

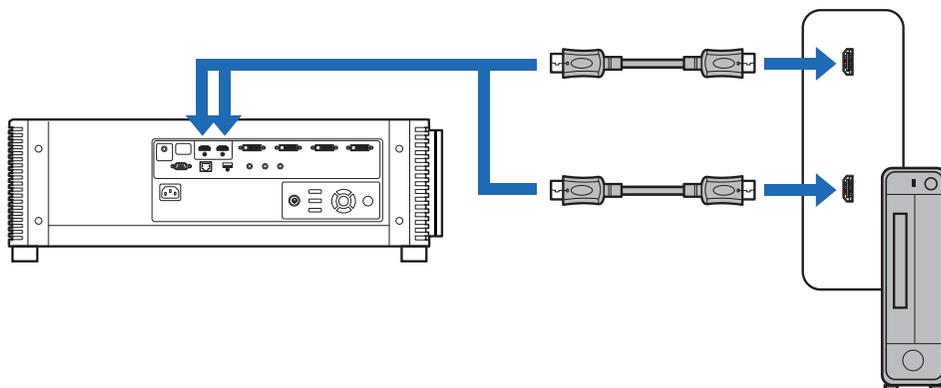


DVIデュアルリンクケーブル4本でワークステーションに接続する場合

接続のしかた

- HDMI

HDMIケーブルを2本使用して4096 × 2160ドット（垂直周波数60Hz）の信号を1つの映像として表示できます。2本のケーブルから入力された信号は合成されて1つの映像として表示されます。



HDMIケーブル2本でデスクトップコンピューターに接続する場合



- 本機は、異なる複数台の機器からの入力を、2画面、4画面等の画面分割で同時に投写することはできません。
- HDMI2.0対応ケーブルを2本使用して4096 × 2160ドット / 垂直周波数120Hzの信号を1つの映像として表示することはできません。

■ マルチインプットモードの設定

2本のHDMI入力、4本のDVI入力をどのように組み合わせて、映像を構成するかを選択します。コンピューターの映像出力の画面表示形式（2分割、4分割）に合わせる必要があるため、あらかじめコンピューター側の出力設定を確認してください。



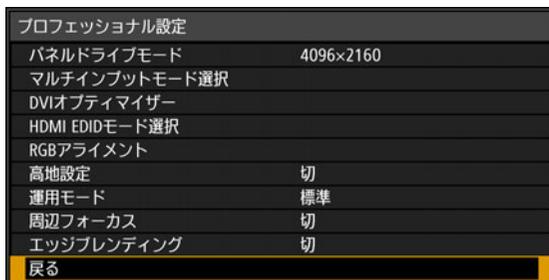
マルチインプットモードについて

端子に入力する映像の種類（解像度など）を設定します。一般的な信号は[標準]を使用します。特異的な信号を使用するときに[シングル]、[1x2]、[2x2]、[1x4]を使用します。詳細は対応信号の一覧表で確認してください。（P186）

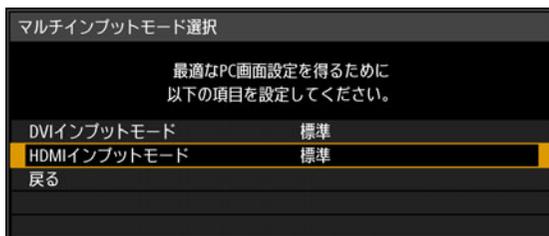
- [標準] 設定
[シングル]、[1x2]、[2x2]、[1x4]を含め、代表的な映像を網羅的にサポートします。
- [シングル] 設定
単端子接続（シングル接続）するときに、専門の信号を多くサポートします。
- [1x2] 設定
2つの入力端子を使う場合に専門の信号を多くサポートします。
- [2x2] 設定
4つの入力端子を使い縦横2行2列で投写する場合、専門の信号を多くサポートします。
- [1x4] 設定
4つの入力端子を使い縦に4列で投写する場合、専門の信号を多くサポートします。

本機の電源の入れかたについては、「ステップ1 電源を入れる」（P44）をご覧ください。

- 1 [設置設定]メニューから、[プロフェッショナル設定]、[マルチインプットモード選択]の順に選びます。



- 2 入力するインプットモードを選びます。



DVI インพุットモード

DVI 入力の組み合わせを設定します。[標準]、[シングル]、[DVI 1x2]、[DVI 2x2]、[DVI 1x4] から選択できます。

- [インพุット] メニュー (P47) のマルチインพุット [DVI 1x2]、[DVI 2x2]、[DVI 1x4] を選んだ場合、DVIインพุットモードメニューをそれぞれ [DVI 1x2]、[DVI 2x2]、[DVI 1x4] に設定することで、[標準] には含まれていない信号 (P188～P190) にも対応しています。
- [インพุット] メニュー (P47) のシングルインพุット [DVI-1]、[DVI-2]、[DVI-3]、[DVI-4] を選んだ場合、DVIインพุットモードメニューをそれぞれ [シングル] に設定することで、[標準] には含まれていない信号 (P188) にも対応しています。

HDMI インพุットモード

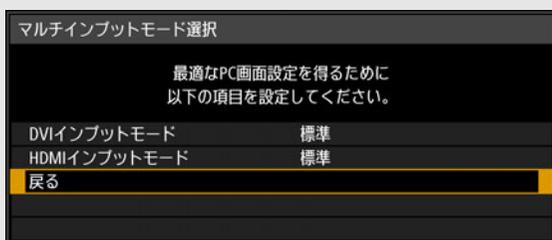
HDMI 入力の組み合わせを設定します。[標準]、[シングル]、[HDMI 1x2] から選択できます。

- [インพุット] メニュー (P47) のマルチインพุット [HDMI 1x2] を選んだ場合、HDMIインพุットモードメニューを [HDMI 1x2] に設定することで、[標準] には含まれていない信号 (P187) にも対応しています。
- [インพุット] メニュー (P47) のシングルインพุット [HDMI-1]、[HDMI-2] を選んだ場合、HDMIインพุットモードメニューをそれぞれ [シングル] に設定することで、[標準] には含まれていない信号 (P186) にも対応しています。

[標準] に設定した場合、EDID (接続先のモニターの機種名や設定値をコンピューターに伝えるディスプレイ固有のID) には単端子を使う場合の一部と、複数端子を使う場合の一部の映像信号を載せたリストになります。映像出力側で端子数の異なる映像信号を選択して出力できます。

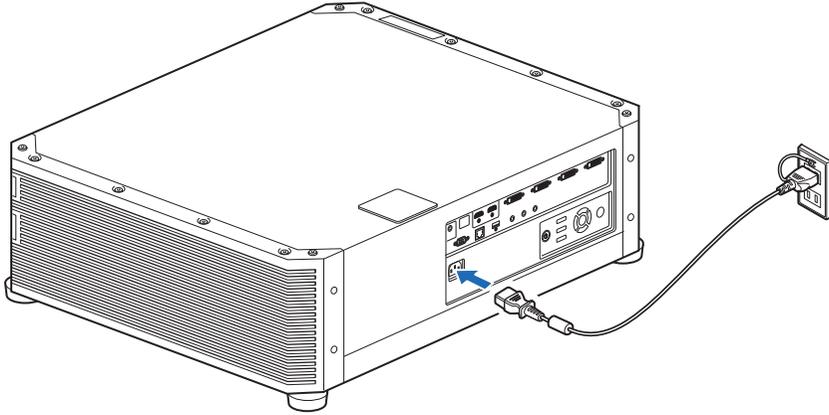


【INPUT】ボタンで設定と異なる入力端子が選択された場合は、マルチインพุットモード選択画面が自動的に表示されます。



電源コードを接続する

プロジェクターに電源コードを接続します。



- 電源コードのアース線を必ずアースに接続してください。
- アース線の接続は、必ず電源プラグをコンセントに接続する前に行ってください。またアース線を外すときは、必ず電源プラグをコンセントから抜いてから行ってください。
- 電源プラグやコネクターは根元まで確実に差し込んでください。



警告



- 長期間ご使用にならないときは電源プラグを抜いてください。
- 電源プラグを長期間抜いた状態が続くと、[日付・時刻設定] がリセットされる場合があります。(P113)

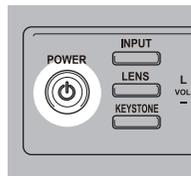
ステップ 1 電源を入れる

- 1 コンピューターまたは AV 機器との接続を確認します。(P36、P37)
電源コードの接続については「電源コードを接続する」(P43)を参照してください。
- 2 【POWER】 ボタンを押します。
【POWER】 インジケーター（緑）が点滅し、点灯に変わります。

リモコン



本体



カウントダウン表示（約 20 秒間）が行われた後、投写をはじめます。なお、カウントダウン表示は【OK】ボタンまたは【EXIT】ボタンを押すと消えます。



- 電源ケーブルを接続した後、約 40 秒間はネットワーク機能が使えません。
- 電源を入れた後数分間、安定するまで波模様のようなノイズが投写画面に現れることがあります。

- 3 コンピューターまたは AV 機器の電源を入れます。
コンピューターまたは AV 機器からの映像が投写されます。

起動時の動作を変更するには

起動時の動作を、次のように変更できます。

- 【POWER】 ボタンを使わずに、電源コードを接続するだけで電源を入れることができます。(P110)
- カウントダウン中の表示を変えられます。(P103)
- カウントダウン表示を消すことができます。(P103)
- 電源オフ直前のプロジェクターの状態を記憶しておくことで、次回の起動時間を短縮できます。(P109)

一定時間使用しない場合は

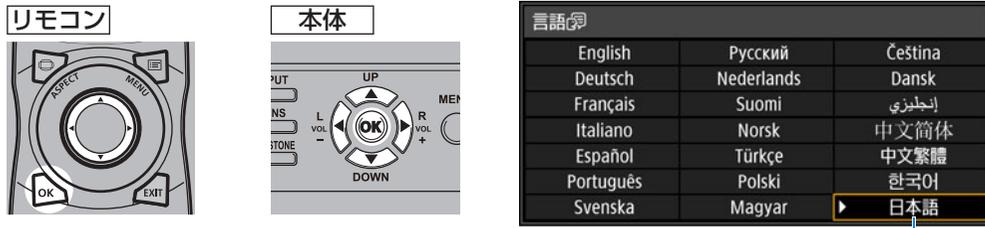
本機は一定時間（工場出荷時の設定では 15 分間）無信号状態、かつ無操作状態が継続すると、パワーマネージメント機能により自動的に電源が切れます。(P109)

■ 言語を選ぶ画面が表示されたとき

ご購入後に初めて電源を入れたときは、メッセージやメニューの言語を選ぶ画面が表示されます。方向ボタンで言語を選び、【OK】ボタンを押してください。

なお、言語は後からメニューを使って変更することもできます。(P111)

ピントがずれていて言語を選ぶ画面が読めないときは、ピントを調整してください。(P51)



オレンジの項目が選ばれます

■ パスワード入力画面が表示されたとき

パスワードを設定しているときは、パスワードを入力する画面が表示されます。パスワードを入力してください。(P112)

■ 「入力信号がありません」と表示されたとき

ノート型コンピューターの場合は、出力切り換えが必要です。(P46)

【INPUT】ボタンを押して入力信号を選びます。(P47)

■ ノート型コンピューターの画面が表示できないとき

ノート型コンピューターの画面を、外部モニターに出力できるよう切り換えます。詳しくは、次ページの「ノート型コンピューターの画面出力を切り換える」を参照してください。

■ 画面を調整するとき

- コンピューター側の表示解像度を最大解像度、または最も近い解像度に設定してください。(P49)
- 投写画面のサイズは、リモコンの【ZOOM】ボタンで調整してください。(P51)
- ピント調整が不十分なときはリモコンの【FOCUS】ボタンで調整してください。(P51)
- 台形ひずみの補正が必要なときは【KEYSTONE】ボタンで調整してください。(P56)
- スクリーンの縦横比、入力信号の種類などに合わせて、アスペクトを選んでください。(P55)
- 投写する映像の内容に合わせてイメージモード（画質）を選んでください。(P59)



画面の調整に便利な各種テストパターン (P185) を投写できます。

ノート型コンピューターの画面出力を切り換える

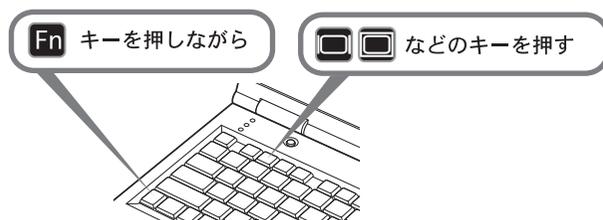
ノート型コンピューターを使用する場合は、コンピューター側で画面出力の切り換えが必要です。

デスクトップ型コンピューターではこの操作は不要です。

■ 外部モニター切り換え操作

ノート型コンピューターの画面出力は、キーボード操作で外部モニターへ切り換えることができます。

一般的には、[Fn] キーを押しながら、外部モニターを表すアイコンや文字が表記されているファンクションキー（[F1] ～ [F12]）を押すと、外部モニターへ切り換わります。



- 機種により使用するファンクションキーや切り換え方法が異なります。ご使用のノート型コンピューターの取扱説明書を参照してください。
- Windows 10 / Windows 8.1 / Windows 7 では Windows ロゴキーを押しながら [P] キーを押すと、画面出力を切り換えることができます。

ステップ2 入力信号を選択する

デジタル信号のコンピューターやAV機器で投写するとき、複数のコンピューター、AV機器などを接続して投写を切り換えるときは、[INPUT]メニューで入力信号を選びます。前回と同じ信号を投写するときには、この操作は不要です。

1 【INPUT】ボタンを押すと、右の画面が表示されます。



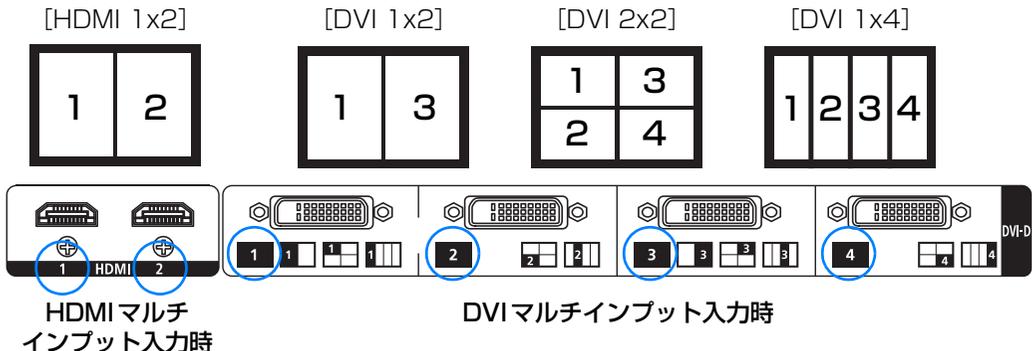
現在投写中の信号に○（緑色）がつき、オレンジ色の枠で表示されます。また、投写可能な状態の信号は文字が白で表示され、入力のない信号は文字がグレーで表示されます。

2 【▲】【▼】ボタンで入力信号を選びます。

また、【DIGITAL】ボタンを押すたびにDVI-Dの入力が、【HDMI】ボタンを押すたびにHDMIの入力が順に切り換わります。

3 【OK】ボタンを押して、入力信号を決定します。

マルチインプットの入力信号は以下のように分割され投写します。枠内の1、2、3、4は各入力端子の番号を示します。



- リモコンの入力信号切り換えボタン（【DIGITAL】ボタンまたは【HDMI】ボタン）を押して、投写したい入力信号に切り換えることもできます。
- 本機は、複数のケーブル(2本または4本)を使用して1つの映像を入力するマルチインプット機能を備えています。複数入力表示として [DVI 1×2]、[DVI 2×2]、[DVI 1×4]、[HDMI 1×2] が画面に表示され、4K 映像などを投写するときを選択します。(P38)
- マルチインプットが正しく成立するには、信号間に条件があります。条件から外れた信号がある場合には、「!



ステップ3 画面を調整する

コンピューターの表示解像度を設定する

本機の最大解像度に合わせて、コンピューター側の表示解像度を最も近い解像度に設定してください。(P186)

最大解像度

- [パネルドライブモード] が [4096 × 2160] の場合は4096 × 2160ドット
 - [パネルドライブモード] が [4096 × 2400] の場合は4096 × 2400ドット
- パネルドライブモードについて詳しくは、[93ページ](#)の[プロフェッショナル設定]の[パネルドライブモード]を参照してください。

■ Windows 10 の場合

- 1 スタートメニューから[コントロールパネル]を選び、[コントロールパネルホーム]の[デスクトップのカスタマイズ]から[画面の解像度の調整]を選びます。
- 2 [解像度]欄をクリックし、表示されるスライダを移動して本機の最大解像度に最も近い解像度を選びます。
- 3 [OK]ボタンをクリックします。

■ Windows 8.1 の場合

- 1 マウスポインターを画面の右上、または右下の外に出し、メニュー画面を表示します。
- 2 [設定]をクリックし、[コントロールパネル]をクリックします。
- 3 [コントロールパネルホーム]の[デスクトップのカスタマイズ]から[画面の解像度の調整]を選びます。
- 4 [解像度]欄をクリックし、表示されるスライダを移動して本機の最大解像度に最も近い解像度を選びます。
- 5 [OK]ボタンをクリックします。

■ Windows 7 の場合

- 1 スタートメニューから[コントロールパネル]を選び、[デスクトップのカスタマイズ]から[画面の解像度の調整]を選びます。
- 2 [解像度]欄をクリックし、表示されるスライダを移動して本機の最大解像度に最も近い解像度を選びます。
- 3 [OK]ボタンをクリックします。

■ Mac OS X の場合

- 1** アップルメニューを開き、[システム環境設定] を選びます。
- 2** システム環境設定ウィンドウの [ディスプレイ] アイコンをクリックし、ディスプレイの画面を表示します。
- 3** [ディスプレイ] タブを選び、[解像度] の一覧から本機の最大解像度に最も近い解像度を選びます。
- 4** [システム環境設定] のウィンドウを閉じます。

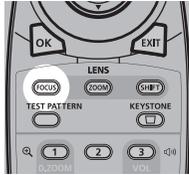
画面のピント / 画面サイズ / 画面の位置を調整する

■ 画面のピントを合わせる

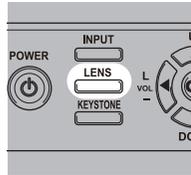
リモコンの【FOCUS】ボタンまたは本体の【LENS】ボタンでピントを調整することができます。

- 1 リモコンの【FOCUS】ボタンを押すか、本体の【LENS】ボタンを押すと、フォーカス調整画面が表示されます。

リモコン

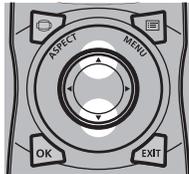


本体

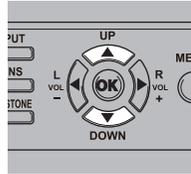


- 2 方向ボタンでピントを合わせます。

リモコン



本体



リモコンまたは本体の【▲】【▼】ボタンでピントを合わせます。

- 3 ピントが合ったら【OK】ボタン、または【FOCUS】ボタンを押します。



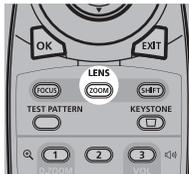
曲面に投写したい場合は、画面周辺部のピントを調整できます。「周辺フォーカス」(P97) および「周辺フォーカスを調整する」(P179)を参照してください。

■ 画面サイズを調整する

リモコンの【ZOOM】ボタンまたは本体の【LENS】ボタンで投写画面のサイズを調整することができます。調整しきれない場合は、本機の設置位置を変えてください。(P30)

- 1 リモコンの【ZOOM】ボタンを押すと、ズーム調整画面が表示されます。

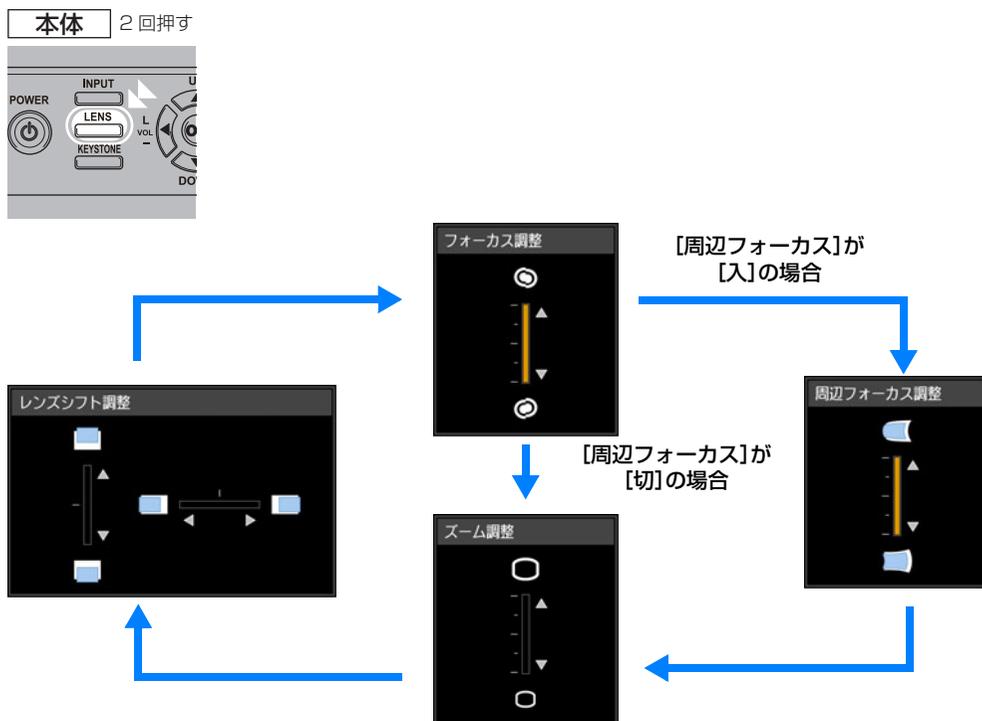
リモコン



投写のしかた

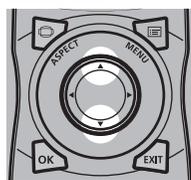
本体の【LENS】ボタンでは、押すたびにレンズで調整する項目についての画面表示が切り換わります。

【LENS】ボタンを2回（[周辺フォーカス]が[入]の場合は3回）押すと、ズーム調整画面が表示されます。

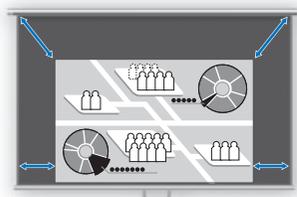
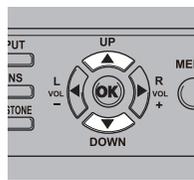


2 方向ボタンで画面サイズを調整します。

リモコン



本体



スクリーン

リモコンおよび本体の【▲】ボタンで画面サイズを拡大します。

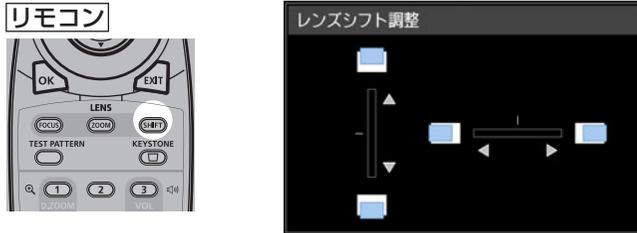
リモコンおよび本体の【▼】ボタンで画面サイズを縮小します。

3 画面サイズが決定したら【OK】ボタン、または【ZOOM】ボタンを押します。

■ 画面の位置を調整する

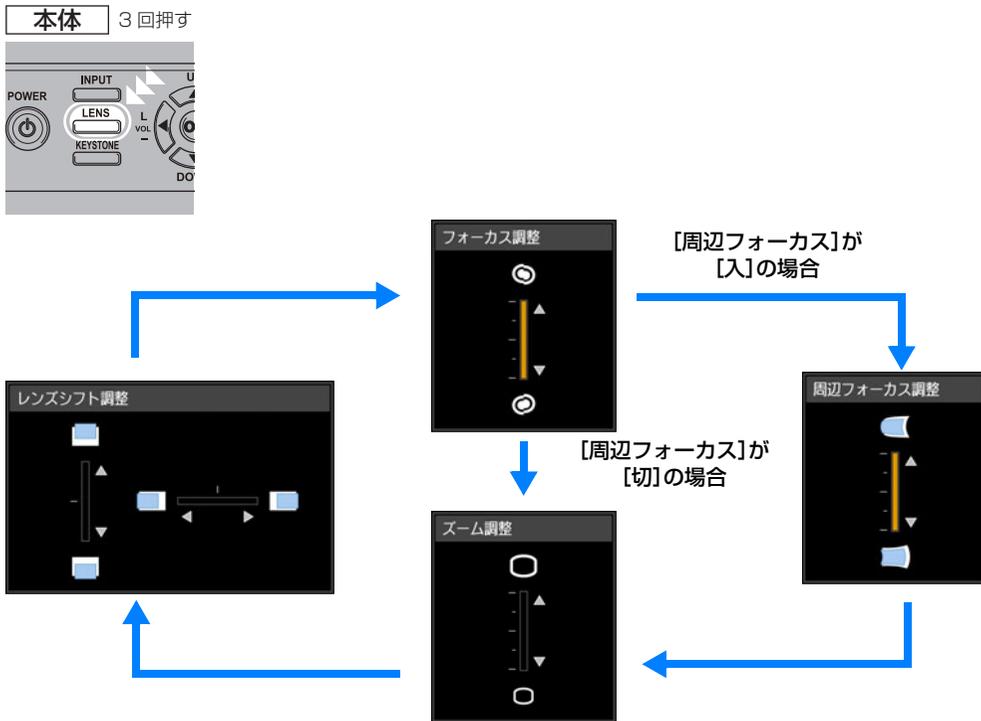
リモコンの【SHIFT】ボタンまたは本体の【LENS】ボタンで画面の位置を上下左右に調整できます。これは、「レンズシフト」といい、レンズの位置を上下左右に移動させることで、投写画面を最適な位置に移動できる機能です。(P34)

1 リモコンの【SHIFT】ボタンを押すと、レンズシフト調整画面が表示されます。



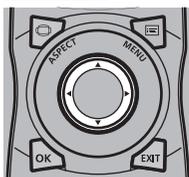
本体の【LENS】ボタンでは、押すたびにレンズで調整する項目についての画面表示が切り替わります。

【LENS】ボタンを3回（[周辺フォーカス]が[入]の場合は4回）押すと、レンズシフト調整画面が表示されます。

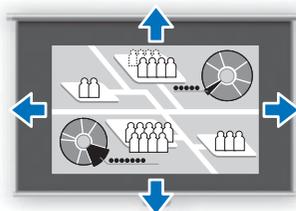
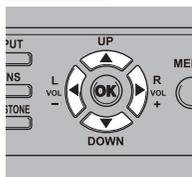


2 方向ボタンで調整します。

リモコン



本体



スクリーン

リモコンおよび本体の【▲】【▼】ボタンを押すと画面の位置が上下に移動します。リモコンおよび本体の【◀】【▶】ボタンを押すと画面の位置が左右に移動します。それぞれのボタンを長押しするとその方向へ画面が動き続けます。

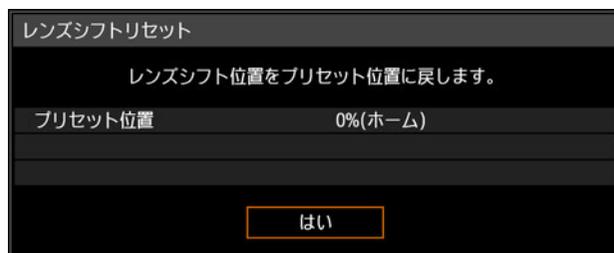
3 位置が決まったら【OK】ボタンを押します。

位置をリセットする

レンズシフトで移動したレンズの位置は、電源を切っても戻りません。元に戻すには、リセットの操作を行ってください。

まず、画面位置の調整中にリモコンの【SHIFT】ボタンまたは本体の【LENS】ボタンを長押しして、[レンズシフトリセット]画面を表示させます。

選択肢として+50%、-50%、0%（ホーム）が表示されるので、方向ボタンでいずれかを選んで【OK】ボタンを押します。



- リセットの操作をしても、選択した位置（+50%、-50%、0%（ホーム））から、わずかにずれることがあります。
- 正確な位置出しが必要な場合は、レンズシフト機能を使用して微調整してください。

ステップ4 スクリーンに合わせて縦横比（アスペクト）を選択する

スクリーンのサイズを最大に活かした投写を行うため、スクリーンの縦横比、入力信号の種類などに合わせて、最適なアスペクトを選んでください。

アスペクトを選択する

入力信号の種類、縦横比、解像度に合わせて [アスペクト] を選びます。

アスペクトの種類

■ オート

入力信号の縦横比のまま最大に投写します。一般的な投写のときはこのモードを選んでください。

■ リアル

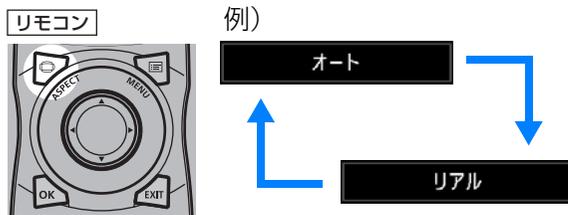
入力信号の解像度のまま投写します。本機より低い解像度のコンピューターを接続する場合、このモードを選択すると画面サイズは小さくなりますが最も鮮明な映像となります。



入力信号や解像度により選択できない場合があります。

アスペクトの選択のしかた

リモコンの【ASPECT】ボタンを押して選びます。【ASPECT】ボタンを押すたびに、アスペクトの種類が切り換わります。



メニューの [アスペクト] から選べます。(P78)

ステップ5 台形ひずみを調整する

【KEystone】ボタンで台形ひずみの補正（キーストーン調整）ができます。キーストーン調整の方法には、縦横キーストーンと4点補正の2種類があります。縦横キーストーンでは、上下、または左右方向の長さ（ひずみ）を個別に調整し、4点補正では投写画面の4隅の位置をそれぞれ調整します。キーストーン調整の切り換え方法は、「キーストーン」(P92)をご覧ください。



- 台形ひずみの補正は、レンズシフトの位置によっては正しく補正できない場合があります。
- 補正しきれないときは、本機の設置位置をスクリーンに対しまっすぐにしてください。
- 補正時に信号がデジタル処理されるため、元の映像と見えかたが異なることがあります。また、画面の縦横比が変わることがあります。

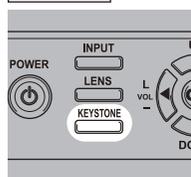
■ 縦横キーストーン調整を行う

- 1 リモコンの【KEYSTONE】ボタンを押すか、本体の【KEYSTONE】ボタンを押すと、縦横キーストーン調整画面が表示されます。（【キーストーン】の設定が【縦横キーストーン】のとき）

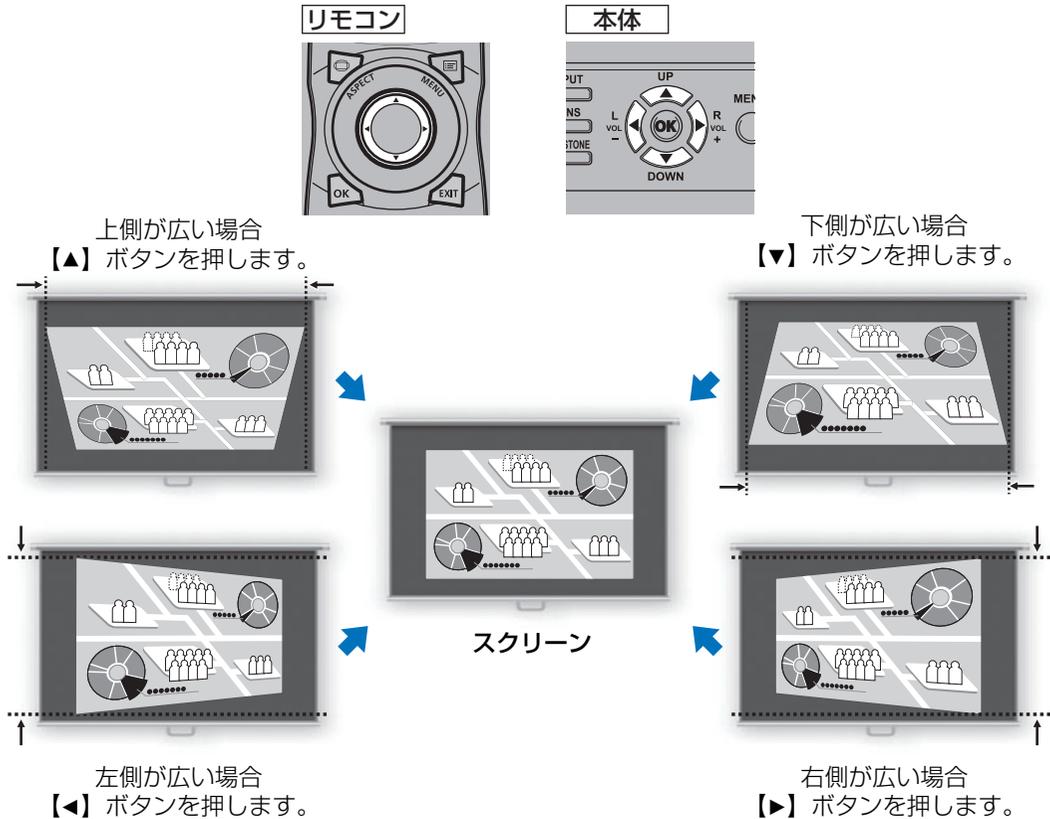
リモコン



本体



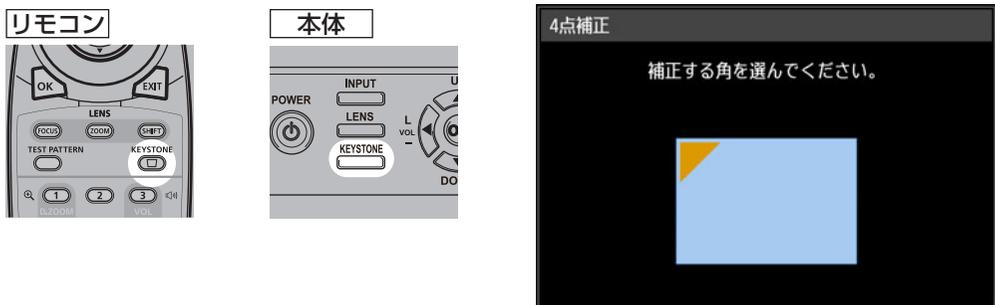
2 方向ボタンで調整します。



3 補正が終わったら、【OK】 ボタンを押します。

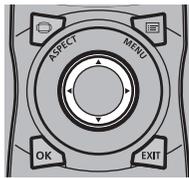
■ **4点補正を行う**

1 リモコンの【KEYSTONE】 ボタンを押すか、本体の【KEYSTONE】 ボタンを押すと、4点補正画面が表示されます。（[キーストーン] の設定が [4点補正] のとき）

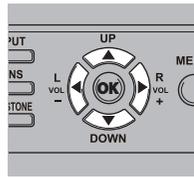


2 方向ボタンで、補正する角を選択し、【OK】ボタンを押します。

リモコン

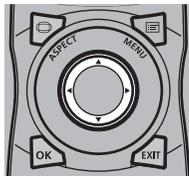


本体

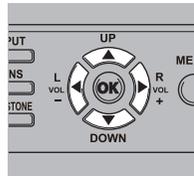


3 方向ボタンで調整します。

リモコン



本体



4 補正が終わったら【OK】ボタンを押します。

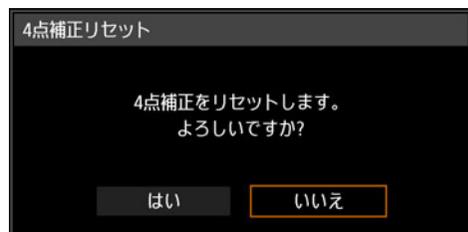
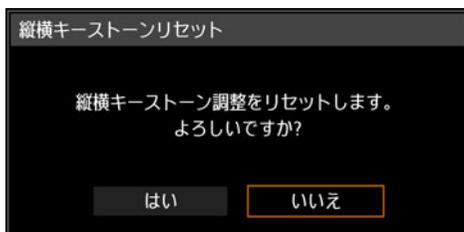
■ 補正をリセットする

補正をリセットできます。

まず、リモコンの【KEYSTONE】ボタンを2回押して【キーストーンリセット】画面を表示させます。

次に【◀】ボタンで【はい】を選び、【OK】ボタンを押します。

キーストーンで設定した台形ひずみの補正をリセットすることができます。



ステップ6 画質（イメージモード）を選択する

投写する映像の内容に合わせてイメージモード（画質）を選べます。各イメージモードでは、明るさ、コントラスト、シャープネス、ガンマ、HDRレンジ、色調整（P85）、高度な調整（P86）、光源モード（P89）と輝度レベル（P89）の設定ができます。

イメージモードの種類

選択されている入力信号により、選べるイメージモードが一部変わります。

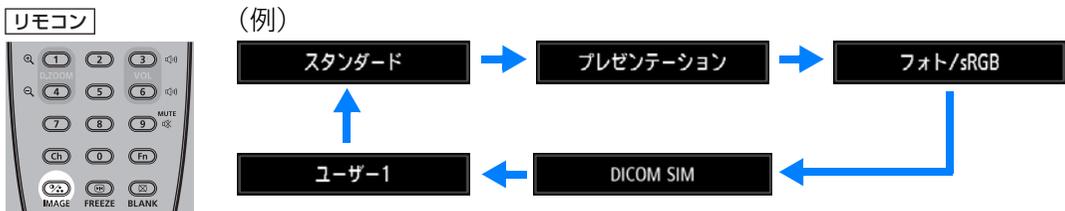
○：対応 —：非対応

イメージモード	対応する入力信号		機能 (1) 周りの明るさ (2) 映像の種類 (3) イメージモードの特長
	デジタルPC	HDMI	
スタンダード	○	○	(1) 明るい (2) コンピューター画面や映像ソフト（動画） (3) 白の色味、自然な彩色
プレゼンテーション	○	○	(1) 明るい (2) 文字を中心とした映像 (3) 画面が明るい
ダイナミック	—	○	(1) 明るい (2) 映像ソフト（動画） (3) 画面が明るい
ビデオ	—	○	(1) やや暗い (2) ビデオカメラ映像 (3) テレビに近い色表現
フォト / sRGB	○	○	(1) やや暗い (2) sRGB 対応のデジタルカメラ映像 (3) sRGB 規格対応
DICOM SIM	○	○	(1) やや暗い (2) モノクロ映像（医療用など） (3) DICOM Standard Part14 規格の GSDF カーブにあわせて調整
ユーザー 1～3	○	○	ユーザー自身が画質の設定の組み合わせを3種類までメモリに登録することができます（P83）。保存した設定は、イメージモードとしてここで選択します。

■ イメージモードの選びかた

リモコンの【IMAGE】ボタンを押して選びます。

【IMAGE】ボタンを押すたびに、イメージモードの種類が切り換わります。（表示されるイメージモードの種類は、選択されている入力信号により異なります）



メニューの [イメージモード] から選べます。（P83）

- ユーザー 1～3 は、イメージ調整メニューのユーザーメモリ作成でお好みの画面設定を保存したときに表示されます。（P83）

DICOM SIM モードで投写する

本機の DICOM シミュレーションモード（以下、DICOM SIM）では、レントゲンや CT、MRI などのモノクロ医療用の映像を、DICOM (Digital Imaging and Communications in Medicine) 規格に近似した階調で投写することができます。通常、DICOM 規格に準じて投写するには、環境に合わせて輝度計を用いたグレースケール階調の補正が必要となります。本機では、あらかじめ環境光に対応した 21 通りの階調設定が用意されており、DICOM テストパターン (P185) を選ぶことで、簡易的に階調の補正を行うことができます。

医療についての講演や、学会、院内カンファレンスなどで投写するのに適しています。

本機は、医療用画像表示用モニターではないため、読影や診断には使用できません。



注意

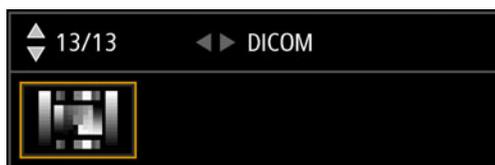
- 本機は、経年変化に対する自動輝度補正、または校正機能を搭載していないため、使用時ごとの階調の確認をお勧めします。
- 本機の投写輝度が安定するまで、およそ 30 分かかります。

■ DICOM SIM モードの切り換え

- 1 リモコンの【IMAGE】ボタンを【DICOM SIM】と表示されるまで押すか、【イメージ調整】メニューの【イメージモード】から【DICOM SIM】を選びます。



- 2 リモコンの【TEST PATTERN】ボタンまたは【設置設定】メニューの【テストパターン】から【入】を選び、テストパターンを表示させ、【▲】【▼】ボタンで DICOM テストパターンを選択します。



- 3 テストパターンを確認しながら【イメージ調整】メニューの【ガンマ】(84 ページ)調整を行い最適な映像にします。
- 4 調整が終わったら【OK】ボタンを押します。



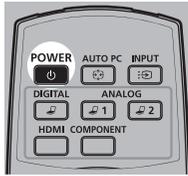
以下のいずれかを行って十分な視認を確保してください。

- 室内の明かりを暗くする。
- 映像サイズを小さくする。
- 投写距離を短くする。

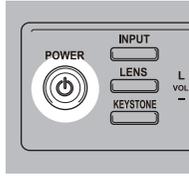
ステップ7 電源を切る

- 1 【POWER】ボタンを押すと、下の画面が表示されます。

リモコン



本体



! 電源切

もう一度POWERボタンを押すと
電源が切れます。

- 2 画面の表示中に、もう一度【POWER】ボタンを押すと電源が切れます。

電源を切った後、投写光が消え、[STAND BY] インジケータが赤く点滅して投写光の冷却が始まります。本機の冷却が終了した状態を「スタンバイ状態」といいます。スタンバイ状態では、[STAND BY] インジケータが点滅から点灯に切り換わります。電源を切らずになお投写を続ける場合は、【POWER】以外のボタンを押すか、メッセージが消えるまで待ってください。



- 冷却中は、電源を入れることができません。
- 連続使用は、内部光学部品の寿命を縮める原因になることがあります。
- 長時間使用しないときは、電源プラグをコンセントから抜いてください。

便利な機能

プレゼンテーションなどで便利に使える機能について説明します。

映像を一時的に消す

プレゼンテーションが終了したときや、プレゼンテーション時に出席者の注意をスクリーンからそらすときなど、一時的に映像を消すことができます。

リモコン



【BLANK】 ボタンを押すと映像が消えます。

もう一度 **【BLANK】** ボタンを押すと元の映像が表示されます。

- 映像を消している間の画面の状態を、メニューで設定できます。(P103)

映像を静止させる

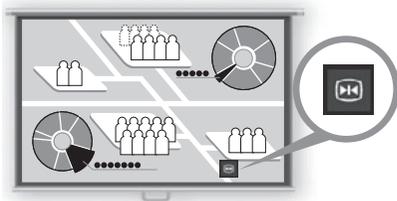
コンピューターから離れて操作するときや、変化する映像を途中で止めて見せるときなど、映像を一時的に静止させることができます。

リモコン



【FREEZE】 ボタンを押すと映像が静止し、画面に次のアイコンが表示されます。

もう一度 **【FREEZE】** ボタンを押すと元の映像に戻ります。

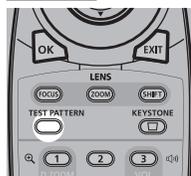


スクリーン

- 入力信号がなくなると解除されます。

テストパターンを投写する

リモコン



入力信号がなくても、テストパターンを投写することができます。設置時に投写することで、テストパターンを確認しながら設定することができます。

リモコンの **【TEST PATTERN】** ボタンを押すとテストパターンが表示されます。

もう一度 **【TEST PATTERN】** ボタンを押すとテストパターンが消えます。

テストパターンの詳細は、「設置設定」(P91) または、「表示できるテストパターン」(P185) をご覧ください。

省電力を設定する

省電力に関する機能を設定します。

設定できるのは、以下の4項目です。詳細は、各機能の解説ページを参照してください。

- **光源モード (P89)**

明るさを抑えたモードを選択すると、消費電力を削減できます。

- **パワーマネジメントモード (P109)**

一定時間入力信号と操作がない状態（無信号 / 無操作状態）が続くと、自動的に消灯や電源がオフになる機能です。

- **パワーマネジメント時間 (P109)**

[パワーマネジメントモード] の設定を [消灯]、または [スタンバイ] に設定した際、入力信号と操作がない状態（無信号 / 無操作状態）が続くと、自動的に消灯や電源がオフになる時間を設定します。

- **スタンバイ電力設定 (P109)**

スタンバイ状態時にネットワーク機能の一部を停止し、消費電力を削減する設定です。

応用編

安全にお使いいただくために

はじめに

設置のしかた

接続のしかた

投写のしかた

便利な機能

基本編

メニューの使いかた

メニューの構成

メニューによる設定

ネットワーク上の
プロジェクターを使用する

高度な投写

応用編

メンテナンス

製品の仕様

困ったときには

その他

メニューの使いかた

メニュー（MENU）で本機の動作をきめ細かく設定できます。

メニューの構成

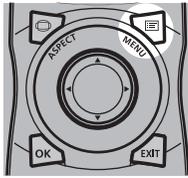
メニュー画面は、次の6つのタブに分かれています。



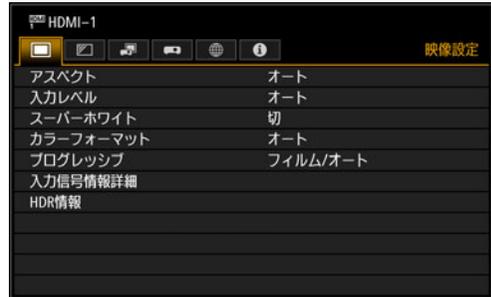
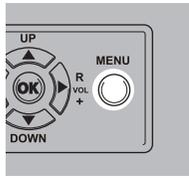
メニューの基本操作

1 【MENU】 ボタンを押すと、メニュー画面が表示されます。

リモコン

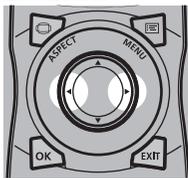


本体

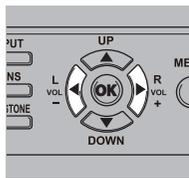


2 【◀】 【▶】 ボタンでタブを選びます。

リモコン



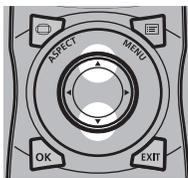
本体



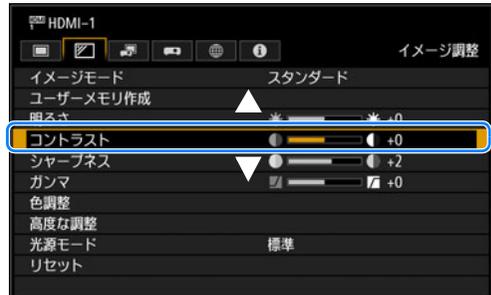
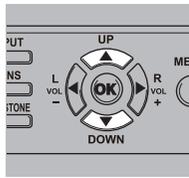
- オレンジの表示がタブ位置にない場合は、【▲】 【▼】 ボタンで一番上に移動させます。

3 【▲】 【▼】 ボタンで項目を選びます。

リモコン



本体

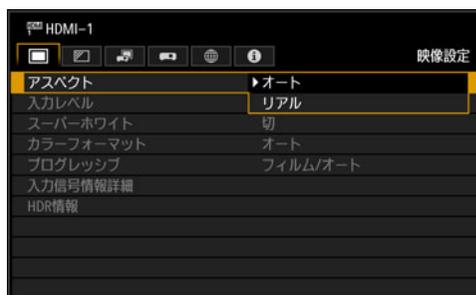


4 内容を選びます。

項目により内容の選び方が異なります。

リストから選ぶ 例：アスペクト (P78)

1. アスペクトを選びます。
2. 【OK】 ボタンまたは【▶】 ボタンを押すと内容のリストが表示されます。
3. 【▲】 【▼】 ボタンで内容を選びます。
4. 決まったら【OK】 または【▶】 ボタンを押します。



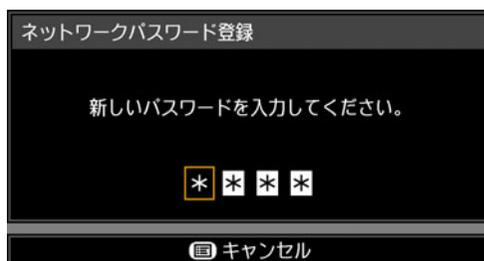
【◀】 【▶】 ボタンで調整する 例：コントラスト (P84)

1. コントラストを選びます。
2. 【◀】 【▶】 ボタンで調整量を変えます。



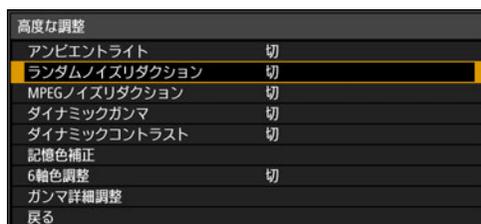
別画面を表示させて選ぶ (1) 例：ネットワークパスワードを登録する (P125)

1. [ネットワークパスワード登録] を選びます。
2. 【OK】 ボタンを押すと別画面が表示されます。
3. 【▲】 【▶】 【▼】 【◀】 ボタンまたはリモコンの数字ボタンを使い、プロジェクターのネットワークパスワードを登録します。



別画面を表示させて選ぶ (2) 例：ランダムノイズリダクション (P86)

1. 高度な調整を選びます。
2. 【OK】 ボタンを押すと別画面が表示されます。
3. ランダムノイズリダクションを選びます。
4. 【▲】 【▼】 ボタンで内容を選びます。
5. 決まったら【OK】 ボタンを押します。



- 5 【MENU】 ボタンを押すとメニュー画面が消えます。
【EXIT】 ボタンを押しても、メニュー画面が消えます。

メニューの構成

映像設定 (P77)

アスペクト	オート* リアル	P78
入力レベル	HDMI オート* 標準 拡張	P78
スーパーホワイト	HDMI 切 入*	P79
カラーフォーマット	HDMI オート* RGB YCbCr	P79
プログレッシブ	HDMI 切 フィルム/オート* ビデオ1 ビデオ2 25p/30p(PsF)	P79
入力信号情報詳細	入力信号	P80
HDR情報	HDMI EOTF Display primaries [0] Display primaries [1] Display primaries [2] White point Max display mastering luminance Min display mastering luminance Max content light level Max frame-average light level	P81

イメージ調整 (P82)

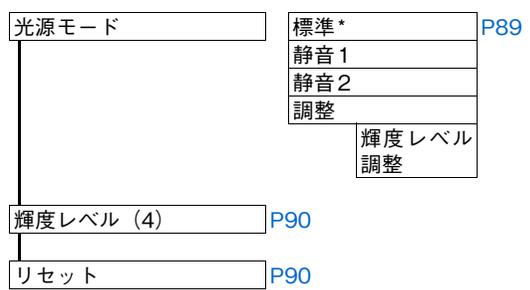
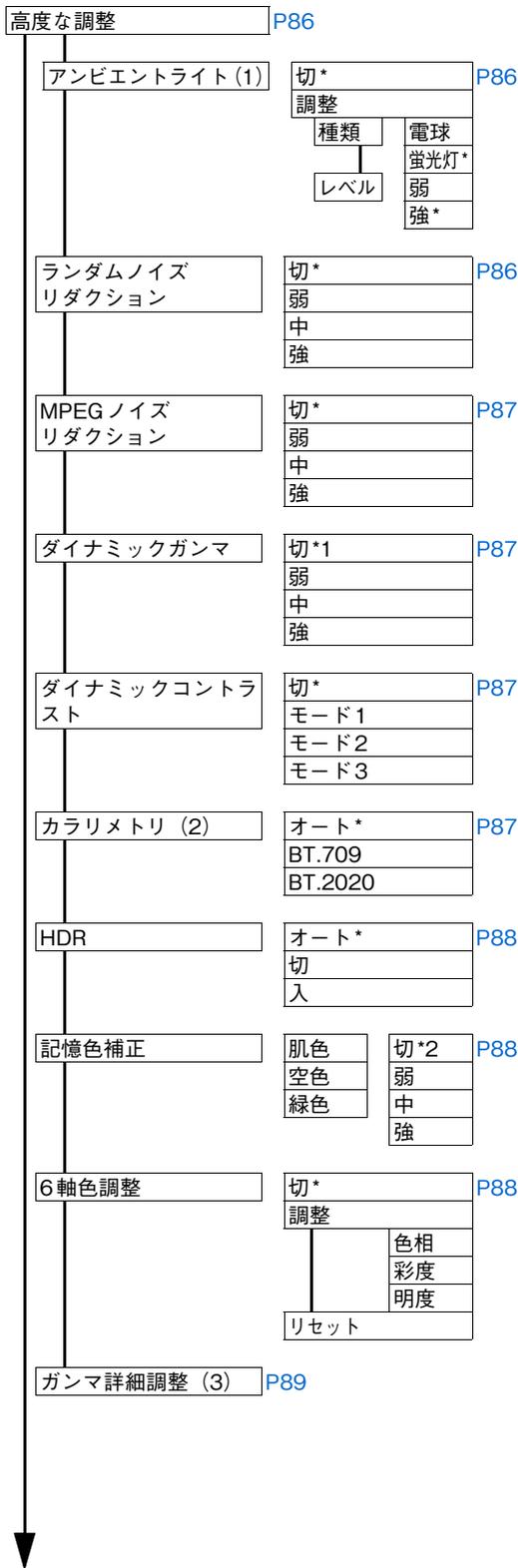
イメージモード	共通 スタンダード* プレゼンテーション フォト/sRGB DICOM SIM ユーザー1~3 HDMI ダイナミック ビデオ	P83
ユーザーメモリ作成 ([イメージモード] がユーザー1~3以外のときに表示)	ユーザー1 ユーザー2 ユーザー3	P83
ユーザーメモリ保存 ([イメージモード] がユーザー1~3選択時に表示)		P83
基準イメージモード ([イメージモード] がユーザー1~3選択時に表示)		P83
明るさ		P84
コントラスト		P84
シャープネス		P84
ガンマ (1)		P84
HDRレンジ (2)		P84
色調整	色の濃さ 色合い 色温度 プリセット1 (3) プリセット2 (3) プリセット3 (3) プリセット4 (クリアベース) (3) プリセット5 (ブルーベース) (3) 赤ゲイン 緑ゲイン 青ゲイン 赤オフセット 緑オフセット 青オフセット	P85

*は工場出荷時、または工場出荷設定後の状態です。

下記は、以下の条件でメニュー項目が表示されます。

- (1) メニューに [HDRレンジ] が表示されないとき
- (2) イメージモードが [ビデオ] でHDRが [入] のとき、または、イメージモードが [ビデオ] でHDRが [オート] かつ入力がHDR信号のとき
- (3) イメージモードが [DICOM SIM] のとき

メニューの構成



*は工場出荷時、または工場出荷設定後の状態です。

下記は、以下の条件でメニューの表示状態が異なります。

*1 HDMI入力でイメージモードが [ダイナミック] の場合は [弱]

*2 HDMI入力でイメージモードが [ダイナミック] / [ビデオ] の場合は [弱]

下記は、以下の条件でメニュー項目が表示されます。

- (1) イメージモードが [フォト/sRGB] のとき
- (2) イメージモードが [ビデオ] のとき
- (3) イメージモードが「DICOM SIM」以外で、かつ、メニューに [HDRレンジ] が表示されないとき
- (4) 運用モードが [標準] 以外のとき

設置設定 (P91)

設置ロック	切* 入	P92
反転表示	なし* 天吊り リア リア・天吊り	P92
キーストーン	縦横キーストーン* 4点補正 リセット	P92
プロフェッショナル設定 P93		
パネルドライブモード	4096 × 2160* 4096 × 2400	P93
マルチインプットモード選択	DVIインプットモード 標準* シングル DVI 1 × 2 DVI 2 × 2 DVI 1 × 4 HDMIインプットモード 標準* シングル HDMI 1 × 2	P93
DVI オプティマイザー	デュアルリンク自動設定 切 入* DVI-1 ~ 4 イコライザー設定	P94
HDMI EDID モード選択	P94	
HDMI-1 EDID モード	広帯域 (4K60Hz) * 高互換性	
HDMI-2 EDID モード	広帯域 (4K60Hz) * 高互換性	

RGB アライメント	マイクロデジタルイメージシフト 切* 調整 レジストレーション 切* 調整 高度なレジストレーション 切* 調整 5点調整 切* 調整 マニュアル調整 リセット	P95
高地設定	切* 入	P96
運用モード	標準* 輝度一定 長寿命1 長寿命2	P96
周辺フォーカス	切* 入 リセット	P97
エッジブレンディング	切* 調整 左 右 上 下 ブレンディング色調整 黒レベル調整 マーカー リセット	P97
レンズ-ポジション	ポジションロード 1~3 ポジションセーブ 1~3 レンズシフトリセット	P100
スクリーン色補正	標準* 黒板調整 赤/緑/青ゲイン 赤/緑/青オフセット	P100
アイリス	オープン* クローズ1~3	P101
テストパターン	切 入	P101

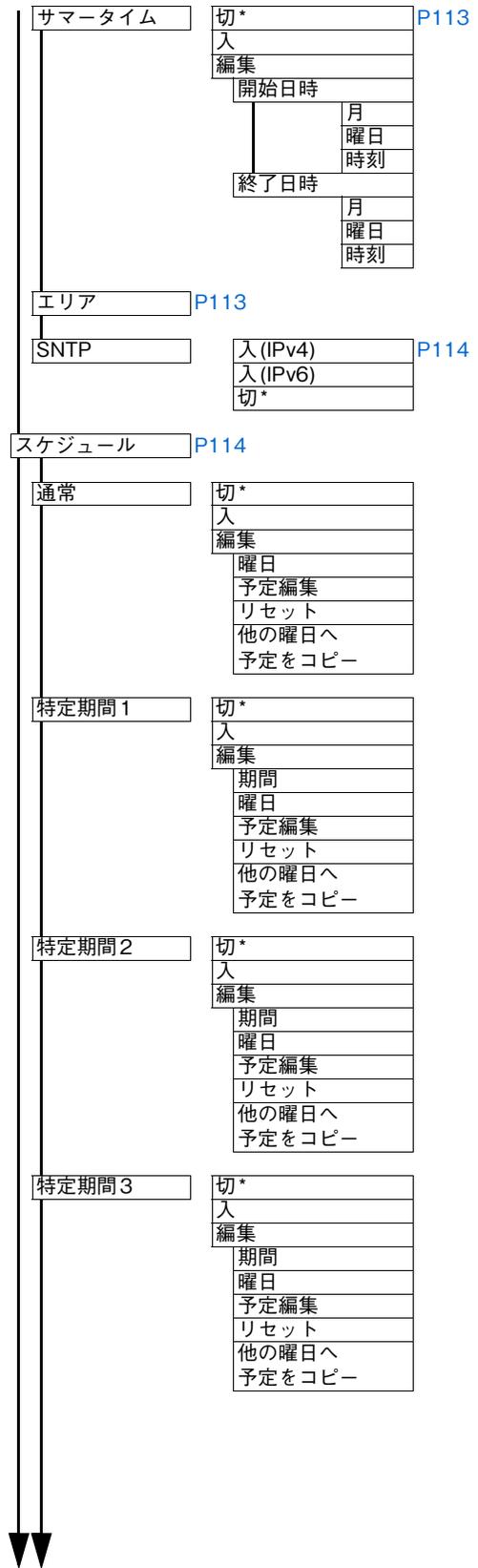
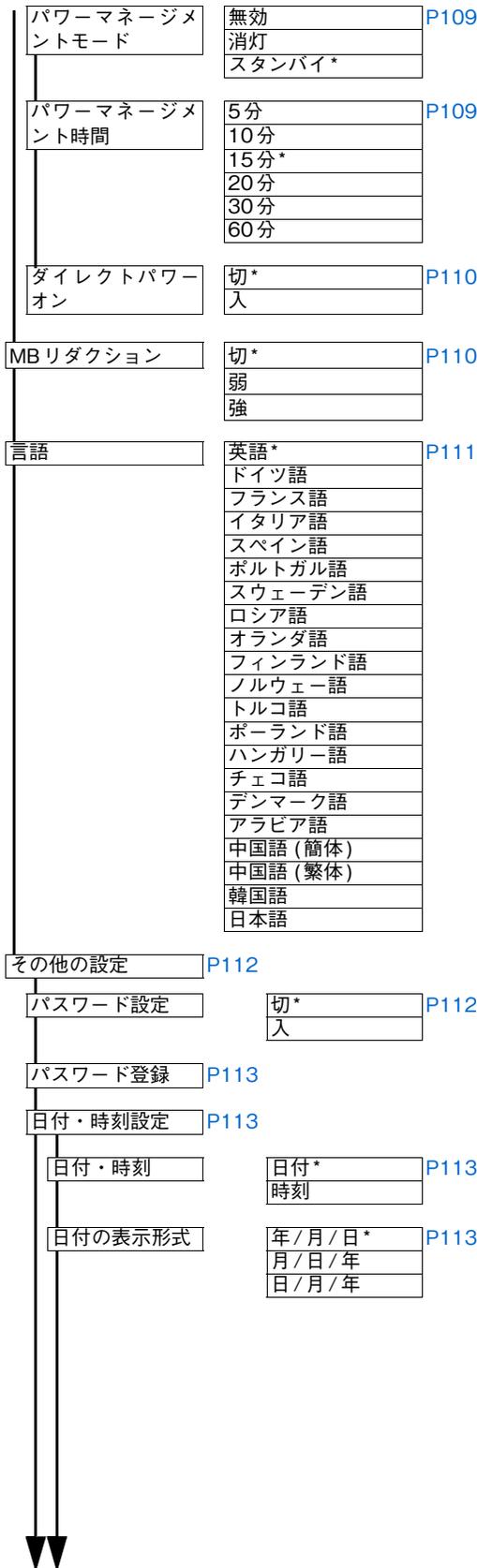
*は工場出荷時、または工場出荷設定後の状態です。

システム設定 (P102)

ユーザー画面設定 P103	
ユーザー画像登録 P103	
ユーザー画像位置	左上 P103 右上 中央* 左下 右下
無信号時画面	黒 P103 青* ユーザー画像
BLANK時画面	黒* P103 青 消灯 ユーザー画像
起動時画面	表示しない P103 Canonロゴ* ユーザー画像
オンスクリーン P104	
メニュー表示位置	左上 P104 右上 中央* 左下 右下
メニュー表示時間	標準* P104 延長
メニュー回転	オート P105 なし* 左90° 右90°
ガイド	切 P105 入*
入力状態表示	切 P105 入*
エアフィルター警告表示	切 P105 入*
高温注意表示	切* P106 入

リモコン/操作部 P106	
電子音	切 P106 入*
キーリピート	切 P106 入*
キーロック	切* P106 本体 リモコン(ワイヤレス)
リモコンチャンネル	Ch1~4 P107 オール*
音声入力端子選択 P108	
DVI-1	切 オーディオイン*
DVI-2	切 オーディオイン*
DVI-3	切 オーディオイン*
DVI-4	切 オーディオイン*
HDMI-1	切 オーディオイン HDMI-1*
HDMI-2	切 オーディオイン HDMI-2*
DVI 1x2	切 オーディオイン*
DVI 2x2 / 1x4	切 オーディオイン*
HDMI 1x2	切 オーディオイン HDMI-1* HDMI-2
シリアル通信	ボーレート P108 データビット長 パリティ ストップビット
電源設定 P108	1* 2
スタンバイ電力設定	通常 P109 省電力*
高速起動	切* P109 入

*は工場出荷時、または工場出荷設定後の状態です。



*は工場出荷時、または工場出荷設定後の状態です。

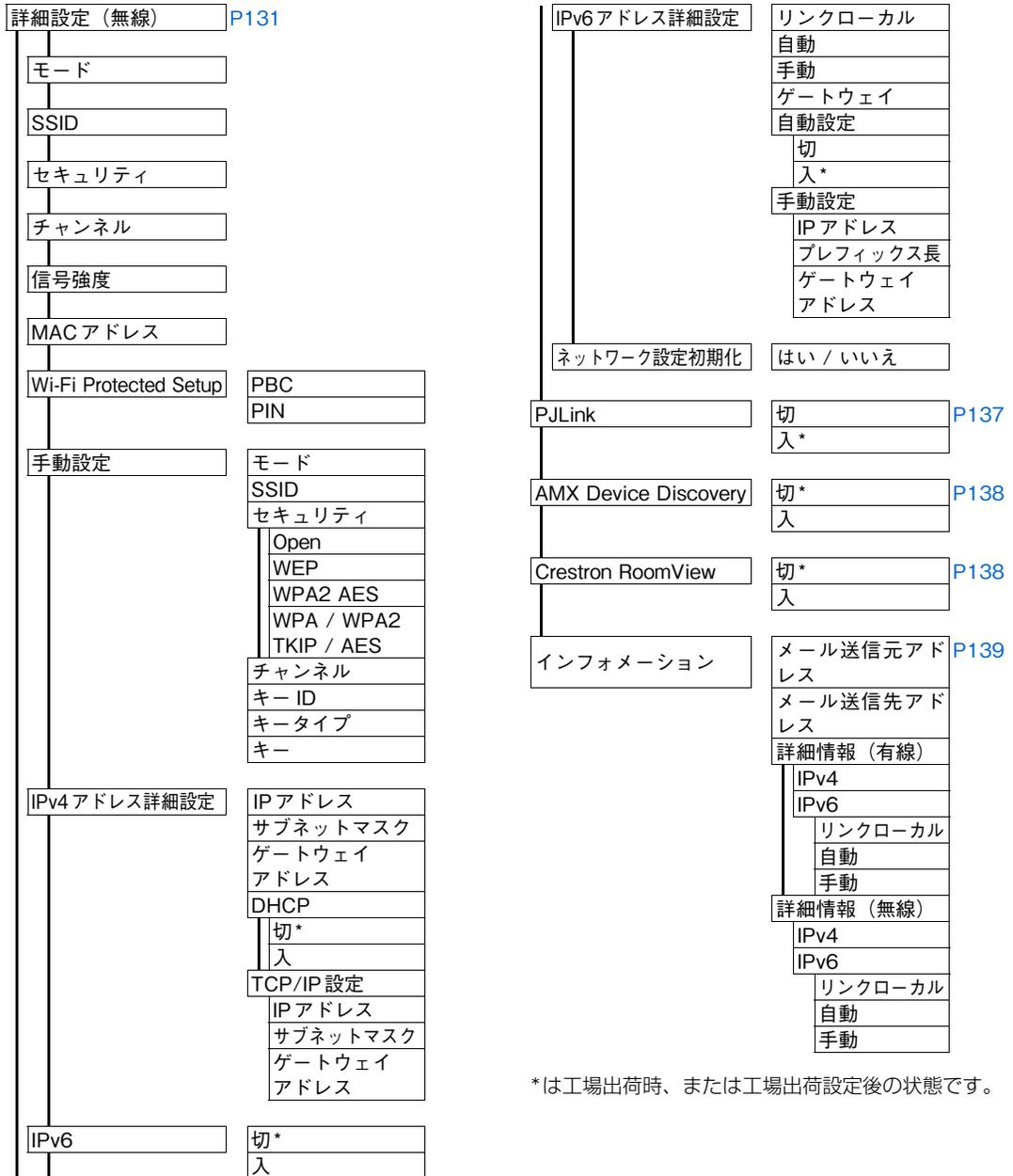
特定期間4	切* 入 編集 期間 曜日 予定編集 リセット 他の曜日へ 予定をコピー
特定期間5	切* 入 編集 期間 曜日 予定編集 リセット 他の曜日へ 予定をコピー
キャリブレーション P117	
ガンマリストア	切* P117 調整
パネル温度補正	切* P118 調整
光源補正	はい / いいえ P118
トリガーアウト	切* P118 電源連動
エアフィルター カウンター	リセット / 戻る P118
通電カウンター	P118
ファームウェア バージョン	はい / いいえ P119
工場出荷設定	はい / いいえ P119

*は工場出荷時、または工場出荷設定後の状態です。

ネットワーク設定 (P120)

ネットワーク設定変更	ロック解除 P125 ロック*
ネットワーク パスワード設定	切 P125 入*
ネットワーク パスワード登録	P125
ネットワーク (有線/無線)	切 / 切* P126 入 / 切 入 / 入 (Pj AP) 切 / 入 (Pj AP) 切 / 入 (Infra) 切* 入
詳細設定 (有線)	P127
MACアドレス	
IPv4アドレス詳細設定	IPアドレス サブネットマスク ゲートウェイ アドレス DHCP 切* 入 TCP/IP設定 IPアドレス サブネットマスク ゲートウェイ アドレス
IPv6	切 入*
IPv6アドレス詳細設定	リンクローカル 自動 手動 ゲートウェイ 自動設定 切* 入 手動設定 IPアドレス プレフィックス長 ゲートウェイ アドレス
ネットワーク設定初期化	はい / いいえ

*は工場出荷時、または工場出荷設定後の状態です。



*は工場出荷時、または工場出荷設定後の状態です。

インフォメーション (P140)

モデル名
入力信号
ファームウェアバージョン
シリアルNo.
プロジェクター使用時間
IPアドレス (有線)
IPアドレス (無線)
プロジェクター名
コメント
システム情報ID

*は工場出荷時、または工場出荷設定後の状態です。



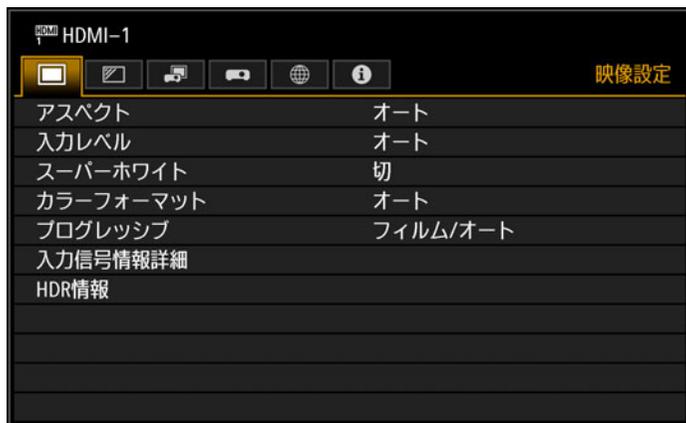
以下の項目は工場出荷設定を行ってもリセットされません。

- 選択されている入力信号
- イメージ調整の下記項目内容
 - ユーザーメモリ保存
 - 基準イメージモード
 - 光源モード
 - 輝度レベル
- 設置設定の下記項目
 - レンズ - ポジション
- システム設定の下記項目
 - レジストレーション
 - 高度なレジストレーション
 - 高地設定
 - 運用モード
 - 周辺フォーカス調整値
 - リモコンチャンネル
- シリアル通信 (ストップビット)
- スタンバイ電力設定
- 高速起動
- 言語
- 日付・時刻設定
- スケジュールの各項目
- ガンマリストア
- パネル温度補正
- トリガーアウト
- 通電カウンター
- エアフィルターカウンター
- ファームウェアバージョン
- ネットワーク設定の各項目
- インフォメーションの各項目

メニューによる設定

映像設定

映像の縦横比などの設定について説明します。



入力信号がHDMI-1のメニュー画面

メニュー	機能	詳細
アスペクト	映像の縦横比に合わせてアスペクトを設定します。	P78
入力レベル	HDMI 信号の入力レベルを選びます。	P78
スーパーホワイト	HDMI 信号のスーパーホワイトモードを選びます。	P79
カラーフォーマット	HDMI 信号のカラーフォーマットを選びます。	P79
プログレッシブ	インターレース信号入力時の I/P 変換の方式を選びます。	P79
入力信号情報詳細	使用している入力端子ごとに、入力信号の詳細な情報を表示します。	P80
HDR 情報	HDMI 信号のダイナミックレンジとマスタリングインフォフレーム (Dynamic Range and Mastering InfoFrame) の情報を表示します。	P81

選択できないメニューはグレーアウト、または非表示になります。

アスペクト

 > [映像設定] > [アスペクト]

映像の入力信号に対し、どのような縦横比で投写するかの設定をします。

選択	機能
オート	入力信号の縦横比のまま投写します。
リアル	入力信号の解像度のまま投写します。

選択できないメニューは非表示になります。



リモコンの【ASPECT】ボタンでも切り換えができます。

入力レベル

 > [映像設定] > [入力レベル]

映像ソフトをHDMI信号で投写するときに入力レベルを調整します。

選択	機能
オート	入力信号に応じて入力レベルを自動的に切り換えます。
標準	入力レベルを 16 ~ 235 の制限付きで入力します。
拡張	入力レベルを 0 ~ 255 でフル入力します。



- HDMI の信号形式が RGB のときのみ選べます。
- [オート] では信号レベルを自動的に選びます。(機器によっては対応していないことがあります。)
- 接続機器の HDMI 出力が [標準]、[拡張] に切り換えられるときは、[拡張] に設定することをお勧めします。映像のコントラストが向上し、暗部がより忠実に表現されます。なおこの場合の本機の [入力レベル] は [オート] または [拡張] を選んでください。詳しくは、接続機器の取扱説明書を参照してください。

スーパーホワイト

 > [映像設定] > [スーパーホワイト]

HDMI 信号の白色表示を、入力レベルが 16 ~ 235 の白信号に対し、100% (235) ~ 109% (255) の明るさの階調表現で行うときに選びます。

選択	機能
切	スーパーホワイトの機能を使用しません。 入力レベル「235」の白信号を白の明るさ 100% とし、入力レベル「235」以上の白信号もすべて明るさ 100% として投写します。
入	入力レベル「16 ~ 235」の入力信号に対し、白 109% (入力レベル「255」) を明るさ 100% に換算して投写します。



- [入力レベル] が [拡張] に設定されているときは、スーパーホワイトは効果がありません。
- [入] にしたときに映像の乱れや不自然さが気になる場合は、[切] に設定してください。
- [入] に設定すると、全体的に暗くなります。

カラーフォーマット

 > [映像設定] > [カラーフォーマット]

HDMI 信号のカラーフォーマットを選びます。

選択	機能
オート	入力信号に応じて最適なカラーフォーマットを選びます。
RGB	強制的に RGB 信号として扱います。
YCbCr	強制的に色差信号として扱います。

プログレッシブ

 > [映像設定] > [プログレッシブ]

HDMI 信号のインターレース信号が入力されたときに、フィルム映像の静止画やビデオ映像の動画に合わせて最適な映像処理を設定できます。

選択	機能
切	プログレッシブ処理を行いません。
フィルム / オート	静止画や一般的な動画に適しています。フィルム映像やビデオ映像に対し最適なプログレッシブ処理を行います。
ビデオ 1	高画質で動きの遅いビデオ映像に適しています。高精細なビデオ映像に最適なプログレッシブ処理を行います。
ビデオ 2	動きの速いビデオ映像に適しています。動きの速いビデオ映像に対し最適なプログレッシブ処理を行います。
25p/30p (PsF)	1080PsF/25 (25 フレーム / 秒) および 1080PsF/30 (30 フレーム / 秒) の映像に対しプログレッシブ処理を行います。



動きの多い映像で、ちらつきや横線が目立つときは [切] にしてください。

入力信号情報詳細

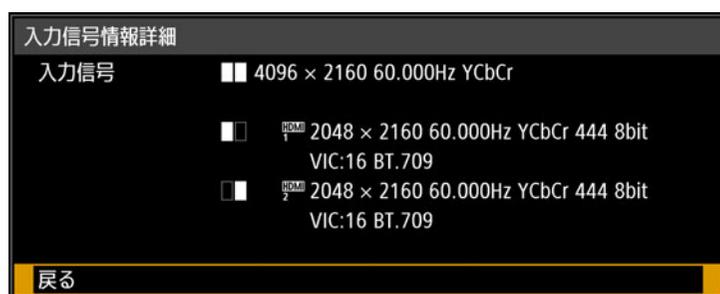
MENU > [映像設定] > [入力信号情報詳細]

選択されている入力信号について、使用している入力端子ごとに、入力信号情報の詳細を表示します。

マルチインプットモードの場合、条件から外れた信号が入力されている入力端子に「」アイコンが表示されるため、正しい入力が入力されていない端子を特定することができます。

• HDMI入力の場合

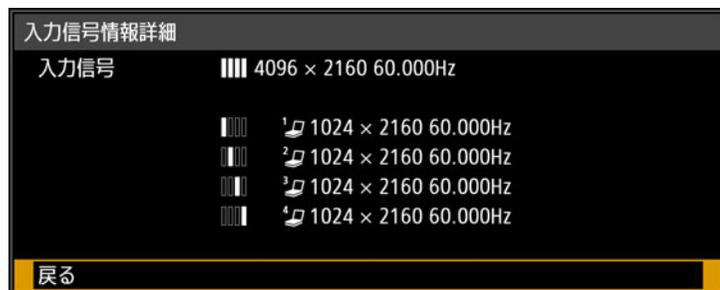
解像度、垂直周波数、カラーフォーマット（YCbCr時はカラーフォーマットとサブサンプリング、RGB時はカラーフォーマットとレンジ）、色深度、VIC、カラリメトリ情報が表示されます。



上の例では、HDMI-1/2の入力信号は解像度 2048 × 2160 ドット、垂直周波数 60.000Hz、カラーフォーマット YCbCr・サンプリング 444、色深度 8ビットです。信号源からの付加情報をそのまま表示しない場合、「*」が付きます。

• DVI入力の場合

解像度、垂直周波数が表示されます。



上の例では、DVI-1 / 2 / 3 / 4の入力信号は解像度 1024 × 2160 ドット、垂直周波数 60.000Hzです。

HDR 情報

 > [映像設定] > [HDR 情報]

入力が HDMI 信号のとき、ダイナミックレンジとマスタリングインフォフレーム (Dynamic Range and Mastering InfoFrame) の情報を表示します。

HDMI 信号が SDR 型か HDR 型かを識別して表示します。

HDMI 信号が HDR 型の信号の場合は、HDMI 信号の中に色と明るさの情報を含む領域を持っており、その情報を表示します。表示される情報は以下の通りです。

HDR情報		
EOTF	Traditional gamma-SDR	
Display primaries[0]	x:0.2650	y:0.6900
Display primaries[1]	x:0.1500	y:0.0600
Display primaries[2]	x:0.6800	y:0.3200
White point	x:0.3127	y:0.3290
Max display mastering luminance	4000 cd/m ²	
Min display mastering luminance	0.0050 cd/m ²	
Max content light level	1500 cd/m ²	
Max frame-average light level	300 cd/m ²	
戻る		

項目	表示	内容	
EOTF	Traditional gamma-SDR	SDR 信号	映像コンテンツがもつガンマ情報をそれぞれ表示
	SMPTE ST 2084	HDR 信号	
Display primaries [0],[1],[2]	x: 0.00002 ~ 1.00000 y: 0.00002 ~ 1.00000	色空間の中で色域を示す三角形の3つの頂点の座標	
White point	x: 0.00002 ~ 1.00000 y: 0.00002 ~ 1.00000	色空間の中に表示される「白」の座標	
Max display mastering luminance	1 ~ 65535 cd/m ²	映像コンテンツ制作時に使用したディスプレイの明るさの最大値	
Min display mastering luminance	0.0001 ~ 6.5535 cd/m ²	映像コンテンツ制作時に使用したディスプレイの明るさの最小値	
Max content light level	1 ~ 65535 cd/m ²	映像コンテンツが含むシーンの明るさの最大値	
Max frame-average light level	1 ~ 65535 cd/m ²	映像コンテンツが含むシーンの明るさの平均値	

イメージ調整

映像の明るさやコントラスト、シャープネスなどの画質の設定について説明します。



入力信号がHDMI-1のメニュー画面

メニュー	機能	詳細
イメージモード*	投写する映像に適した画質を選びます。	P83
ユーザーメモリ作成	任意に設定した画質の設定を保存します。	P83
基準イメージモード	イメージモードがユーザー 1～3 のときだけ現れ、ユーザーメモリで使用した元のイメージモードが表示されます。	P83
明るさ*	映像の明るさを調整します。	P84
コントラスト*	映像のコントラストを調整します。	P84
シャープネス*	映像の鮮明度を調整します。	P84
ガンマ*	映像が暗い、または明るくて見えにくい部分を補正します。	P84
HDR レンジ*	「SMPTE ST 2084」のダイナミックレンジをどのレンジまで表示するかを設定します。	P84
色調整*	映像のより詳細な調整をします。	P85
高度な調整*	ノイズや色味などについて詳細な調整をします。	P86
光源モード*	投写輝度と動作音を調整します。	P89
輝度レベル*	レーザーダイオードの駆動電流を制御し、投写輝度を調整します。	P90
リセット	現在のイメージ調整の設定を購入時（工場出荷時）の状態に戻します。	P90

選択できないメニューはグレーアウト、または非表示になります。

* 投写中の入力信号とイメージモードの設定として記憶されます。

イメージモード

 > [イメージ調整] > [イメージモード]

投写する映像に合わせ、画質を選びます。リモコンの【IMAGE】ボタンを押しても選択できます。

選択	映像の種類	特長
スタンダード	コンピューター画面や映像ソフト（動画）	画面が明るく、白の色味、自然な彩色
プレゼンテーション	文字を中心とした映像	画面が明るい
ダイナミック	映像ソフト（動画）	画面が明るい
ビデオ	ビデオカメラ映像	画面がやや暗く、テレビに近い色表現
フォト / sRGB	sRGB 対応のデジタルカメラ映像	画面がやや暗く、sRGB 規格対応
DICOM SIM	医療用などのモノクロ映像	DICOM Standard Part 14 に準じています。ただし、診断などには使用できません。
ユーザー 1 ~ 3	ユーザー自身が画質の設定の組み合わせを 3 種類までメモリ（ユーザーメモリ）に保存することができます。保存した設定は、イメージモードとしてここで選択できます。	

選択できないメニューはグレーアウト、または非表示になります。



- 各イメージモードの画質は、次の各項目が調整できます。
[明るさ]、[コントラスト]、[シャープネス]、[ガンマ]、[HDR レンジ]、[色調整]、[高度な調整] の各項目、[光源モード]、[輝度レベル]
- プレゼンテーションの場合、シーンによっては映像にちらつきなどが発生する場合があります。その場合は、フォト / sRGB やスタンダードをご使用になることをお勧めします。

ユーザーメモリ作成

 > [イメージ調整] > [ユーザーメモリ作成]

任意に設定した画質の設定を 3 種類まで保存できます。



- 保存される設定値は、[明るさ]、[コントラスト]、[シャープネス]、[ガンマ]、[HDR レンジ]、[色調整]、[高度な調整]、[光源モード]、[輝度レベル] です。
- 表示されるユーザーメモリの数は 3 個ですが、入力が DVI-D 信号の場合と HDMI 信号の場合とで個別に設定値を保存します。そのため、6 種類の設定値を保存できます。
- ユーザーメモリには、設定変更の元になったイメージモード名も同時に保存されます。イメージモードでユーザーメモリが選択された場合は、元になったイメージモードが「標準イメージモード」としてメニューに表示されます。

明るさ

 > [イメージ調整] > [明るさ]

映像の明るさを調整します。

コントラスト

 > [イメージ調整] > [コントラスト]

明るい部分と暗い部分の差を調整し、メリハリのある映像やソフトな映像に調整します。

シャープネス

 > [イメージ調整] > [シャープネス]

映像の鮮明度を調整します。

ガンマ

 > [イメージ調整] > [ガンマ]

映像が暗くて見えにくい、または明るくて見えにくい部分を補正します。



ガンマ詳細調整 (P89) により、より詳細な調整を行うことができます。

HDR レンジ

 > [イメージ調整] > [HDR レンジ]

「SMPTE ST 2084」のダイナミックレンジをどのレンジまで表示するかを設定します。
メニューに [HDR レンジ] が表示される場合は、[ガンマ] が表示されません。



次のときにのみ、[HDR レンジ] を設定することができます。

- イメージモード (P83) が [ビデオ] で、HDR (P88) が [入] のとき
- イメージモード (P83) が [ビデオ] で、HDR (P88) が [オート]、かつ入力信号が HDR 信号のとき

色調整

 > [イメージ調整] > [色調整]

映像の色の濃さ、色合い、色温度などを調整します。



イメージモードの設定がDICOM SIM以外のメニュー画面

サブメニュー	機能
色の濃さ	色の濃さを調整します。
色合い	紫がかかった映像、緑がかかった映像の色合いを調整します。
色温度	白の色味を調整します。
赤 / 緑 / 青ゲイン	赤、緑、青の色味のゲインを調整します。
赤 / 緑 / 青オフセット	赤、緑、青の色味のオフセットを調整します。



イメージモードが [DICOM SIM] のときは、[色温度] が数値による調整ではなく、以下の5種類のプリセットから選択します。

- プリセット 1 : DICOM Standard Part14 に対して、明るさを優先します。
- プリセット 2 : DICOM Standard Part14 に対して、色の色味を優先します。
- プリセット 3 : DICOM Standard Part14 に対応した色を表現します。
- プリセット 4 : X線フィルム (クリアベース) の色を表現します。
- プリセット 5 : X線フィルム (ブルーベース) の色を表現します。

高度な調整

 > [イメージ調整] > [高度な調整]

ノイズや色味などについて詳細な設定を行います。

高度な調整	
アンビエントライト	切
ランダムノイズリダクション	切
MPEGノイズリダクション	切
ダイナミックガンマ	切
ダイナミックコントラスト	切
記憶色補正	
6軸色調整	切
ガンマ詳細調整	
戻る	

アンビエントライト

スクリーン上に届く環境光による影響を低減させ投写します。

サブメニュー	機能	
切	調整は行いません。	
調整	種類	電球 環境光が電球、または電球色蛍光灯の場合。
		蛍光灯 環境光が昼白色蛍光灯の場合。
	レベル	弱 環境光が通常の場合。
		強 環境光が明るい場合。

アンビエントライトのレベルの設定例

レベル	場所の目安
弱	映写室、スポーツバーなど
強	会議室、教室など



- ・ イメージモードが [フォト / sRGB] のときに選ぶことができます。
- ・ 基準イメージモードが [フォト / sRGB] のときに選ぶことができます。

ランダムノイズリダクション

映像の周波数や振幅が不規則なノイズを低減します。

選択	機能
切	ランダムノイズリダクションを行いません。
弱	ランダムノイズリダクションの強度を3段階で指定します。
中	
強	



動きの速い映像の場合は [弱] を、動きの遅い映像の場合は [強] を選んでください。

MPEG ノイズリダクション

映像の MPEG ノイズを低減します。

選択	機能
切	MPEG ノイズリダクションを行いません。
弱	MPEG ノイズリダクションの強度を 3 段階で指定します。
中	
強	

ダイナミックガンマ

明るいところと暗いところの階調表現が自動的に改善されます。

選択	機能
切	ダイナミックガンマを行いません。
弱	ダイナミックガンマの強度を 3 段階で指定します。
中	
強	

ダイナミックコントラスト

映像が暗いときに、暗部をより暗く表現します。

選択	機能
切	ダイナミックコントラストを行いません。
モード 1	動画や静止画のスライドショーの投写に適したモードです。若干コントラストを強調し、環境光（投写環境の周辺光）が明るい場合に適しています。入力信号の変化に対して、自動で調整します。
モード 2	風景画などシーンの切り換えが遅い動画や静止画のスライドショーの投写に適したモードです。コントラストを強調し、環境光（投写環境の周辺光）が暗い場合に適しています。入力信号の変化に対して、自動で調整します。
モード 3	シーンの切り換えが多い動画の投写に適したモードです。コントラストを強調し、環境光（投写環境の周辺光）が暗い場合に適しています。入力信号の変化に対して、自動でより早く調整します。

カラリメトリ

色空間を選びます。

選択	機能
オート	入力信号に応じて、BT.709 と BT.2020 から最適な色空間を選びます。
BT.709	強制的に BT.709 の色空間を適用します。
BT.2020	強制的に BT.2020 の色空間を適用します。



イメージモード (P83) が [ビデオ] のときにのみ、[カラリメトリ] を設定することができます。

HDR (High Dynamic Range)

HDR レンジ調整機能によって映像の輝度レンジを拡大し、白トビや黒つぶれを抑えた映像を表示できます。

選択	機能
オート	入力信号が HDR 信号の場合は自動的に HDR を使用します。
切	強制的に HDR を使用していない状態にします。
入	強制的に HDR を使用した状態にします。

 イメージモード (P83) が [ビデオ] のときにのみ、[HDR] を設定することができます。

記憶色補正 (肌色、空色、緑色)

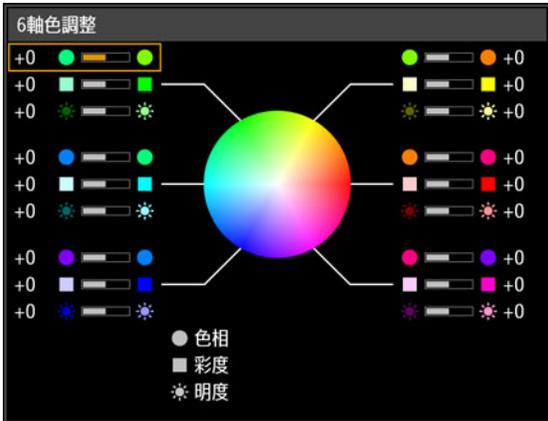
肌色、空色、緑色を、人の記憶のイメージに合わせて美しく表現します。

選択	機能
切	補正は行いません。
弱	補正の強度を指定します。
中	
強	

 [ランダムノイズリダクション]、[MPEG ノイズリダクション] を行うと、解像感の低下が生じることがあります。

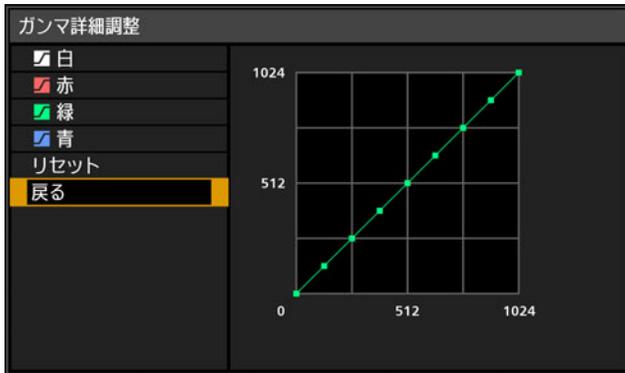
6 軸色調整

映像の色味を RGB (赤、緑、青) および CMY (シアン、マゼンタ、イエロー) できめ細かく調整します。

サブメニュー	機能
切	6 軸色調整を行いません。
調整	 <p>● 色相 ■ 彩度 ✱ 明度</p> <p>【▲】【▼】 ボタンで [○色相 (色合い)]、[□彩度 (色の濃さ)]、[✱明度 (色の明るさ)] を選び、【◀】【▶】 ボタンで調整します。</p>
リセット	調整を 0 に戻します。

ガンマ詳細調整

白、赤、緑、青の4つのガンマ曲線を調整します。赤、緑、青は個別に調整できます。白を調整すると、他の3色に調整量が反映されます。どちらで調整を行っても、最後の調整値が上書きされます。



【▲】【▼】ボタンで色を選び、【OK】を押します。次に【◀】【▶】ボタンで調整点を選択し、【▲】【▼】ボタンで調整します。

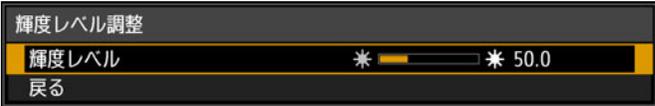


- イメージモードが「DICOM SIM」以外で、かつ、メニューに「HDR レンジ」が表示されないときに、「ガンマ詳細調整」を選ぶことができます。
- ガンマ補正については、[84 ページ](#)を参照してください。
- 入力信号、またはテストパターンを使って調整してください。

光源モード

 > [イメージ調整] > [光源モード]

投写光の光量を落とすことで消費電力を抑え、冷却ファンの音を静かにします。

選択	機能
標準	最大の明るさで投写します。
静音 1	明るさを制限したいときや静音が求められるときに選びます。
静音 2	さらに明るさを制限し、静音にします。
調整	<p>明るさに応じて、冷却 FAN の回転数を調整します。表示される輝度調整画面で、【◀】【▶】ボタンで明るさを調整します。</p>  <p> 光源モードが [調整] のとき、輝度レベルメニューを表示します。</p>



[光源モード] は運用モードが [標準] のときに表示されます。運用モード (P96) を [標準] 以外に設定した場合、[光源モード] メニューの代わりに [輝度レベル] メニューが表示されます。

輝度レベル

 > [イメージ調整] > [輝度レベル]

レーザーダイオードを制御し、投写輝度の調整を行います。

【◀】【▶】 ボタンで明るさを調整します。



[輝度レベル] は運用モード (P96) を [標準] 以外に設定した場合、[光源モード] メニューの代わりに [輝度レベル] メニューが表示されます。

リセット

 > [イメージ調整] > [リセット]

現在使用しているイメージ調整の設定を、購入時（工場出荷時）の状態に戻します。

選択	機能
はい	イメージ調整の設定をリセットします。
いいえ	リセットを中止します。

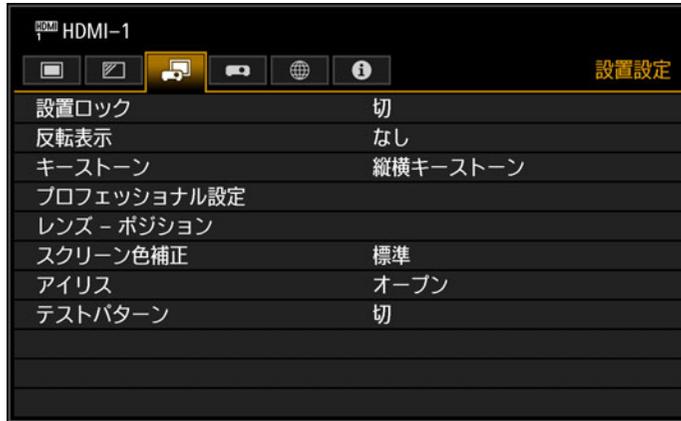


- [イメージモード] でユーザー 1 ~ 3 を選択しているときにリセットすると、ユーザー 1 ~ 3 に保存されているときの状態に戻ります。
- 投写中の入力信号とイメージモードの組み合わせの設定内容のみリセットされます。
- 以下の項目がリセット（初期化）されます。

• 明るさ	• コントラスト	• シャープネス	• ガンマ
• HDR レンジ	• 色の濃さ	• 色合い	• 色温度
• R/G/B ゲイン		• R/G/B オフセット	
• アンビエントライトの種類、レベル		• ランダムノイズリダクション	
• MPEG ノイズリダクション		• ダイナミックガンマ	
• ダイナミックコントラスト		• カラリメトリ	• HDR
• 記憶色補正	• 6 軸色調整の各色相 / 彩度 / 明度		
• ガンマ詳細調整の白 / 赤 / 緑 / 青	• 光源モード		• 輝度レベル

設置設定

スクリーンや投写する映像の補正、プロジェクターの設置方向など設置に関する設定をします。



入力信号がHDMI-1のメニュー画面

メニュー	機能	詳細
設置ロック	設置に関連する機能の操作を禁止することができます。	P92
反転表示	天吊り投写やリア投写、リア・天吊り投写の設定をします。	P92
キーストーン	キーストーン調整の方法を設定します。	P92
プロフェッショナル設定	プロジェクターを設置するときの詳細な設定をします。	P93
レンズ - ポジション	レンズの位置情報（フォーカス、ズーム、レンズシフト）などを記憶し、復元します。	P100
スクリーン色補正	スクリーンの色に合わせて映像の色味を調整します。	P100
アイリス	機械的な絞りを3段階に可変できます。光量を絞るほど暗くなりますが、コントラストが良くなります。	P101
テストパターン	本機設置時に解像度や色の確認をするため、テストパターンを投写します。	P101

選択できないメニューはグレーアウトになります。

設置ロック

 > [設置設定] > [設置ロック]

設置に関連する機能の操作を禁止することができます。

- 反転表示 • キーストーン • プロフェッショナル設定 • レンズ - ポジションのポジションセーブ、レンズシフトリセット

選択	機能
切	設置関連機能の設定変更ができます。
入	設置関連機能の設定変更ができなくなります。

反転表示

 > [設置設定] > [反転表示]

プロジェクターの設置向きを設定します。

選択	機能
なし	反転表示を行わずに通常の投写をするときに選びます。
天吊り	本体の底面を上にして設置するときに選びます。上下が反転します。
リア	スクリーンの裏から投写するときに選びます。左右が反転します。
リア・天吊り	天井から吊り下げ、逆さに設置し、リア投写するときに選びます。上下左右が反転します。本体の底面を上にして設置するときに選びます。



- 天井から吊り下げるときは、オプションの天吊り金具（RS-CL15）と天吊りアーム（RS-CL17）が必要です。詳しくは、販売店にお問い合わせください。
- 反転表示を行うと台形ひずみ（キーストーン）の補正はリセットされるため、改めて補正してください。
- 反転表示の設定を変更しても、本体操作部のキー割り当ては変更されません。

キーストーン

 > [設置設定] > [キーストーン]

台形ひずみの調整に [縦横キーストーン] と [4点補正] のどちらを使用するかを設定します。キーストーン調整のリセットも行えます。リモコンの【KEYSTONE】ボタンを押した場合も実行できます。

選択	機能
縦横キーストーン	縦横キーストーン調整を実行します。上下、左右方向の長さを調整します。
4点補正	4点補正を実行します。それぞれの角ごとに位置を調整します。
リセット	調整したキーストーンの値をリセットします。

プロフェッショナル設定

 > [設置設定] > [プロフェッショナル設定]

プロジェクターを設置するときの詳細な設定をします。

プロフェッショナル設定	
パネルドライブモード	4096×2160
マルチインプットモード選択	
DVIオプティマイザー	
HDMI EDIDモード選択	
RGBアライメント	
高地設定	切
運用モード	標準
周辺フォーカス	切
エッジブレンディング	切
戻る	

パネルドライブモード

液晶パネルの縦方向に何ラインを使用するかを選択します。

選択	機能
4096 × 2160	横 4096 ドット×縦 2160 ラインのサイズを使用します。
4096 × 2400	横 4096 ドット×縦 2400 ラインのサイズを使用します。



- 4096 × 2400 を選択するときは、4096 × 2400 の解像度の信号を入力するときのみ選択してください。
- パネルドライブモードを変更すると、以下の設定値がリセットされます。
 - 縦横キーストーン
 - 4点補正
- エッジブレンディングは、パネルドライブモード別に調整値を保持します。

マルチインプットモード選択

4本のDVI入力、または2本のHDMI入力をどのように組み合わせ、映像を構成するかを選択します。

サブメニュー	選択	機能
DVI インプットモード	標準	[シングル]、[DVI 1x2]、[DVI 2x2]、[DVI 1x4]のいずれのDVI入力にも対応します。
	シングル	単端子接続（シングル接続）のDVI入力に対応します。
	DVI 1x2	2本のケーブルを使ったDVI入力に対応します。
	DVI 2x2	4本のケーブルを使い、縦横2行2列で投写するDVI入力に対応します。
	DVI 1x4	4本のケーブルを使い、縦に4列で投写するDVI入力に対応します。

サブメニュー	選択	機能
HDMI インプットモード	標準	[シングル]、[HDMI 1x2] のいずれの HDMI 入力にも対応します。
	シングル	単端子接続（シングル接続）の HDMI 入力に対応します。
	HDMI 1x2	2 本のケーブルを使った HDMI 入力に対応します。

DVI オプティマイザー

DVI 信号の映像を最適化します。

サブメニュー	選択	機能
デュアルリンク自動設定	切	DVI 端子のシングルリンク / デュアルリンクモードを自動判別せず、シングルリンクモードで投写します。
	入	DVI 端子のシングルリンク / デュアルリンクモードを自動判別し、切り換えます。

選択	機能
DVI-1 イコライザー設定	DVI 端子のイコライザー値を調整します。 数値が小さいほど増幅率が大きく、数値が大きいほど増幅率が小さくなります。 設定例 ・ ロングケーブルを使用している場合、数値を小さくする方向で設定して減衰した信号を増幅します。 ・ アクティブケーブル・信号補正器・リピーター等を使用している場合、もしくはショートケーブルでノイズが乗る場合は信号が強すぎる可能性があります。その場合、数値を大きくする方向で設定し、信号を減衰させて適正化します。
DVI-2 イコライザー設定	
DVI-3 イコライザー設定	
DVI-4 イコライザー設定	



- デュアルリンクケーブルを使用していると、信号ラインにノイズが乗って映像が正常に表示されない場合があります。このときは、[デュアルリンク自動設定] を [切] に設定してください。
- DVI 端子を使用する場合に、ケーブルと本体のマッチングが悪く、映像にノイズが生じるか、もしくは信号検知ができなくなることがあります。この場合は、[DVI-1 イコライザー設定] ~ [DVI-4 イコライザー設定] でイコライザー値を調整してください。

HDMI EDID モード選択

HDMI 端子（1/2）の EDID を接続機器の互換性に合わせて選択します。

サブメニュー	機能	
HDMI-1 EDID モード	選択	機能
	広帯域 (4K60Hz)	3840x2160(4K) 60Hz YCbCr444 等の広帯域信号を正しく出力できる接続機器を使うときに選択します。
HDMI-2 EDID モード	高互換性	広帯域 (4K60Hz) を選択したときに、接続機器が EDID を正しく読み取れずに映像や音声为正しく出力されない場合に選択します。



[マルチインプットモード選択] の [HDMI インプットモード] が [HDMI 1 × 2] の場合は、本機能を使用しても対応する映像信号のフォーマットリストは変更されません。

RGB アライメント

色ずれ調整を行います。

サブメニュー	機能											
マイクロデジタルイメージシフト	<p>複数台のプロジェクターを並べて投写するときなど画面の微小な位置合わせをする場合に、画面全体を 1 画素単位で位置調整できます。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>サブメニュー</th> <th>機能</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>切</td> <td>マイクロデジタルイメージシフトを行いません。</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">調整</td> <td>調整</td> <td>上下方向、左右方向の画面位置を調整します。</td> </tr> <tr> <td>チャート</td> <td>チャート（ポイント選択画面）が表示されます。</td> </tr> </tbody> </table>	サブメニュー	機能	切	マイクロデジタルイメージシフトを行いません。	調整	調整	上下方向、左右方向の画面位置を調整します。	チャート	チャート（ポイント選択画面）が表示されます。		
サブメニュー	機能											
切	マイクロデジタルイメージシフトを行いません。											
調整	調整	上下方向、左右方向の画面位置を調整します。										
	チャート	チャート（ポイント選択画面）が表示されます。										
レジストレーション	<p>画面全体の色ずれが気になる場合に、赤、緑、青の色ずれを個別に、1 画素単位で位置調整できます。</p> <p>画面内の各領域によって色ずれが気になる場合に、赤、緑、青の色ずれを個別に、各領域ごとに微調整できます。 詳細な調整方法については「高度なレジストレーションにより投写画面を調整する」(P175) を参照してください。 [切] 各領域ごとの色ずれ調整を行いません。 [調整] 各領域ごとの色ずれ調整を行うメニューを表示します。</p> <div data-bbox="400 1078 1089 1248" style="border: 1px solid black; padding: 5px; background-color: #333; color: white;"> <p>高度なレジストレーション</p> <p>5点調整 切</p> <p>マニュアル調整</p> <p>リセット</p> <p style="background-color: yellow;">戻る</p> </div> <table border="1"> <thead> <tr> <th>サブメニュー</th> <th>機能</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">5 点調整</td> <td>切</td> <td>調整を無効にします。</td> </tr> <tr> <td>調整</td> <td>画面内の 5 点（四隅と中央）について調整する 5 点調整モードになります。</td> </tr> <tr> <td>マニュアル調整</td> <td>画面内の 54 点（縦 6 × 横 9）で細かく調整します。</td> </tr> <tr> <td>リセット</td> <td>調整結果をリセットします。</td> </tr> </tbody> </table> <p> 高度なレジストレーションを行うと、市松模様や網掛け映像の箇所に色ムラ、模様が生じることがあります。</p>	サブメニュー	機能	5 点調整	切	調整を無効にします。	調整	画面内の 5 点（四隅と中央）について調整する 5 点調整モードになります。	マニュアル調整	画面内の 54 点（縦 6 × 横 9）で細かく調整します。	リセット	調整結果をリセットします。
サブメニュー	機能											
5 点調整	切	調整を無効にします。										
	調整	画面内の 5 点（四隅と中央）について調整する 5 点調整モードになります。										
マニュアル調整	画面内の 54 点（縦 6 × 横 9）で細かく調整します。											
リセット	調整結果をリセットします。											
高度なレジストレーション												



- パネルドライブモードを変更しても、[レジストレーション] [高度なレジストレーション] の設定値は維持されます。
- 5点調整は、画面上の中心と四隅の調整点を動かすことで、簡単に画面全体の色ずれを補正することができます。画面の部分的なレジストレーション調整を行いたい場合は、マニュアル調整を試してください。
- 5点調整してからマニュアル調整を行うと、5点調整値をそのまま引き継ぎます。5点調整後にさらに精度を高めたい場合に、マニュアル調整を行ってください。
- マニュアル調整から5点調整に切り換えた場合は、マニュアル調整値はリセットされます。

高地設定

冷却用のファンの動作を、低地の場合と、海拔 2,300m 以上の高地の場合とで切り換えます。

選択	機能
切	海拔 2,300m 未満で使用する場合の設定です。
入	海拔 2,300m 以上で使用する場合の設定です。



設定値が不適切な場合、他の部品の寿命が縮まる可能性があります。

運用モード

光源と冷却ファンの制御方法を切り換えます。

選択	機能
標準	標準の駆動モードです。使用時間に伴い、輝度が低下します。
輝度一定	レーザーダイオードの劣化状態をセンサーで検知し、劣化した分のレーザーダイオード駆動電流を増加させることで、設定時の輝度をほぼ一定に維持します。
長寿命 1	光源モードの輝度レベルを低減し、ファン駆動を制御することで、光学部材の寿命を延長します。
長寿命 2	光源モードの輝度レベルをさらに低減し、さらにファン駆動を制御することで、光学部材の寿命をより延長します。



24 時間以上連続で使用する場合、または電源コードを抜いてパワー OFF している場合は、以下のいずれかでキャリブレーションの光源補正を実行してください。実行しない場合は輝度一定を維持することができません。

- 定期的に [キャリブレーション] (P117) の [光源補正] を [はい] に設定する。
- [スケジュール] (P114) のキャリブレーション [CALIBRATION] を設定する。

周辺フォーカス

ドーム型スクリーン等に投影するときに、周辺のフォーカスを調整したり、リモコン操作による周辺フォーカス調整の ON / OFF を選びます。詳細な調整方法については「周辺フォーカスを調整する」(P179)をご覧ください。

選択	機能
切	周辺フォーカス調整を OFF にします。
入	周辺フォーカス調整を ON にします。本体の【LENS】ボタンを2回、またはリモコンの【FOCUS】ボタンを2回押し調整用の画面が表示されます。
リセット	周辺フォーカス調整を標準位置へ戻します。



【切】にすると、周辺フォーカス調整値を維持したまま、調整画面が表示されなくなります。周辺フォーカス調整の操作を禁止したい場合に使用してください。

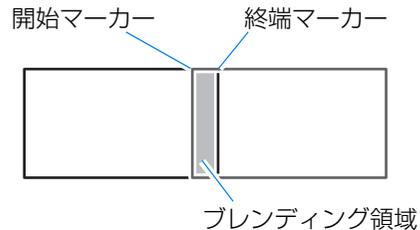
エッジブレンディング

複数台のプロジェクターを並べて投写するとき、映像の重なった部分（ブレンディング領域）の明るさと色を調整して重なった部分を目立たなくします。詳細な調整方法については「エッジブレンディング機能を使って投写する」(P171)を参照してください。

【切】 ブレンディング領域の調整を行いません。

【調整】 ブレンディング領域の調整を行うメニューを表示します。

エッジブレンディング		
サイド	幅	開始位置
左	0	0
右	0	0
上	0	0
下	0	0
ブレンディング色調整	切	
黒レベル調整	切	
マーカー	切	
リセット		
戻る		



右側の投写画面を調整する場合



- 調整を行ってもブレンディング領域に色つきや輝度差が残る場合があります。
- 各プロジェクターのイメージモードを（最適なイメージモードは【フォト/sRGB】）を揃えたり、以下の調整を行うことでエッジブレンディングの効果を高めることができます。
 - ① 明るさ、コントラスト、赤 / 緑 / 青ゲイン、赤 / 緑 / 青オフセット、黒レベル、ブレンディング色、色温度、色の濃さ、色合い、シャープネス、ガンマ、HDR レンジ、光源モード、輝度レベル
 - ② 6 軸色調整を用いた色調整
 - ③ ガンマ詳細調整を用いたガンマ調整
 - ④ キーストーンを用いた 4 点補正

サブメニュー	機能	
サイド	サブメニュー	機能
	左	調整を行うブレンディング領域の方向を選択します。
	右	
	上	
	下	
幅	開始マーカーから終端マーカーまでの幅を指定します。	
開始位置	開始マーカーの位置を移動させます。 <ul style="list-style-type: none">  ブレンディング領域を大きく設定すると入力信号ダイアログなどが隠れてしまう場合があります。そのときは一時的にエッジブレンディングを [切] にして表示を確認してください。 開始マーカーは通常映像の端部に合わせますが、内側に動かすこともできます。そのとき開始マーカーの外側は黒映像と同じになります。 	
ブレンディング色調整	ブレンディング領域の色つき、色ずれを調整します。	
	サブメニュー	機能
	切	ブレンディング色調整は行いません。
	調整	ブレンディング領域の色つき、色ずれを調整します。
	選択	機能
	白	ブレンディング領域の赤 / 緑 / 青の色つき、色ずれを同時に調整します。
	赤 / 緑 / 青	ブレンディング領域の赤 / 緑 / 青それぞれの色つき、色ずれを個別に調整します。

サブメニュー	機能						
黒レベル調整	<p>ブレンディング領域では黒色が他の部分よりも明るく投写されるため、重ならない部分の黒レベルを調整して輝度差を目立たなくします。</p> <p style="text-align: center;"> 左側の映像 ↑ 終端マーカ (非表示) の位置 </p>  <p style="text-align: center;"> A 領域：黒レベルの調整はできません。 B 領域：D 領域とは別に黒レベルを調整します。 C 領域：B 領域と D 領域の黒レベルを滑らかに近づけます。 </p> <p style="text-align: center;"> D 領域 / ブレンディング領域 C ~ A 領域 (初期値は 0 です。) </p>						
	<p>切 黒レベル調整は行いません。</p>						
	<p>領域 ブレンディング領域と接するつなぎ目をよりなめらかにするため C ~ A 領域の調整をします。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">サブメニュー</th> <th>機能</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>サイド</td> <td>調整を行う方向を左 / 右 / 上 / 下から選択します。</td> </tr> <tr> <td>A 幅 / B 幅 / C 幅</td> <td>A/B/C それぞれの領域の幅を調整します。</td> </tr> </tbody> </table>	サブメニュー	機能	サイド	調整を行う方向を左 / 右 / 上 / 下から選択します。	A 幅 / B 幅 / C 幅	A/B/C それぞれの領域の幅を調整します。
	サブメニュー	機能					
	サイド	調整を行う方向を左 / 右 / 上 / 下から選択します。					
A 幅 / B 幅 / C 幅	A/B/C それぞれの領域の幅を調整します。						
<p>黒レベル B 領域と D 領域の黒レベルの明るさと色味を調整します。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">サブメニュー</th> <th>機能</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>B/D 領域基準</td> <td>B/D 領域の黒レベルの明るさを調整します。</td> </tr> <tr> <td>B/D 領域赤 / 緑 / 青</td> <td>B/D 領域の黒レベルの赤 / 緑 / 青それぞれの色味を個別に調整します。</td> </tr> </tbody> </table> <p>  【黒レベル調整】を【切】にして一時的にダイアログの表示を消しても、再度【調整】に戻した場合、各調整値は復元されます。 </p>	サブメニュー	機能	B/D 領域基準	B/D 領域の黒レベルの明るさを調整します。	B/D 領域赤 / 緑 / 青	B/D 領域の黒レベルの赤 / 緑 / 青それぞれの色味を個別に調整します。	
サブメニュー	機能						
B/D 領域基準	B/D 領域の黒レベルの明るさを調整します。						
B/D 領域赤 / 緑 / 青	B/D 領域の黒レベルの赤 / 緑 / 青それぞれの色味を個別に調整します。						
調整範囲を示すマーカを表示します。							
マーカ	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">選択</th> <th>機能</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>切</td> <td>調整範囲を示すマーカは表示しません。</td> </tr> <tr> <td>入</td> <td>調整範囲を示すマーカを表示します。 赤は開始マーカ、緑は終端マーカです。</td> </tr> </tbody> </table>	選択	機能	切	調整範囲を示すマーカは表示しません。	入	調整範囲を示すマーカを表示します。 赤は開始マーカ、緑は終端マーカです。
	選択	機能					
切	調整範囲を示すマーカは表示しません。						
入	調整範囲を示すマーカを表示します。 赤は開始マーカ、緑は終端マーカです。						
リセット	調整結果をリセットします。						

レンズ - ポジション

 > [設置設定] > [レンズ - ポジション]

レンズ - ポジションのメモリー機能により、レンズの位置情報（フォーカス、ズーム、レンズシフト）などを3種類まで記憶しておくことができ、復元もできます。

サブメニュー	機能
ポジションロード 1 ~ 3	ポジションセーブ 1 ~ 3 で記憶したレンズ - ポジションに復元します。
ポジションセーブ 1 ~ 3	レンズ - ポジションをポジションセーブ 1 ~ 3 に記憶します。
レンズシフトリセット	レンズシフト位置を基準位置に戻します。



- レンズ - ポジションのメモリー機能を使用しても、投写画面が設定（ポジションセーブ）した位置から、わずかにずれることがあります。
- 投写画面サイズをスクリーン画面（投影領域）サイズより少し小さく設定することで、投写画面全体を欠けることなく、複数ポジションの投写画面を切り換えることができます。
- 正確な位置出しが必要な場合は、レンズシフト、ズーム、フォーカス機能を使用して微調整して下さい。
- [ポジションセーブ]、[レンズシフトリセット] は [設置ロック] (P92) が [入] に設定されていると選択できません。
- [ポジションロード] は [ポジションセーブ] で記憶したデータがないとグレースアウトし、選択できません。
- 記憶される設定値は、フォーカス、ズーム、レンズシフト、キーストーン、4点補正、スクリーン色補正です。

スクリーン色補正

 > [設置設定] > [スクリーン色補正]

投写するスクリーンの色に応じて、投写する映像の色味を調整できます。

サブメニュー	機能
標準	標準的なスクリーンのときに選びます。自然光に近い色調で投写します。
黒板	黒板（濃緑色）をスクリーンにするときに選びます。黒板上でも [標準] に近い色味になります。
調整	赤 / 緑 / 青の色のゲイン、オフセットをそれぞれ細かく調整するときに選びます。

アイリス

 > [設置設定] > [アイリス]

明るさよりもコントラストを重視した投写を行うときに本機能を使用します。

サブメニュー	機能
オープン	機械的な絞りを使用しません。
クローズ 1 ~ 3	機械的な絞りの度合いを 3 段階で指定します。



[アイリス] の設定により消費電力が変化することはありません。

テストパターン

 > [設置設定] > [テストパターン]

映像信号入力を接続しなくてもテストパターン (P185) を投写することができます。本機の設置時に解像度や色の確認をすることができます。リモコンの【TEST PATTERN】ボタンを押しても選択できます。

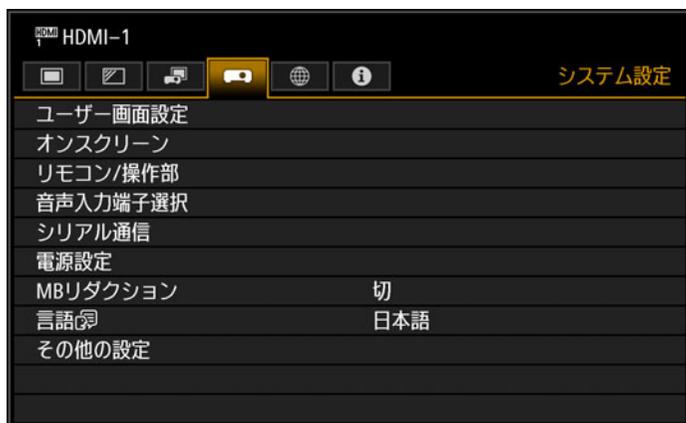
選択	機能
切	テストパターンの表示をしません。
入	テストパターンの表示をします。



- テストパターンの表示中は、【▲】【▼】ボタンで他のテストパターンに切り換えることができます。また、テストパターンにオプションの設定がある場合は、【◀】【▶】ボタンで設定を変更できます。
- テストパターン・ダイレクトメニューは一定時間後に消えます。【▲】【▼】ボタンを押すことにより再表示されます。

システム設定

電源投入時やスタンバイ状態時、操作音など、本機やリモコンの動作に関する設定をします。



入力信号がHDMI-1のメニュー画面

メニュー	機能	詳細
ユーザー画面設定	電源を入れたときや入力信号が検出されなくなったときに表示する画面などの設定をします。	P103
オンスクリーン	メニューの表示位置やガイド、警告、注意を示すアイコンの表示、非表示などの設定をします。	P104
リモコン / 操作部	リモコンや本体のボタン操作などを設定します。	P106
音声入力端子選択	音声を入力する端子を選びます。	P108
シリアル通信	シリアル通信の設定値を表示します。	P108
電源設定	起動時や、スタンバイ状態時、無信号入力時などの電源設定をします。	P108
MB リダクション	MB（モーションブラー）とは、動画の再生時に生じるブレのことです。MB リダクションにより、動画のブレを軽減することができます。	P110
言語	メニューに表示する言語を選びます。	P111
その他の設定	パスワードの登録やエアフィルターの交換時期の表示、スケジュールなどの設定をします。	P112

選択できないメニューはグレーアウトになります。

ユーザー画面設定

 > [システム設定] > [ユーザー画面設定]

画像の登録や表示の設定をします。

ユーザー画面設定	
ユーザー画像登録	
ユーザー画像位置	中央
無信号時画面	青
BLANK時画面	黒
起動時画面	Canonロゴ
戻る	

ユーザー画像登録

現在表示している画面をユーザー画像として登録します。登録したユーザー画像は、無信号時の画面、BLANK 時の画面、起動時の画面として使用することができます。

選択	機能
はい	登録する画像を画面に表示します。 赤い枠に読み込む範囲を合わせ、【OK】ボタンを押します。枠の中の画像が登録されます。
いいえ	ユーザー画像の登録を中止します。

ユーザー画像位置

登録したユーザー画像の表示位置を設定します。
ユーザー画面が登録されているときに設定することができます。左上、右上、中央、左下、右下から選びます。

無信号時画面

入力信号がないときの表示画面の設定をします。

選択	機能
黒	黒画面になります。
青	青画面になります。
ユーザー画像	ユーザー画像が表示されます。

BLANK 時画面

リモコンの【BLANK】ボタンを押して映像を一時的に消したときに表示する画面を選びます。

選択	機能
黒	黒画面になります。
青	青画面になります。
消灯	光源をオフにします。
ユーザー画像	ユーザー画像が表示されます。

起動時画面

電源を入れてから入力信号の投写ができるまでの間に表示する画面を選びます。

選択	機能
表示しない	黒映像が表示されます。
Canon ロゴ	あらかじめ登録されているキャノンのロゴを表示します。
ユーザー画像	ユーザー画像が表示されます。

オンスクリーン

 > [システム設定] > [オンスクリーン]

操作の補助となるガイドやメニュー、警告や注意を示すアイコンの設定をします。

オンスクリーン	
メニュー表示位置	左上
メニュー表示時間	標準
メニュー回転	なし
ガイド	入
入力状態表示	入
エアフィルター警告表示	入
高温注意表示	切
戻る	

メニュー表示位置

メニュー表示の位置を変えます。
左上、右上、中央、左下、右下から選びます。



エッジブレンディング機能を使用しているときは、[中央] に固定されるため、他の表示位置はグレーアウトし、選択できません。

メニュー表示時間

通常は 10 秒または 30 秒のメニュー表示時間を 3 分に延長します。

選択	機能
標準	表示時間は 10 秒または 30 秒です。
延長	表示時間は 3 分です。

以下のメニューの表示時間が変わります。

項目	[標準]	[延長]
メニュー画面	30 秒	3 分
- インพุット (P47) - キーストーン調整 (P56) - キーストーンリセット (P58) - フォーカス (P51)、ズーム (P51)、レンズシフト (P53)、レンズシフトリセット (P54) - 周辺フォーカス (P97) - アスペクト (P55) - イメージモード (P59) - ガンマ (P84) - 音量の調整 (P21、P25)	10 秒	3 分



RGB アライメントの 5 点調整とマニュアル調整、その他の設定の日付・時刻設定の表示時間は、[標準] [延長] に関わらず 3 分です。

メニュー回転

メニューの表示向きを回転します。本機をポートレート投写等 90° 傾けて設置した場合、投写画面の上下に合わせてメニュー画面の向きを揃えるために設定します。

選択	機能
オート	重力センサーを使用して、左 90° ポートレート設置、右 90° ポートレート設置、平置き設置を判別し、自動的にメニューの向きを回転します。
なし	メニューを回転しません。平置き時に正しく見える向きにメニューを表示します。
左 90° 右 90°	メニューを 90° 回転させます。本機を左または右に 90° ポートレート設置したときにメニューが正しい向きで見えます。



- 電源を入れたときや、オート以外のメニューから [オート] を選んだ直後の本機の設置向きを検知し、メニューの回転方向が判断されます。
- 映像の投写中に本機の設置向きを回転しても、自動的にメニューの向きは変わりません。

ガイド

プロジェクターを操作するとき機能の紹介や操作に関わるメッセージ（ガイド画面）を表示します。

選択	機能
切	ガイド画面を表示しません。
入	ガイド画面を表示します。



ガイド画面は次の場合に表示されます。

- 入力信号が確認できない場合。
- [BLANK]、[FREEZE] 時に無効なボタンが押された場合。(P25)
- 設置ロック (P92) が [入] に設定されており、設置ロック中の操作禁止のボタンが押された場合。

入力状態表示

無信号時や信号設定時に入力信号の状態を画面に表示します。

選択	機能
切	入力状態を表示しません。
入	入力状態を表示します。

エアフィルター警告表示

エアフィルターの交換が必要な場合に、交換を促す警告を表示します。

選択	機能
切	エアフィルター警告を表示しません。
入	エアフィルター警告を表示します。



エアフィルター警告表示 [切] を選択した場合、エアフィルター交換の警告が表示されません。エアフィルターカウンター (P118) で交換時期の確認をお勧めします。

高温注意表示

本機内部の温度が上がり、異常温度に近づいたときに、高温注意アイコンを表示します。

選択	機能
切	高温注意アイコンを表示しません。
入	高温注意アイコンを表示します。

リモコン / 操作部

 > [システム設定] > [リモコン / 操作部]

リモコンや本体操作部のボタン操作などの設定を行います。

リモコン/操作部	
電子音	入
キーリピート	入
キーロック	切
リモコンチャンネル	オール
戻る	

電子音

操作時の電子音の有無を設定します。

選択	機能
切	電子音を鳴らしません。
入	電子音を鳴らします。

 リモコンの【MUTE】ボタンで音を消しているときは、電子音は鳴りません。

キーリピート

本体やリモコンのボタンを押したままにしたとき、連続して押した状態と同じ動作をさせること（キーリピート）ができます。

選択	機能
切	キーリピートを行いません。
入	キーリピートを行います。

キーロック

本体またはリモコン（ワイヤレス）のいずれかの操作をできないように設定します。

選択	機能
切	キーロックをしません。本体・リモコンどちらからでも操作することができます。
本体	本体操作部が使用できなくなります。リモコン側で操作してください。
リモコン (ワイヤレス)	赤外線でのリモコン操作ができなくなります (P27)。本体側で操作してください。リモコンをケーブルに接続して操作することはできます。

キーロックを強制解除するには

本機の電源を切り、電源コードをいったん抜いてください。次に、本体の【OK】ボタンを押しながら電源コードを差し込み、そのまま【OK】ボタンを離さないでください。しばらくして電子音が鳴り、キーロックが解除されます。



キーロックは、本体操作部を用いて [本体] を設定することはできません。リモコンを用いて [リモコン (ワイヤレス)] の設定も同様にできません。

リモコンチャンネル

ひとつのリモコンで複数台（最大 4 台）のプロジェクターを同時に使用するとき、操作するプロジェクターを使い分けるためリモコンのチャンネル設定をします。

本体側のチャンネルを選ぶ

リモコンをケーブル接続して使用する場合は、リモコンのチャンネル設定は不要です。

選択	機能
Ch1	このプロジェクターで使用するリモコンのチャンネルを選びます。
Ch2	
Ch3	
Ch4	
オール	すべてのチャンネルのリモコンが使用できるようになります。

リモコン側のチャンネルを選ぶ

メニューで本体側のチャンネル切り換えを行ったら、リモコンで以下の操作をし、必ずリモコン側のチャンネルも切り換えてください。

Ch1	Ch ボタンと 【1】 ボタンを同時に 3 秒間押します。
Ch2	Ch ボタンと 【2】 ボタンを同時に 3 秒間押します。
Ch3	Ch ボタンと 【3】 ボタンを同時に 3 秒間押します。
Ch4	Ch ボタンと 【4】 ボタンを同時に 3 秒間押します。
オール	Ch ボタンと 【0】 ボタンを同時に 3 秒間押します。

音声入力端子選択

 > [システム設定] > [音声入力端子選択]

各入力信号の音声を入力する端子を選びます。

サブメニュー	機能	
DVI-1	音声を入力する端子を選びます。	
DVI-2		
DVI-3	切	音声出力を行いません。
DVI-4	オーディオイン	AUDIO IN 端子から入力される音声を出力します。
HDMI-1	HDMI-1	
HDMI-2		
DVI 1x2	HDMI-2	
DVI 2x2 / 1x4		
HDMI 1x2		

シリアル通信

 > [システム設定] > [シリアル通信]

シリアル通信機能で使用するサービス用端子 (CONTROL) の設定値を確認することができます。

選択	機能	
ボーレート	変調速度 (単位はビット / 秒) を表します。	
データビット長	データのビット数です。	
パリティ	パリティのビット数です。	
ストップビット	ストップビット長です。	
	選択	機能
	1	ストップビット長を 1 に設定します。
2	ストップビット長を 2 に設定します。	

電源設定

 > [システム設定] > [電源設定]

スタンバイ状態時、無信号入力時、起動時などの電源設定をします。

電源設定	
スタンバイ電力設定	省電力
高速起動	切
パワーマネージメントモード	無効
パワーマネージメント時間	5分
ダイレクトパワーオン	入
戻る	

スタンバイ電力設定

スタンバイ状態時のネットワーク機能動作状態を設定します。

選択	機能
通常	ネットワーク機能が有効の場合は Web 設定、PJLink 等すべてのネットワーク機能が動作します。
省電力	スタンバイ状態時も、すべてのネットワーク機能が動作します。ただし、機能によっては、最初に使用したときの反応時間が、通常と比べて長くなるものがあります。



- ・ [省電力] を選んだ場合、機能によってはネットワークでのアクセスに時間がかかるものがあります。アクセスを速くしたい場合は、[通常] を選択してください。
- ・ [スタンバイ電力設定] は高速起動が [入] のときは選ぶことができません。
- ・ スケジュール機能 (P114) を有効にすると、[スタンバイ電力設定] は [通常] に固定されます。
- ・ 無線 LAN 機能 (P121) を有効にすると、[スタンバイ電力設定] は [通常] に固定されます。

高速起動

電源オフ時に、90 分間一部の回路を通電状態として、次の電源オン後の起動時間を短縮します。ただし、瞬間的な大光量変化を防止するため約 1.7 秒をかけて映像を投写します。

選択	機能
切	高速起動を使用しません。
入	高速起動を使用します。

パワーマネジメントモード

映像入力信号がない状態（無信号状態）で、消灯やスタンバイ状態にできます。リモコンや本体操作部の操作がない（無操作状態）場合、所定時間が経過した後に、自動的に消灯や電源がオフになる機能です。

選択	機能
無効	パワーマネジメントモードを使用しません。
消灯	光源のみオフします。
スタンバイ	電源を切り、スタンバイ状態にします。



- ・ 消灯から復帰するのは、映像信号（消灯前と同じ入力信号）が復活した場合、またはリモコン/本体のボタンを操作した場合、ユーザーコマンドで電源 ON を行った場合です。
- ・ スタンバイ状態から復帰するには、通常の電源を入れる操作が必要です。
- ・ [無効] に設定した場合は、[ダイレクトパワーオン] は使用できません。

パワーマネジメント時間

[パワーマネジメントモード] で設定した消灯やスタンバイ状態になるまでの時間を設定します。

選択	機能
5 分～ 60 分	入力信号がなくなって 30 秒が経過し、かつ操作がない状態が継続すると、選択した時間のカウントダウン表示を開始します。



- ブランク中にカウントダウンを開始する条件になると、ブランクは解除されます。
- カウントダウンを開始すると、音声出力は停止します。

ダイレクトパワーオン

【POWER】 ボタンを押さずに、電源コードの接続だけで電源が入るようにできます。

選択	機能
切	電源を入れるために【POWER】 ボタンの操作が必要です。
入	電源コードの接続だけで電源が入ります。



- ダイレクトパワーオンを [入] にするときは、[パワーマネージメントモード] の設定を [無効] 以外に設定してください。[無効] にするとダイレクトパワーオンは使用できません。
- 本機はダイレクトパワーオフ機能を備えています。投写中に電源ボタンを押さずに、電源コードをコンセントから抜いて電源を切っても、故障などを起こしません。ただし、コンセントを抜く直前に行われた設定の変更は保存されない場合があります。

MB リダクション

 > [システム設定] > [MB リダクション]

MB（モーションブラー）とは、動画の再生時に生じるブレのことです。MB リダクションにより、動画のブレを軽減することができます。

選択	機能
切	MB リダクションを実行しません。
弱	動きの速い映像のブレを軽減します。若干映像が暗くなることや画面がちらつくことがあります。
強	[弱] よりも動きの速い映像のブレを軽減します。映像が暗くなることや画面がちらつくことがあります。



- [弱]、[強] にしたときにちらつきが気になる場合は、[切] に設定してください。
- イメージモードが [DICOM SIM] の場合は、[MB リダクション] は機能しません。メニューはグレイアウト表示となります。

言語

 > [システム設定] > [言語]

メニューに表示する言語を選びます。

言語		
English 英語	Русский ロシア語	Čeština チェコ語
Deutsch ドイツ語	Nederlands オランダ語	Dansk デンマーク語
Français フランス語	Suomi フィンランド語	إنجليزي アラビア語
Italiano イタリア語	Norsk ノルウェー語	中文简体 中国語（簡体）
Español スペイン語	Türkçe トルコ語	中文繁體 中国語（繁体）
Português ポルトガル語	Polski ポーランド語	한국어 韓国語
Svenska スウェーデン語	Magyar ハンガリー語	日本語 日本語

その他の設定

 > [システム設定] > [その他の設定]

パスワードの登録や設定、エアフィルターのカウンターのリセット、スケジュールなどの設定をします。

その他の設定	
パスワード設定	切
パスワード登録	
日付・時刻設定	
スケジュール	
キャリブレーション	
トリガーアウト	切
エアフィルターカウンター	
通電カウンター	3H
ファームウェアバージョン	00.00131
工場出荷設定	
戻る	

パスワード設定

パスワードを入力しないと投写ができないようにします。

選択	機能
切	パスワードを入力しなくても投写できます。
入	パスワードを入力しないと投写できません。

パスワードを強制解除するには

本体側で解除する方法	本機の電源を切り、電源コードをいったん抜いてください。 次に、本体の【MENU】ボタンを押しながら電源コードを差し込みます。電子音が鳴るまで【MENU】ボタンを押し続けてください。電子音が鳴るとパスワードの解除は完了です。（登録したパスワードもリセットされます）
リモコン側で解除する方法	リモコンからパスワードを強制解除するには、スタンバイ状態で【MENU】ボタンを3回押し、【POWER】ボタンを押してください。



- ・ [パスワード登録] を行わないとパスワード設定を [入] にできません。
パスワード機能を使用すると、電源を入れたときにパスワードの入力画面が表示されます。
パスワードは4桁で入力します。
【▲】、【▶】、【▼】、【◀】 ボタンまたはリモコンの数字ボタンの組み合わせで設定します。
パスワードが一致すれば投写が始まります。パスワードを3回間違えると、電源が切れます。
- ・ パスワードの入力画面のまま無操作状態で3分間経過した場合も電源が切れます。

パスワード登録

投写を始めるためのパスワードを登録します。

パスワードは 4 桁で入力します。

方向ボタン **【▲】** (1)、**【▶】** (2)、**【▼】** (3)、**【◀】** (4)、またはリモコンの数字ボタンの組み合わせで設定します。

左の桁から順番に入力し、入力が終わると自動的に登録されます。

パスワードの登録を中止するときは **【MENU】** ボタンを押してください。

日付・時刻設定

現在の日付と時刻や、その表示形式、サマータイム、タイムゾーンなどを設定します。

サブメニュー	機能								
日付・時刻	日付と時刻を設定します。現在設定されている日付と時刻が表示され、時刻は 1 秒ごとに更新されます。								
	 リアルタイムクロックの時刻が未設定のとき、表示は空欄になります。								
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>サブメニュー</th> <th>機能</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>日付</td> <td>日付を入力します。</td> </tr> <tr> <td>時刻</td> <td>時刻を入力します。</td> </tr> <tr> <td>確定</td> <td>入力した値を確定します。このタイミングで、リアルタイムクロックが動作を開始します。</td> </tr> </tbody> </table>	サブメニュー	機能	日付	日付を入力します。	時刻	時刻を入力します。	確定	入力した値を確定します。このタイミングで、リアルタイムクロックが動作を開始します。
	サブメニュー	機能							
	日付	日付を入力します。							
時刻	時刻を入力します。								
確定	入力した値を確定します。このタイミングで、リアルタイムクロックが動作を開始します。								
 <ul style="list-style-type: none"> 表示される日付と時刻の形式は [日付の表示形式] で設定します。 電源を長期間抜いた状態が続くと設定がリセットされる場合があります。 									
日付の表示形式	日付・時刻、スケジュールなどにおける日付の表示形式を [年 / 月 / 日]、[月 / 日 / 年]、[日 / 月 / 年] から選びます。								
サマータイム	サマータイム開始時に時計を 1 時間進め、サマータイム終了時に時計を 1 時間戻します。サマータイムの開始と終了の時期をあらかじめ設定しておく必要があります。								
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>選択</th> <th>機能</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>切</td> <td>サマータイム機能を使用しません。</td> </tr> <tr> <td>入</td> <td>サマータイム機能を使用します。</td> </tr> <tr> <td>編集</td> <td>サマータイムの開始 / 終了タイミングを編集します。開始日時と終了日時の編集画面が開くので、月・曜日・時刻を設定してください。</td> </tr> </tbody> </table>	選択	機能	切	サマータイム機能を使用しません。	入	サマータイム機能を使用します。	編集	サマータイムの開始 / 終了タイミングを編集します。開始日時と終了日時の編集画面が開くので、月・曜日・時刻を設定してください。
	選択	機能							
	切	サマータイム機能を使用しません。							
入	サマータイム機能を使用します。								
編集	サマータイムの開始 / 終了タイミングを編集します。開始日時と終了日時の編集画面が開くので、月・曜日・時刻を設定してください。								
 開始、終了タイミングが未設定のときは、[サマータイム] の [入] はグレーアウトします。									
エリア	設置場所と同じタイムゾーンの地域名を選びます。 [タイムゾーン] に選択した地域に対応するタイムゾーンが表示されます。								

サブメニュー	機能								
SNTP	時刻の同期に SNTP (Simple Network Time Protocol.) を使用するかを選びます。								
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>選択</th> <th>機能</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>入 (IPv4)</td> <td>IPv4 の SNTP を使用します。</td> </tr> <tr> <td>入 (IPv6)</td> <td>IPv6 の SNTP を使用します。</td> </tr> <tr> <td>切</td> <td>SNTP を使用しません。</td> </tr> </tbody> </table>	選択	機能	入 (IPv4)	IPv4 の SNTP を使用します。	入 (IPv6)	IPv6 の SNTP を使用します。	切	SNTP を使用しません。
	選択	機能							
	入 (IPv4)	IPv4 の SNTP を使用します。							
入 (IPv6)	IPv6 の SNTP を使用します。								
切	SNTP を使用しません。								
<ul style="list-style-type: none"> ネットワーク (有線 / 無線) が [切 / 切] のときは、[SNTP] はグレーアウトします。 SNTPサーバーのIPアドレスはWeb画面から設定してください。SNTPサーバーのIPアドレスが設定されていないときは、[SNTP] はグレーアウトします。 									

スケジュール

本機を自動的に動作させるためのスケジュールを登録することができます。期間を限定しない「通常」スケジュールと、期間を限定した 5 つの「特定期間」スケジュールが選択できます。

スケジュール		
「特定期間1~5」を設定すると、その期間は「通常」スケジュールは実行されません。		
通常	切	
特定期間1	入	2016/09/01 - 2016/09/15
特定期間2	入	2016/09/20 - 2016/09/25
特定期間3	入	2016/10/06 - 2016/10/15
特定期間4	入	2016/11/10 - 2016/11/25
特定期間5	入	2016/12/01 - 2016/12/10
戻る		

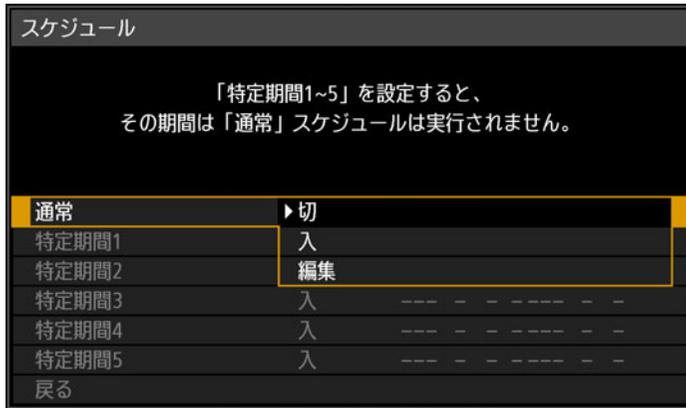
 各特定期間の「期間」を、互いに重複して設定することはできません。

選択	機能
通常	期間を限定しないスケジュールを設定できます。
特定期間 1-5	5 つの限定した期間のスケジュールを設定できます。



- [特定期間 1] ~ [特定期間 5] は、期間が未設定の場合には [入] はグレーアウトします。
- いずれかのスケジュールを [入] に設定すると、スタンバイ電力設定 (P109) が [通常] になります。
- 「特定期間」スケジュールの間は、「通常」スケジュールの実行が抑制され、「特定期間」スケジュールが実行されます。

スケジュール詳細設定



選択	機能
切	スケジュールを使用しません。
入	スケジュールを使用します。
編集	<p>スケジュールを編集することができます。</p> <p>■通常</p>

選択	機能							
編集	<p>■特定期間</p> 							
	<p>設定したい [曜日] を選び、時間とオペレーション、パラメータを選びます。 また、CALIBRATION（キャリブレーションの説明は 117 ページ を参照してください。）を選ぶと、設定した時間にキャリブレーションの光源補正を行うことができます。ただし、30分以上投写している必要があり、あらかじめ POWER を ON する必要があります。</p> <table border="1" data-bbox="408 989 1196 1723"> <thead> <tr> <th>サブメニュー</th> <th>機能</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>期間</td> <td>動作させる期間（開始日付、終了日付）を編集します。通常スケジュールの場合は、[期間] はありません。</td> </tr> <tr> <td>曜日</td> <td>編集する曜日を切り換えます。</td> </tr> <tr> <td>予定編集</td> <td>[曜日] で選択した曜日のプログラムを編集します。時刻、オペレーションとパラメータ (POWER ON / OFF、INPUT、CALIBRATION) を設定、削除できます。</td> </tr> </tbody> </table>	サブメニュー	機能	期間	動作させる期間（開始日付、終了日付）を編集します。通常スケジュールの場合は、[期間] はありません。	曜日	編集する曜日を切り換えます。	予定編集
サブメニュー	機能							
期間	動作させる期間（開始日付、終了日付）を編集します。通常スケジュールの場合は、[期間] はありません。							
曜日	編集する曜日を切り換えます。							
予定編集	[曜日] で選択した曜日のプログラムを編集します。時刻、オペレーションとパラメータ (POWER ON / OFF、INPUT、CALIBRATION) を設定、削除できます。							

選択	機能	
編集	サブメニュー	機能
	リセット	選択中のスケジュールの設定内容をリセットします。[期間] および全曜日の設定内容をリセットします。
	他の曜日へ予定をコピー	<p>予定コピーメニューを表示し、[曜日] で選択した曜日のプログラムを他の曜日へコピーできます。</p> 

キャリブレーション

本機を長期間使用した場合や環境変化などによる画質の変化を調整をします。

サブメニュー	機能						
ガンマリストア	<p>長期間のご使用によって、階調特性の変化や無彩色の色つきが気になったときに使用します。ガンマリストアは点灯後、約 30 分以上経過しないと使用可能となりません。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>選択</th> <th>機能</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>切</td> <td>ガンマリストアを実行せず、工場出荷時の設定に戻します。</td> </tr> <tr> <td>調整</td> <td>ガンマリストアを実行し、結果を適用します。</td> </tr> </tbody> </table> <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p> • ガンマリストアを実行すると、階調特性や無彩色の色つきを購入時（工場出荷時）の状態に近づけられますが、完全に元の状態に戻すことはできません。</p> <p>• ガンマリストアを実行すると、約 8 分間、調整画面が投写されます。</p> <p>• ガンマリストアを中断するには、【POWER】 ボタン、または【EXIT】 ボタンを押してください。中断すると【切】の状態に戻ります。</p> </div>	選択	機能	切	ガンマリストアを実行せず、工場出荷時の設定に戻します。	調整	ガンマリストアを実行し、結果を適用します。
選択	機能						
切	ガンマリストアを実行せず、工場出荷時の設定に戻します。						
調整	ガンマリストアを実行し、結果を適用します。						

サブメニュー	機能						
パネル温度補正	環境温度などの変化に応じて、ガンマが変化したときに使用します。LCOS パネルの温度変化により変化した階調性の補正を行います。パネル温度補正は、点灯後約 2 分以上経過しないと使用可能になりません。						
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>選択</th> <th>機能</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>切</td> <td>パネル温度補正を実行しません。</td> </tr> <tr> <td>調整</td> <td>パネル温度補正を実行します。</td> </tr> </tbody> </table>	選択	機能	切	パネル温度補正を実行しません。	調整	パネル温度補正を実行します。
	選択	機能					
切	パネル温度補正を実行しません。						
調整	パネル温度補正を実行します。						
光源補正	長時間のご使用によって光源の輝度や色の劣化が気になった時に使用します。						
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>選択</th> <th>機能</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>はい</td> <td>光源補正を実行します。</td> </tr> <tr> <td>いいえ</td> <td>光源補正を実行しません。</td> </tr> </tbody> </table>	選択	機能	はい	光源補正を実行します。	いいえ	光源補正を実行しません。
	選択	機能					
はい	光源補正を実行します。						
いいえ	光源補正を実行しません。						
 光源補正は、点灯後、約 30 分以上経過しないと使用可能となりません。							
<h2>トリガーアウト</h2> <p>外部のスクリーン等とプロジェクターを連動して制御できます。</p>							
選択	機能						
切	トリガー端子から出力しません。						
電源連動	投写状態のとき、トリガー端子から 12V 電圧を出力します。外部に設置したスクリーンなどの機器を、本機の電源に連動して制御するときに利用できます。						
<h2>エアフィルターカウンター</h2> <p>エアフィルターの交換時期を知らせるカウンターを表示します。また、カウンターリセット画面が表示されます。</p>							
 <ul style="list-style-type: none"> エアフィルターの交換後はエアフィルターカウンターのリセットを行ってください。 エアフィルターの交換については 183 ~ 184 ページを参照してください。 							
<h2>通電カウンター</h2> <p>プロジェクターが電源に接続されていた総時間を表示します。</p>							
 [工場出荷設定] を行っても初期化されません。							

ファームウェアバージョン

ファームウェア（本機の内蔵プログラム）を新しいバージョンに更新します。表示されるバージョンを確認した上でバージョンアップを実行してください。



本機のファームウェアのバージョンは以下の手順で行います。

1. アップデートプログラムは弊社の Web サイトからダウンロードし、USB メモリのルートディレクトリに保存します。
2. USB メモリを USB 端子に接続します。
3. 画面に表示される指示に従って操作してください。



- ここに記載されているバージョンは実際のものとは異なります。
- アップデートプログラムがダウンロードできない場合があります。詳しくはキヤノンお客様相談センターにご連絡ください。
- 更新処理には数分かかります。ファームウェアの更新中は、赤い LED が点滅します。LED 点滅中は電源を切らないでください。更新完了後は、自動的に本機の電源が切れ、スタンバイ状態になります。

工場出荷設定

メニューで設定した内容を購入時（工場出荷時）の状態に戻します。

選択	機能
はい	工場出荷時の状態に戻します。
いいえ	工場出荷時の状態に戻しません。

ネットワーク設定

ネットワーク接続の概要

本機（プロジェクター）をネットワークに接続することで、プロジェクターのエラー通知メールをコンピューターで受信したり、コンピューターからプロジェクターを制御したりすることができます。

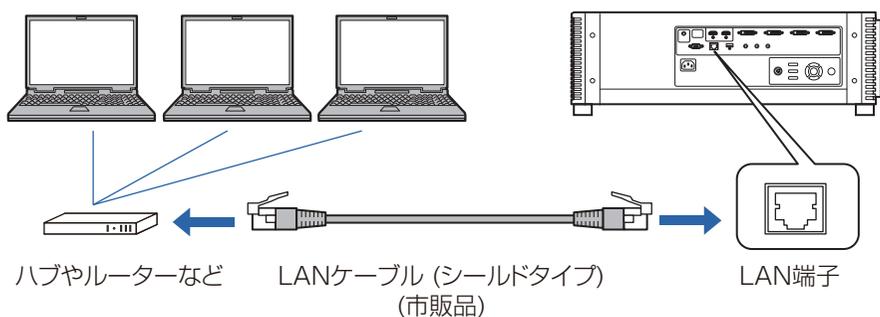
ネットワークへの接続方法により、コンピューター側で準備が必要になる場合があります。

接続方法について

有線LANと無線LANで接続することができます。

有線 LAN

LANケーブルを使用してネットワーク環境に接続し、プロジェクターとコンピューターを接続します。

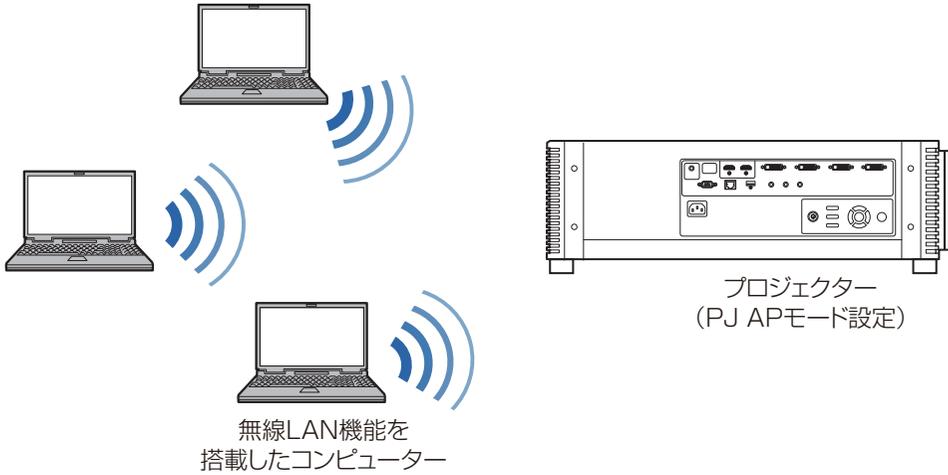


無線 LAN

• PJ AP (プロジェクターアクセスポイント) モード

プロジェクターをアクセスポイントとして動作させ、無線LAN機能を有するコンピューターとダイレクトで通信することができます。

同時に最大5台までの機器が接続できます。



• PJ AP モードで使用できるネットワーク機能は、以下の項目です。

- Web 機能
- ユーザーコマンド機能

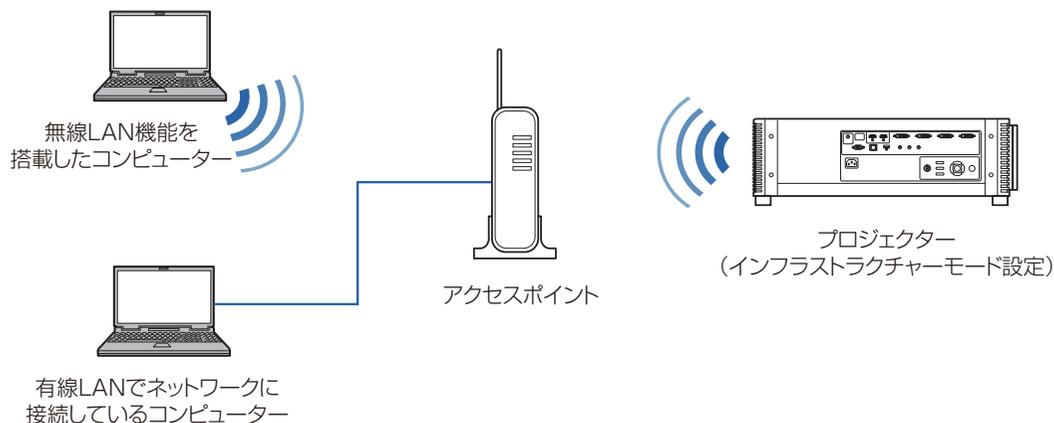
上記以外のネットワーク機能 (SNMP、PJLink、Mail、AMX Device Discovery、Crestron RoomView) は使用できません。

• PJAP モードで接続した場合、IPv6 には対応していません。

● インフラストラクチャーモード

プロジェクターを無線 LAN クライアントとして動作させ、無線 LAN アクセスポイントに接続することができます。

コンピューターとプロジェクターは、無線 LAN アクセスポイントを介して通信します。



接続について

● インフラストラクチャーモードで使用できるネットワーク機能は、以下の項目です。

- Web 機能
- Mail 機能
- ユーザーコマンド機能

上記以外のネットワーク機能 (SNMP、PJLink、AMX Device Discovery、Crestron RoomView) は使用できません。

● インフラストラクチャーモードを使用する場合、以下の制約があります

- アクセスポイントのSSIDにASCIIコード (半角英数字、半角記号) 以外の文字を使用されている場合、検索結果が文字化けして表示される可能性があります。
- アクセスポイントのSSIDにASCIIコード (半角英数字、記号) 以外の文字が使用されている場合、接続の保証はできません。

同じSSIDを使用しているアクセスポイントが複数あった場合、電波強度の強いアクセスポイントだけが検索結果に表示されます。

- プロジェクターの [ネットワーク (有線/無線)] の設定が [切/切] (ネットワーク接続が無効) になっている場合は、使用する有線 LAN または無線 LAN を [入] に変更してください。(P126) 無線LANは、接続するモードを選んでください。
- 「インフォメーション」(P140) を参照して、プロジェクターのIPアドレス (有線) またはIPアドレス (無線) が、LAN上にある他のコンピューターなどと重複していないことを確認してください。プロジェクターのIPアドレスを設定する場合は、「ネットワーク接続時のコンピューター設定」(P142) の手順に従って Web 画面で行うか、プロジェクターのTCP/IP設定機能 (P128、P133) を使用してください。
- 接続するネットワーク環境でDHCPサーバーが稼働している場合は、メニューで [DHCP] を [入] に選択し、DHCP機能を有効にして接続することができます。(P127、P133)



- 有線 LAN とインフラストラクチャーモードは同時に使用できません。
- PJ AP モードとインフラストラクチャーモードは同時に使用できません。
- 有線 LAN と PJ AP モードは同一のサブネットワーク内では使用できません。
- 新しくネットワークにコンピューターを接続する場合は、コンピューターの設定も行う必要があります。この場合は、ネットワークの管理者にお問い合わせください。

無線 LAN (Wi-Fi) について

■ 無線 LAN が使える国や地域について

無線LAN機能の使用は、国や地域ごとの法令等により規制されていることがあるため、違反すると罰せられることがあります。そのため、無線LAN機能が使用できる国や地域については、キヤノンのWebサイトで確認してください。

なお、それ以外の国や地域で無線LAN機能を使用した際のトラブル等については、弊社は一切責任を負いかねます。

■ モデルナンバー

4K600STZ / 4K600Z (無線モジュールモデル: CH9-1346)

- 次の事項を行うと、法律で罰せられることがあります。
「本製品を分解、改造すること」、「本製品上の証明ラベルをはがすこと」。
- 医療用の装置や、電子機器の近くで本製品を使用しないでください。医療用の装置や、電子機器の動作に影響を及ぼす恐れがあります。
- 本機には、電波法に基づく認証を受けた無線装置が内蔵されており、証明ラベルは無線設備に添付されています。

■ 電波干渉に関するご注意

この機器の使用周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）、および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）並びにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

- ① この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局、および特定小電力無線局並びにアマチュア無線局が運用されていないことを確認して下さい。
- ② 万一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するか、または電波の発射を停止した上、お客様相談センターにご連絡いただき、混信回避のための処置等（例えば、パーティションの設置など）についてご相談下さい。
- ③ その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局、あるいはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、お客様相談センターへお問い合わせ下さい。



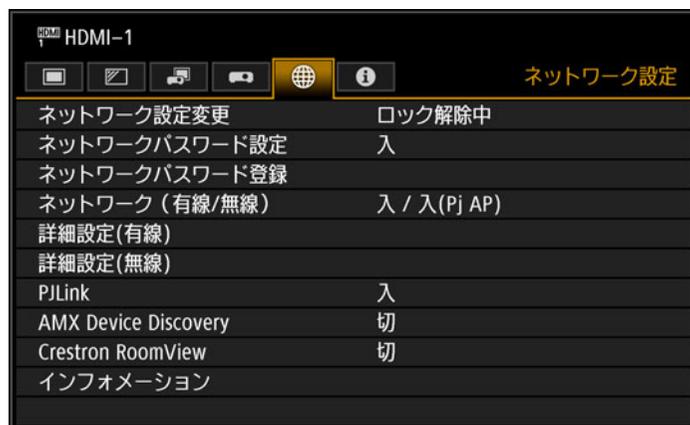
この表示は、2.4GHz帯を使用している無線機器であることを意味します。



本製品は、他の電波を発する機器から、電波干渉を受ける場合があります。これらの機器からできるだけ遠くへ離すか、ご利用時間を分けるなどして、電波干渉を避けて使用してください。

プロジェクターでの設定

無線 LAN や有線 LAN への接続の設定や、ネットワーク使用時のパスワードの登録など、ネットワークを使用するときの設定について説明します。



画面は、入力信号が HDMI-1 のメニュー画面

メニュー	機能	詳細
ネットワーク設定変更	ネットワークの設定が変更できないようにします。	P125
ネットワークパスワード設定	ネットワークの設定を変更する際のパスワードの有無を設定します。	P125
ネットワークパスワード登録	ネットワークパスワードの登録をします。	P125
ネットワーク (有線 / 無線)	有線 LAN 機能の入 / 切と、無線 LAN 機能の入 / 切およびモードを設定します。	P126
詳細設定 (有線)	有線 LAN で接続するときの詳細な情報を表示および設定をします。	P127
詳細設定 (無線)	無線 LAN で接続するときの詳細な情報の表示および設定をします。	P131
PJLink*	プロジェクターの PJLink 機能の使用の有無を設定します。	P137
AMX Device Discovery*	AMX の AMX Device Discovery の検出の設定をします。	P138
Crestron RoomView*	Crestron RoomView の使用設定をします。	P138
インフォメーション	ネットワーク関連の情報を表示します。	P139

* 有線 LAN でのみ有効です。

ネットワーク設定変更

 > [ネットワーク設定] > [ネットワーク設定変更]

ネットワーク設定が変更できないようロックしたり、ロックを解除したりします。

選択	機能
ロック解除	ロックを解除し、他のネットワーク設定項目を変更できるようにします。ロック解除にはパスワードの入力が必要です。【▲】【▶】【▼】【◀】 ボタンまたはリモコンの数字ボタンを使い、4桁のネットワークパスワードを入力します。
ロック	ロックします。



ネットワークのロックを強制解除するには

【▲】【OK】【▶】【OK】【▼】【OK】の順にボタンを押すと、ロックが解除されます。これによりネットワークパスワードは【▲】【▲】【▲】【▲】（【1】【1】【1】【1】）に初期化されます。[ネットワークパスワード設定] を [切] に設定すると、常にロックが解除された状態となります。

ネットワークパスワード設定

 > [ネットワーク設定] > [ネットワークパスワード設定]

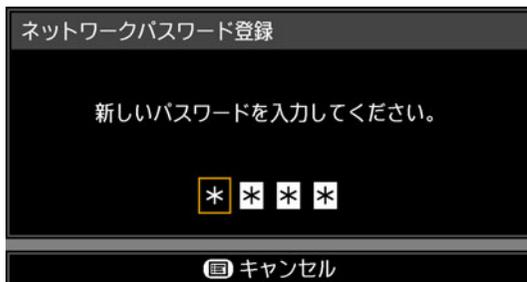
プロジェクターのネットワーク設定を変更する際にパスワードの入力を必要とするかどうかを設定します。

選択	機能
切	ネットワークパスワードを使用しません。
入	ネットワークパスワードを使用します。

ネットワークパスワード登録

 > [ネットワーク設定] > [ネットワークパスワード登録]

【▲】【▶】【▼】【◀】 ボタンまたはリモコンの数字ボタンを使い、プロジェクターのネットワークパスワードを登録します。



ネットワーク（有線 / 無線）

 > [ネットワーク設定] > [ネットワーク(有線 / 無線)]

有線 LAN 機能の入 / 切と、無線 LAN 機能の入 / 切およびモードを設定します。

[切] に設定すると、消費電力を抑えることができます。

選択	機能
切 / 切	ネットワーク機能を無効にします。
入 / 切	有線 LAN 機能のみを有効にします。
入 / 入 (Pj AP)	有線 LAN 機能、無線 LAN 機能 (PJ AP モード) を有効にします。
切 / 入 (Pj AP)	無線 LAN 機能 (PJ AP モード) のみを有効にします。
切 / 入 (Infra)	無線 LAN 機能 (インフラストラクチャーモード) のみを有効にします。



無線 LAN を使用して接続する場合

PJ AP モード (P121) で接続した場合、初回起動時にセキュリティキーの設定を確認する画面が表示されます。

詳細設定（有線）

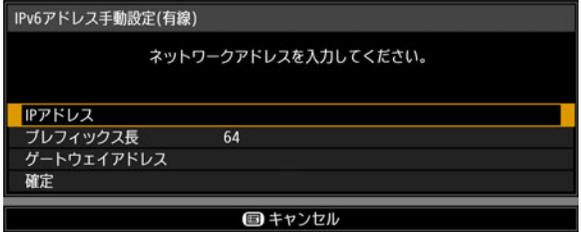
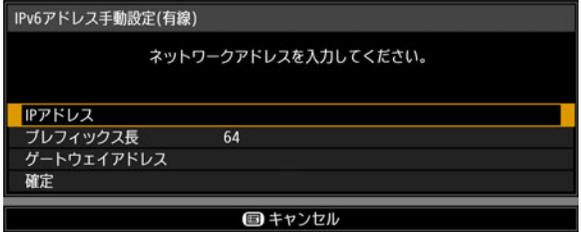
 > [ネットワーク設定] > [詳細設定(有線)]

有線 LAN で接続したときの IP アドレス、ゲートウェイアドレスなどを表示したり、手動で変更します。有線 LAN 機能が [入] のときのみ有効です。

詳細設定(有線)	
MACアドレス	08 00 2E 08 00 00
IPv4アドレス詳細設定	
IPv6	入
IPv6アドレス詳細設定	
ネットワーク設定初期化	
戻る	

メニュー	機能																
MAC アドレス	本機の有線側の MAC アドレスです。																
IPv4 アドレス 詳細設定	本機の有線 LAN (IPv4) 機能の詳細を設定します。 <table border="1" data-bbox="406 724 1094 954"> <tr><td colspan="2">IPv4アドレス詳細設定(有線)</td></tr> <tr><td>IPアドレス</td><td>192 . 168 . 254 . 254</td></tr> <tr><td>サブネットマスク</td><td>255 . 255 . 255 . 0</td></tr> <tr><td>ゲートウェイアドレス</td><td>0 . 0 . 0 . 0</td></tr> <tr><td>DHCP</td><td>切</td></tr> <tr><td>TCP/IP設定</td><td></td></tr> <tr><td>戻る</td><td></td></tr> </table>	IPv4アドレス詳細設定(有線)		IPアドレス	192 . 168 . 254 . 254	サブネットマスク	255 . 255 . 255 . 0	ゲートウェイアドレス	0 . 0 . 0 . 0	DHCP	切	TCP/IP設定		戻る			
	IPv4アドレス詳細設定(有線)																
	IPアドレス	192 . 168 . 254 . 254															
	サブネットマスク	255 . 255 . 255 . 0															
	ゲートウェイアドレス	0 . 0 . 0 . 0															
	DHCP	切															
TCP/IP設定																	
戻る																	
	<table border="1" data-bbox="406 994 1197 1564"> <thead> <tr> <th>サブメニュー</th> <th>機能</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>IP アドレス</td> <td>有線 LAN (IPv4) の IP アドレスです。</td> </tr> <tr> <td>サブネットマスク</td> <td>有線 LAN (IPv4) のサブネットマスクです。</td> </tr> <tr> <td>ゲートウェイアドレス</td> <td>有線 LAN (IPv4) のゲートウェイアドレスです。</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">DHCP</td> <td> <table border="1" data-bbox="591 1236 1181 1547"> <thead> <tr> <th>選択</th> <th>機能</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>切</td> <td>DHCP 機能を無効にします。TCP / IP の手動設定が可能になります。</td> </tr> <tr> <td>入</td> <td>DHCP 機能を有効にします。DHCP サーバーが探索されます。IP アドレスは DHCP サーバーから取得されるため、TCP / IP の手動設定の各項目 (IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイアドレス) の入力ができなくなります。</td> </tr> </tbody> </table> </td> </tr> </tbody> </table>	サブメニュー	機能	IP アドレス	有線 LAN (IPv4) の IP アドレスです。	サブネットマスク	有線 LAN (IPv4) のサブネットマスクです。	ゲートウェイアドレス	有線 LAN (IPv4) のゲートウェイアドレスです。	DHCP	<table border="1" data-bbox="591 1236 1181 1547"> <thead> <tr> <th>選択</th> <th>機能</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>切</td> <td>DHCP 機能を無効にします。TCP / IP の手動設定が可能になります。</td> </tr> <tr> <td>入</td> <td>DHCP 機能を有効にします。DHCP サーバーが探索されます。IP アドレスは DHCP サーバーから取得されるため、TCP / IP の手動設定の各項目 (IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイアドレス) の入力ができなくなります。</td> </tr> </tbody> </table>	選択	機能	切	DHCP 機能を無効にします。TCP / IP の手動設定が可能になります。	入	DHCP 機能を有効にします。DHCP サーバーが探索されます。IP アドレスは DHCP サーバーから取得されるため、TCP / IP の手動設定の各項目 (IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイアドレス) の入力ができなくなります。
サブメニュー	機能																
IP アドレス	有線 LAN (IPv4) の IP アドレスです。																
サブネットマスク	有線 LAN (IPv4) のサブネットマスクです。																
ゲートウェイアドレス	有線 LAN (IPv4) のゲートウェイアドレスです。																
DHCP	<table border="1" data-bbox="591 1236 1181 1547"> <thead> <tr> <th>選択</th> <th>機能</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>切</td> <td>DHCP 機能を無効にします。TCP / IP の手動設定が可能になります。</td> </tr> <tr> <td>入</td> <td>DHCP 機能を有効にします。DHCP サーバーが探索されます。IP アドレスは DHCP サーバーから取得されるため、TCP / IP の手動設定の各項目 (IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイアドレス) の入力ができなくなります。</td> </tr> </tbody> </table>	選択	機能	切	DHCP 機能を無効にします。TCP / IP の手動設定が可能になります。	入	DHCP 機能を有効にします。DHCP サーバーが探索されます。IP アドレスは DHCP サーバーから取得されるため、TCP / IP の手動設定の各項目 (IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイアドレス) の入力ができなくなります。										
	選択	機能															
切	DHCP 機能を無効にします。TCP / IP の手動設定が可能になります。																
入	DHCP 機能を有効にします。DHCP サーバーが探索されます。IP アドレスは DHCP サーバーから取得されるため、TCP / IP の手動設定の各項目 (IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイアドレス) の入力ができなくなります。																

メニュー	機能										
IPv4 アドレス 詳細設定	サブメニュー	機能									
	TCP/IP 設定	<p>接続するときの IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイアドレスの変更、設定を行います。</p> <div data-bbox="594 324 1179 637" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>TCP/IP設定(有線)</p> <p>ネットワークアドレスを入力してください。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="text-align: left;">IPアドレス</td> <td style="text-align: right;">192 . 168 . 254 . 254</td> </tr> <tr> <td style="text-align: left;">サブネットマスク</td> <td style="text-align: right;">255 . 255 . 255 . 0</td> </tr> <tr> <td style="text-align: left;">ゲートウェイアドレス</td> <td style="text-align: right;">0 . 0 . 0 . 0</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">確定</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;"> キャンセル </td> </tr> </table> </div> <ul style="list-style-type: none"> • [DHCP] (P127) が [入] の場合は本メニューはグレーアウトされ、設定不可となります。 • 無効な値を入力した場合は、「入力为正しくありません。」と表示されます。その場合は、正しい値を入力し直してください。 • [ネットワーク (有線 / 無線)] の設定が [入 / 入 (Pj AP)] のときに PJ AP モードと同一のサブネットワークに設定すると、「同一セグメント IP は設定できません」と表示されます。異なるサブネットワークに入力し直すか、[ネットワーク (有線 / 無線)] の設定を [入 / 切] に変更してから有線 LAN の IP アドレスを入力し直して下さい。 	IPアドレス	192 . 168 . 254 . 254	サブネットマスク	255 . 255 . 255 . 0	ゲートウェイアドレス	0 . 0 . 0 . 0	確定		キャンセル
IPアドレス	192 . 168 . 254 . 254										
サブネットマスク	255 . 255 . 255 . 0										
ゲートウェイアドレス	0 . 0 . 0 . 0										
確定											
キャンセル											
IPv6	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">選択</th> <th style="text-align: center;">機能</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">切</td> <td>本機の有線 LAN (IPv6) 機能を無効にします。</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">入</td> <td>本機の有線 LAN (IPv6) 機能を有効にします。 [IPv6 アドレス詳細設定] が選択可能になります。</td> </tr> </tbody> </table>	選択	機能	切	本機の有線 LAN (IPv6) 機能を無効にします。	入	本機の有線 LAN (IPv6) 機能を有効にします。 [IPv6 アドレス詳細設定] が選択可能になります。				
選択	機能										
切	本機の有線 LAN (IPv6) 機能を無効にします。										
入	本機の有線 LAN (IPv6) 機能を有効にします。 [IPv6 アドレス詳細設定] が選択可能になります。										

メニュー	機能													
IPv6 アドレス 詳細設定	<p>本機の有線 LAN (IPv6) 機能の詳細を設定します。</p> 													
	<table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="408 670 578 705">サブメニュー</th> <th data-bbox="578 670 1214 705">機能</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="408 705 578 778">リンクローカル</td> <td data-bbox="578 705 1214 778">有線 LAN (IPv6) のリンクローカルアドレスです。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="408 778 578 852">自動</td> <td data-bbox="578 778 1214 852">有線 LAN (IPv6) の自動アドレス (最大 5 つ) です。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="408 852 578 886">手動</td> <td data-bbox="578 852 1214 886">有線 LAN (IPv6) の手動アドレスです。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="408 886 578 921">ゲートウェイ</td> <td data-bbox="578 886 1214 921">有線 LAN (IPv6) のゲートウェイアドレスです。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="408 921 578 994">自動設定</td> <td data-bbox="578 921 1214 994">有線 LAN (IPv6) の自動アドレス設定を有効 / 無効にします。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="408 994 578 1570">手動設定</td> <td data-bbox="578 994 1214 1570"> <p>有線 LAN (IPv6) を手動設定します。IPv6 アドレス、プレフィックス長、ゲートウェイアドレスの変更、設定を行います。</p>  <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p> [自動設定] が [入] の場合は、本メニューはグレーアウトされ、設定不可となります。</p> <p>• 無効な値を入力した場合は、「入力が正しくありません。」と表示されます。その場合は、正しい値を入力し直してください。</p> </div> </td> </tr> </tbody> </table>	サブメニュー	機能	リンクローカル	有線 LAN (IPv6) のリンクローカルアドレスです。	自動	有線 LAN (IPv6) の自動アドレス (最大 5 つ) です。	手動	有線 LAN (IPv6) の手動アドレスです。	ゲートウェイ	有線 LAN (IPv6) のゲートウェイアドレスです。	自動設定	有線 LAN (IPv6) の自動アドレス設定を有効 / 無効にします。	手動設定
サブメニュー	機能													
リンクローカル	有線 LAN (IPv6) のリンクローカルアドレスです。													
自動	有線 LAN (IPv6) の自動アドレス (最大 5 つ) です。													
手動	有線 LAN (IPv6) の手動アドレスです。													
ゲートウェイ	有線 LAN (IPv6) のゲートウェイアドレスです。													
自動設定	有線 LAN (IPv6) の自動アドレス設定を有効 / 無効にします。													
手動設定	<p>有線 LAN (IPv6) を手動設定します。IPv6 アドレス、プレフィックス長、ゲートウェイアドレスの変更、設定を行います。</p>  <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p> [自動設定] が [入] の場合は、本メニューはグレーアウトされ、設定不可となります。</p> <p>• 無効な値を入力した場合は、「入力が正しくありません。」と表示されます。その場合は、正しい値を入力し直してください。</p> </div>													

メニュー	機能
ネットワーク 設定初期化	<p>ネットワークに関する以下の項目を初期化します。</p> <p>本機のメニューから設定する項目</p> <ul style="list-style-type: none"> • スタンバイ電力設定 (P109) • ネットワーク設定変更 (P125) • ネットワークパスワード設定 (P125) • ネットワークパスワード登録 (P125) • ネットワーク (有線 / 無線) (P126) • 詳細設定 (有線) (P127) <ul style="list-style-type: none"> • IPv4 アドレス詳細設定 (P127) <ul style="list-style-type: none"> • DHCP (有線 LAN (IPv4)) (P127) • TCP/IP 設定 (P128) <ul style="list-style-type: none"> • IP アドレス (有線 LAN (IPv4)) (P127) • サブネットマスク (有線 LAN (IPv4)) (P127) • ゲートウェイアドレス (有線 LAN (IPv4)) (P127) • IPv6 (P128) • IPv6 アドレス詳細設定 (P129) <ul style="list-style-type: none"> • 自動設定 (P129) • 手動設定 (P129) <ul style="list-style-type: none"> • IP アドレス (有線 LAN (IPv6)) (P129) • プレフィックス長 (P129) • ゲートウェイアドレス (有線 LAN (IPv6)) (P129) • PJLink (P137) • AMX Device Discovery (P138) • Crestron RoomView (P138) <p>Web 画面から設定する項目</p> <ul style="list-style-type: none"> • [Password] (P149) • [Wired] (P156) <ul style="list-style-type: none"> • IPv4 に関する以下の項目 <ul style="list-style-type: none"> • DHCP (P157) • IP address (P157) • Subnet mask (P157) • Default gateway (P157) • IPv6 に関する以下の項目 <ul style="list-style-type: none"> • IPv6 (P157) • Autoconfiguration (P157) • IP address (P157) • Prefix length (P157) • Default gateway (P157)

メニュー	機能
ネットワーク 設定初期化	<ul style="list-style-type: none"> • [Mail] (P160) • [SNMP] (P163) • [Projector info.] (P164) • [PJLink] (P164)

詳細設定（無線）

 > [ネットワーク設定] > [詳細設定(無線)]

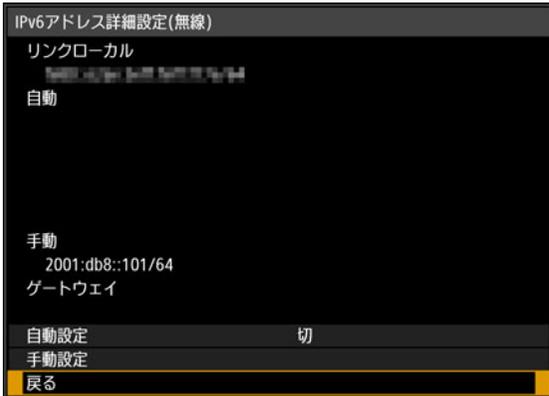
無線 LAN で接続したときの IP アドレス、ゲートウェイアドレスなどを表示したり、手動で変更します。無線 LAN 機能が [入] のときのみ有効です。

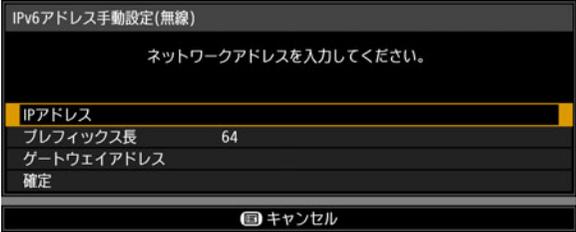
詳細設定(無線)	
モード	インフラストラクチャーモード
SSID	74: 88: 3d: 0d: 8f: 81
セキュリティ	WPA-PSK TKIP
チャンネル	2
信号強度	10dB
MACアドレス	74: 88: 3d: 0d: 8f: 81
Wi-Fi Protected Setup	
手動設定	
IPv4アドレス詳細設定	
IPv6	切
IPv6アドレス詳細設定	
ネットワーク設定初期化	
戻る	

メニュー	機能						
モード	無線 LAN のモードを表示します。(P121、P122)						
SSID	アクセスポイントの SSID を表示します。						
セキュリティ	セキュリティ設定を表示します。						
チャンネル	接続先のチャンネルを表示します。						
信号強度	信号強度の実測値を表示します。						
MAC アドレス	本機の無線側 MAC アドレスです。						
Wi-Fi Protected Setup	インフラストラクチャーモードを使用するときの接続方法を選びます。						
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>サブメニュー</th> <th>機能</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>PBC</td> <td>PBC (プッシュボタン) 方式で接続します。画面の表示に従い、無線 LAN の親機 (アクセスポイント) のプッシュボタンを押してから 2 分以内に画面の [OK] を選びます。</td> </tr> <tr> <td>PIN</td> <td>PIN 方式で接続します。画面に表示された 8 桁の PIN コードを無線 LAN の親機 (アクセスポイント) に入力し、10 分以内に画面の [OK] を選びます。</td> </tr> </tbody> </table>	サブメニュー	機能	PBC	PBC (プッシュボタン) 方式で接続します。画面の表示に従い、無線 LAN の親機 (アクセスポイント) のプッシュボタンを押してから 2 分以内に画面の [OK] を選びます。	PIN	PIN 方式で接続します。画面に表示された 8 桁の PIN コードを無線 LAN の親機 (アクセスポイント) に入力し、10 分以内に画面の [OK] を選びます。
	サブメニュー	機能					
PBC	PBC (プッシュボタン) 方式で接続します。画面の表示に従い、無線 LAN の親機 (アクセスポイント) のプッシュボタンを押してから 2 分以内に画面の [OK] を選びます。						
PIN	PIN 方式で接続します。画面に表示された 8 桁の PIN コードを無線 LAN の親機 (アクセスポイント) に入力し、10 分以内に画面の [OK] を選びます。						

メニュー	機能																		
手動設定	<p>本機の無線 LAN を手動で設定します。</p> 																		
	<table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="406 562 581 600">サブメニュー</th> <th data-bbox="581 562 1211 600">機能</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="406 600 581 672">モード</td> <td data-bbox="581 600 1211 672">無線 LAN のモードを表示します。(P121、P122)</td> </tr> <tr> <td data-bbox="406 672 581 1296">SSID</td> <td data-bbox="581 672 1211 1296"> <p>接続できるアクセスポイントの SSID 一覧が表示されます。周辺で使用できるアクセスポイントを探したり、接続先の SSID をキーボードから入力することができます。</p>  </td> </tr> <tr> <td data-bbox="406 1296 581 1431">セキュリティ</td> <td data-bbox="581 1296 1211 1431">無線 LAN のセキュリティを [Open]、[WEP]、[WPA2 AES]、[WPA / WPA2 TKIP / AES] から選びます。PJ AP モードのときは、[Open] または [WPA2 AES] を選択できます。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="406 1431 581 1503">チャンネル</td> <td data-bbox="581 1431 1211 1503">無線 LAN の接続が完了したときに無線 LAN のチャンネルを 1 ~ 11 で表示します。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="406 1503 581 1574">キー ID</td> <td data-bbox="581 1503 1211 1574">無線 LAN の WEP キー ID を選択します。セキュリティが [WEP] の場合のみ選択できます。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="406 1574 581 1682">キータイプ</td> <td data-bbox="581 1574 1211 1682">無線 LAN のセキュリティキーの入力タイプを選択します。セキュリティが [Open] の場合は選択できません。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="406 1682 581 1754">キー</td> <td data-bbox="581 1682 1211 1754">セキュリティが [Open] の場合は選択できません。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="406 1754 581 1806">確定</td> <td data-bbox="581 1754 1211 1806">設定した内容で接続します。</td> </tr> </tbody> </table>	サブメニュー	機能	モード	無線 LAN のモードを表示します。(P121、P122)	SSID	<p>接続できるアクセスポイントの SSID 一覧が表示されます。周辺で使用できるアクセスポイントを探したり、接続先の SSID をキーボードから入力することができます。</p> 	セキュリティ	無線 LAN のセキュリティを [Open]、[WEP]、[WPA2 AES]、[WPA / WPA2 TKIP / AES] から選びます。PJ AP モードのときは、[Open] または [WPA2 AES] を選択できます。	チャンネル	無線 LAN の接続が完了したときに無線 LAN のチャンネルを 1 ~ 11 で表示します。	キー ID	無線 LAN の WEP キー ID を選択します。セキュリティが [WEP] の場合のみ選択できます。	キータイプ	無線 LAN のセキュリティキーの入力タイプを選択します。セキュリティが [Open] の場合は選択できません。	キー	セキュリティが [Open] の場合は選択できません。	確定	設定した内容で接続します。
	サブメニュー	機能																	
	モード	無線 LAN のモードを表示します。(P121、P122)																	
	SSID	<p>接続できるアクセスポイントの SSID 一覧が表示されます。周辺で使用できるアクセスポイントを探したり、接続先の SSID をキーボードから入力することができます。</p> 																	
	セキュリティ	無線 LAN のセキュリティを [Open]、[WEP]、[WPA2 AES]、[WPA / WPA2 TKIP / AES] から選びます。PJ AP モードのときは、[Open] または [WPA2 AES] を選択できます。																	
	チャンネル	無線 LAN の接続が完了したときに無線 LAN のチャンネルを 1 ~ 11 で表示します。																	
	キー ID	無線 LAN の WEP キー ID を選択します。セキュリティが [WEP] の場合のみ選択できます。																	
	キータイプ	無線 LAN のセキュリティキーの入力タイプを選択します。セキュリティが [Open] の場合は選択できません。																	
	キー	セキュリティが [Open] の場合は選択できません。																	
確定	設定した内容で接続します。																		

メニュー	機能												
IPv4 アドレス 詳細設定	<p>本機の無線 LAN (IPv4) 機能の詳細を設定します。</p>  <p>IPv4アドレス詳細設定(無線)</p> <table border="1"> <tr> <td>IPアドレス</td> <td>192 . 168 . 253 . 254</td> </tr> <tr> <td>サブネットマスク</td> <td>255 . 255 . 255 . 0</td> </tr> <tr> <td>ゲートウェイアドレス</td> <td>0 . 0 . 0 . 0</td> </tr> <tr> <td>DHCP</td> <td>切</td> </tr> <tr> <td>TCP/IP設定</td> <td></td> </tr> <tr> <td>戻る</td> <td></td> </tr> </table>	IPアドレス	192 . 168 . 253 . 254	サブネットマスク	255 . 255 . 255 . 0	ゲートウェイアドレス	0 . 0 . 0 . 0	DHCP	切	TCP/IP設定		戻る	
	IPアドレス	192 . 168 . 253 . 254											
	サブネットマスク	255 . 255 . 255 . 0											
	ゲートウェイアドレス	0 . 0 . 0 . 0											
	DHCP	切											
TCP/IP設定													
戻る													
<table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="408 465 577 498">サブメニュー</th> <th data-bbox="577 465 1196 498">機能</th> </tr> </thead> </table>	サブメニュー	機能											
サブメニュー	機能												
<table border="1"> <tr> <td data-bbox="408 504 577 537">IP アドレス</td> <td data-bbox="577 504 1196 537">本機の無線 LAN (IPv4) の IP アドレスです。</td> </tr> </table>	IP アドレス	本機の無線 LAN (IPv4) の IP アドレスです。											
IP アドレス	本機の無線 LAN (IPv4) の IP アドレスです。												
<table border="1"> <tr> <td data-bbox="408 542 577 614">サブネット マスク</td> <td data-bbox="577 542 1196 614">本機の無線 LAN (IPv4) のサブネットマスクです。</td> </tr> </table>	サブネット マスク	本機の無線 LAN (IPv4) のサブネットマスクです。											
サブネット マスク	本機の無線 LAN (IPv4) のサブネットマスクです。												
<table border="1"> <tr> <td data-bbox="408 620 577 691">ゲートウェ イアドレス</td> <td data-bbox="577 620 1196 691">本機の無線 LAN (IPv4) のゲートウェイアドレスです。</td> </tr> </table>	ゲートウェ イアドレス	本機の無線 LAN (IPv4) のゲートウェイアドレスです。											
ゲートウェ イアドレス	本機の無線 LAN (IPv4) のゲートウェイアドレスです。												
<table border="1"> <tr> <td data-bbox="408 697 577 1130" rowspan="3">DHCP</td> <td data-bbox="577 697 1196 768">本機の無線 LAN の DHCP 機能の無効、有効を切り換えます。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="577 768 1196 1110"> <table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="595 768 710 801">選択</th> <th data-bbox="710 768 1181 801">機能</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="595 801 710 879">切</td> <td data-bbox="710 801 1181 879">DHCP 機能を無効にします。TCP / IP の手動設定が可能になります。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="595 879 710 1110">入</td> <td data-bbox="710 879 1181 1110">DHCP 機能を有効にします。DHCP サーバーが探索されます。IP アドレスは DHCP サーバーから取得されるため、TCP / IP の手動設定の各項目 (IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイアドレス) の入力ができなくなります。</td> </tr> </tbody> </table> </td> </tr> </table>	DHCP	本機の無線 LAN の DHCP 機能の無効、有効を切り換えます。	<table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="595 768 710 801">選択</th> <th data-bbox="710 768 1181 801">機能</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="595 801 710 879">切</td> <td data-bbox="710 801 1181 879">DHCP 機能を無効にします。TCP / IP の手動設定が可能になります。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="595 879 710 1110">入</td> <td data-bbox="710 879 1181 1110">DHCP 機能を有効にします。DHCP サーバーが探索されます。IP アドレスは DHCP サーバーから取得されるため、TCP / IP の手動設定の各項目 (IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイアドレス) の入力ができなくなります。</td> </tr> </tbody> </table>	選択	機能	切	DHCP 機能を無効にします。TCP / IP の手動設定が可能になります。	入	DHCP 機能を有効にします。DHCP サーバーが探索されます。IP アドレスは DHCP サーバーから取得されるため、TCP / IP の手動設定の各項目 (IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイアドレス) の入力ができなくなります。				
DHCP		本機の無線 LAN の DHCP 機能の無効、有効を切り換えます。											
		<table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="595 768 710 801">選択</th> <th data-bbox="710 768 1181 801">機能</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="595 801 710 879">切</td> <td data-bbox="710 801 1181 879">DHCP 機能を無効にします。TCP / IP の手動設定が可能になります。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="595 879 710 1110">入</td> <td data-bbox="710 879 1181 1110">DHCP 機能を有効にします。DHCP サーバーが探索されます。IP アドレスは DHCP サーバーから取得されるため、TCP / IP の手動設定の各項目 (IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイアドレス) の入力ができなくなります。</td> </tr> </tbody> </table>	選択	機能	切	DHCP 機能を無効にします。TCP / IP の手動設定が可能になります。	入	DHCP 機能を有効にします。DHCP サーバーが探索されます。IP アドレスは DHCP サーバーから取得されるため、TCP / IP の手動設定の各項目 (IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイアドレス) の入力ができなくなります。					
	選択	機能											
切	DHCP 機能を無効にします。TCP / IP の手動設定が可能になります。												
入	DHCP 機能を有効にします。DHCP サーバーが探索されます。IP アドレスは DHCP サーバーから取得されるため、TCP / IP の手動設定の各項目 (IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイアドレス) の入力ができなくなります。												
<table border="1"> <tr> <td data-bbox="408 1141 577 1651" rowspan="2">TCP/IP 設定</td> <td data-bbox="577 1141 1196 1387"> <p>本機の無線 LAN の TCP / IP の設定を行います。</p>  <ul style="list-style-type: none"> • [DHCP] が [入] の場合は本メニューはグレーアウトされ、設定不可となります。 • 無効な値を入力した場合は、「入力が正しくありません。」と表示されます。その場合は、正しい値を入力し直してください。 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="577 1387 1196 1651">  <p>TCP/IP設定(無線)</p> <p>ネットワークアドレスを入力してください。</p> <table border="1"> <tr> <td>IPアドレス</td> <td>192 . 168 . 253 . 254</td> </tr> <tr> <td>サブネットマスク</td> <td>255 . 255 . 255 . 0</td> </tr> <tr> <td>ゲートウェイアドレス</td> <td>0 . 0 . 0 . 0</td> </tr> <tr> <td>確定</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">キャンセル</td> </tr> </table> </td> </tr> </table>	TCP/IP 設定	<p>本機の無線 LAN の TCP / IP の設定を行います。</p>  <ul style="list-style-type: none"> • [DHCP] が [入] の場合は本メニューはグレーアウトされ、設定不可となります。 • 無効な値を入力した場合は、「入力が正しくありません。」と表示されます。その場合は、正しい値を入力し直してください。 	 <p>TCP/IP設定(無線)</p> <p>ネットワークアドレスを入力してください。</p> <table border="1"> <tr> <td>IPアドレス</td> <td>192 . 168 . 253 . 254</td> </tr> <tr> <td>サブネットマスク</td> <td>255 . 255 . 255 . 0</td> </tr> <tr> <td>ゲートウェイアドレス</td> <td>0 . 0 . 0 . 0</td> </tr> <tr> <td>確定</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">キャンセル</td> </tr> </table>	IPアドレス	192 . 168 . 253 . 254	サブネットマスク	255 . 255 . 255 . 0	ゲートウェイアドレス	0 . 0 . 0 . 0	確定		キャンセル	
TCP/IP 設定		<p>本機の無線 LAN の TCP / IP の設定を行います。</p>  <ul style="list-style-type: none"> • [DHCP] が [入] の場合は本メニューはグレーアウトされ、設定不可となります。 • 無効な値を入力した場合は、「入力が正しくありません。」と表示されます。その場合は、正しい値を入力し直してください。 											
	 <p>TCP/IP設定(無線)</p> <p>ネットワークアドレスを入力してください。</p> <table border="1"> <tr> <td>IPアドレス</td> <td>192 . 168 . 253 . 254</td> </tr> <tr> <td>サブネットマスク</td> <td>255 . 255 . 255 . 0</td> </tr> <tr> <td>ゲートウェイアドレス</td> <td>0 . 0 . 0 . 0</td> </tr> <tr> <td>確定</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">キャンセル</td> </tr> </table>	IPアドレス	192 . 168 . 253 . 254	サブネットマスク	255 . 255 . 255 . 0	ゲートウェイアドレス	0 . 0 . 0 . 0	確定		キャンセル			
IPアドレス	192 . 168 . 253 . 254												
サブネットマスク	255 . 255 . 255 . 0												
ゲートウェイアドレス	0 . 0 . 0 . 0												
確定													
キャンセル													

メニュー	機能												
IPv6	<table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="404 208 578 247">選択</th> <th data-bbox="578 208 1199 247">機能</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="404 247 578 285">切</td> <td data-bbox="578 247 1199 285">本機の無線 LAN (IPv6) 機能を無効にします。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="404 285 578 363">入</td> <td data-bbox="578 285 1199 363">本機の無線 LAN (IPv6) 機能を有効にします。 [IPv6 アドレス詳細設定] が選択可能になります。</td> </tr> </tbody> </table> <p data-bbox="418 386 1199 492">  PJAP モード (P121) で接続した場合、IPv6 には対応していません。[IPv6] メニューと [IPv6 アドレス詳細設定] メニューはグレースアウトになります。 </p>	選択	機能	切	本機の無線 LAN (IPv6) 機能を無効にします。	入	本機の無線 LAN (IPv6) 機能を有効にします。 [IPv6 アドレス詳細設定] が選択可能になります。						
	選択	機能											
切	本機の無線 LAN (IPv6) 機能を無効にします。												
入	本機の無線 LAN (IPv6) 機能を有効にします。 [IPv6 アドレス詳細設定] が選択可能になります。												
IPv6 アドレス 詳細設定	<p data-bbox="404 521 1022 550">本機の無線 LAN (IPv6) 機能の詳細を設定します。</p>  <p data-bbox="404 994 1199 1362"> <table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="404 994 578 1033">サブメニュー</th> <th data-bbox="578 994 1199 1033">機能</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="404 1033 578 1110">リンクローカル</td> <td data-bbox="578 1033 1199 1110">無線 LAN の IPv6 リンクローカルアドレスを表示します。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="404 1110 578 1188">自動</td> <td data-bbox="578 1110 1199 1188">無線 LAN の IPv6 の自動アドレス (最大 5 つ) を表示します。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="404 1188 578 1226">手動</td> <td data-bbox="578 1188 1199 1226">無線 LAN の IPv6 の手動アドレスを表示します。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="404 1226 578 1304">ゲートウェイ</td> <td data-bbox="578 1226 1199 1304">無線 LAN の IPv6 のゲートウェイアドレスを表示します。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="404 1304 578 1362">自動設定</td> <td data-bbox="578 1304 1199 1362">無線 LAN の IPv6 の自動アドレス設定を有効 / 無効にします。</td> </tr> </tbody> </table> </p>	サブメニュー	機能	リンクローカル	無線 LAN の IPv6 リンクローカルアドレスを表示します。	自動	無線 LAN の IPv6 の自動アドレス (最大 5 つ) を表示します。	手動	無線 LAN の IPv6 の手動アドレスを表示します。	ゲートウェイ	無線 LAN の IPv6 のゲートウェイアドレスを表示します。	自動設定	無線 LAN の IPv6 の自動アドレス設定を有効 / 無効にします。
サブメニュー	機能												
リンクローカル	無線 LAN の IPv6 リンクローカルアドレスを表示します。												
自動	無線 LAN の IPv6 の自動アドレス (最大 5 つ) を表示します。												
手動	無線 LAN の IPv6 の手動アドレスを表示します。												
ゲートウェイ	無線 LAN の IPv6 のゲートウェイアドレスを表示します。												
自動設定	無線 LAN の IPv6 の自動アドレス設定を有効 / 無効にします。												

メニュー	機能	
IPv6 アドレス 詳細設定	サブメニュー	機能
	手動設定	<p>無線 LAN の IPv6 を手動設定します。IPv6 アドレス、プレフィックス長、ゲートウェイアドレスの変更、設定を行います。</p>  <p> 無効な値を入力した場合は、「入力が正しくありません。」と表示されます。その場合は、正しい値を入力し直してください。</p>

メニュー	機能
ネットワーク 設定初期化	<p>ネットワークに関する以下の項目を初期化します。</p> <p>本機のメニューから設定する項目</p> <ul style="list-style-type: none"> • スタンバイ電力設定 (P109) • ネットワーク設定変更 (P125) • ネットワークパスワード設定 (P125) • ネットワークパスワード登録 (P125) • ネットワーク (有線 / 無線) (P126) • 詳細設定 (無線) (P131) の以下の項目 <ul style="list-style-type: none"> • IPv4 アドレス詳細設定 (P133) <ul style="list-style-type: none"> • DHCP (無線 LAN (IPv4)) (P133) • TCP/IP 設定 (P133) <ul style="list-style-type: none"> • IP アドレス (無線 LAN (IPv4)) (P133) • サブネットマスク (無線 LAN (IPv4)) (P133) • ゲートウェイアドレス (無線 LAN (IPv4)) (P133) • IPv6 (P134) • IPv6 アドレス詳細設定 (P134) <ul style="list-style-type: none"> • 自動設定 (P134) • 手動設定 (P135) <ul style="list-style-type: none"> • IP アドレス (無線 LAN (IPv6)) (P135) • プレフィックス長 (P135) • ゲートウェイアドレス (無線 LAN (IPv6)) (P135) <p>Web 画面から設定する項目</p> <ul style="list-style-type: none"> • [Password] (P149) • [Wireless] (P158) の以下の項目 <ul style="list-style-type: none"> • IPv4 に関する以下の項目 <ul style="list-style-type: none"> • DHCP (P158) • IP address (P158) • Subnet mask (P158) • Default gateway (P158) • IPv6 に関する以下の項目 <ul style="list-style-type: none"> • IPv6 (P159) • Autoconfiguration (P159) <ul style="list-style-type: none"> • IP address (P159) • Prefix length (P159) • Default gateway (P159) • [Mail] (P160) • [Projector info.] (P164)

PJLink

 > [ネットワーク設定] > [PJLink]

プロジェクターのPJLink機能の無効、有効を切り換えます。

[入] にすると、ネットワーク経由でPJLink規格に沿ったコマンドによる制御が行えます。

選択	機能
切	PJLink 機能を無効にします。
入	PJLink 機能を有効にします。



- このプロジェクターは JBMIA (Japan Business Machine and Information System Industries Association : 社団法人ビジネス機械・情報システム産業協会) の PJLink 標準定義の Class 1 に準拠しています。このプロジェクターは、PJLink Class 1 によって定義されたすべてのコマンドをサポートして、PJLink 標準定義 Class 1 との適合を検証しています。
- PJLink の利用については「PJLink を設定する [PJLink]」(P164) を参照してください。

PJLink とは

2003 年 9 月、データプロジェクター部会の中に、PJLink 分科会が設立されました。この PJLink 分科会の第 1 期の活動において、プロジェクターの新たなインターフェース仕様として PJLink が規定されました。

PJLink はプロジェクターを操作・管理するための統一規格です。

メーカーを問わずに、プロジェクターの集中管理やコントローラーからの操作を実現します。今後主流となるネットワーク経由のプロジェクター監視・制御において、早期の体系化を JBMIA による推進で実現し、ユーザーの利便性をあげ、プロジェクターの普及促進を図ることを目的としています。

Class 1 : プロジェクターの基本機能の制御・監視仕様を標準化

- 基本的なプロジェクター制御 : 電源制御、入力切り換えなど
- プロジェクターの各種情報・状態を取得 : 電源状態、入力切り換え状態、エラー状態など

JBMIA : 社団法人ビジネス機械・情報システム産業協会

1960 年に発足した日本事務機械工業会が、2002 年 4 月 1 日より改称した団体です。

PJLink サイト URL <http://pjlink.jbmia.or.jp>

PJLinkTM

PJLink は JBMIA の登録商標です。

PJLink 商標は、日本、米国その他の国や地域における登録または出願商標です。

AMX Device Discovery

 > [ネットワーク設定] > [AMX Device Discovery]

ネットワーク環境で、AMXのAMX Device Discovery対応機器による検出をするときに設定します。ネットワーク環境にAMX Device Discoveryがないときは、[切]を選びます。

選択	機能
切	AMX Device Discovery を無効にします。
入	AMX Device Discovery を有効にします。ネットワーク経由で定期的に AMX ビーコンパケットがプロジェクターから発行されます。



- AMX Device Discovery の詳細については AMX の Web ページを参照してください。
<http://www.amx.com>

Crestron RoomView

 > [ネットワーク設定] > [Crestron RoomView]

Crestron 社の Crestron RoomView とは、ネットワークに接続している複数のプロジェクターを遠隔から操作してシステムの診断や電源 ON / OFF などを、一括管理できるシステムです。Crestron RoomView を使用するかどうかを設定します。

選択	機能
切	Crestron RoomView を使用しません。
入	Crestron RoomView を使用します。RoomView 用ポートが開き、CIP パケット応答を行います。これにより RoomView Express / Server アプリケーション、または Crestron Controller 経由での通信が可能になります。(P165)



- Crestron RoomView の詳細については、Crestron® 社の Web ページを参照してください。
<http://www.crestron.com>

インフォメーション

 > [ネットワーク設定] > [インフォメーション]

ネットワーク関連の情報を表示します。

メニュー		情報	
メール送信元アドレス		エラーメールの送信元メールアドレスです。(P161)	
メール送信先アドレス		エラーメールの送信先メールアドレスが設定されているかを、「未設定」または「設定済み」で表示します。(P160)	
詳細情報 (有線)	IPv4	有線 LAN (IPv4) の IP アドレスです。	
	IPv6	リンクローカル	有線 LAN (IPv6) のリンクローカル IP アドレスです。
		自動	有線 LAN (IPv6) の自動 IP アドレスです。
		手動	有線 LAN (IPv6) の手動 IP アドレスです。
詳細情報 (無線)	IPv4	無線 LAN (IPv4) の IP アドレスです。	
	IPv6	リンクローカル	無線 LAN (IPv6) のリンクローカル IP アドレスです。
		自動	無線 LAN (IPv6) の自動 IP アドレスです。
		手動	無線 LAN (IPv6) の手動 IP アドレスです。



- 詳細情報（有線）メニューの情報は、[ネットワーク（有線 / 無線）] の設定が [入 / *] のときに表示されます。
- 詳細情報（無線）メニューの情報は、[ネットワーク（有線 / 無線）] の設定が [* / 入] のときに表示されます。

インフォメーション

投写中の映像の信号形式や、本機固有の情報を確認できます。



メニュー	インフォメーション情報
モデル名	機種名が表示されます。
入力信号	選択中の入力信号の詳細です。「信号種別」「信号解像度」「周波数」「カラーフォーマット」などの情報が表示されます。
ファームウェアバージョン	現在のファームウェアのバージョンです。
シリアル No.	本機固有のシリアルナンバーです。
プロジェクター使用時間	総点灯時間を表示します。
IP アドレス (有線) * ¹	有線でネットワーク接続しているときの IP アドレスです。
IP アドレス (無線) * ¹	無線でネットワーク接続しているときの IP アドレスです。
プロジェクター名 * ¹ 、* ²	ネットワーク上での本機の識別名です。
コメント * ¹ 、* ²	本機の設置場所などのコメントが表示されます。(P164)
システム情報 ID	システムの情報です。通常は表示されません。

*¹ ネットワーク (有線 / 無線) が [切 / 切] のときはインフォメーション情報は表示されません。

*² ネットワーク機能が「切」のときはインフォメーション情報は表示されません。

情報の表示、非表示について

有線 LAN、無線 LAN の機能が「入」の設定と「切」の設定によってインフォメーション情報が表示されない場合があります。(○表示、×非表示)

ネットワーク (有線 / 無線)	切 / 切	入 / 切	入 / 入 (Pj AP)	切 / 入 (Pj AP)	切 / 入 (Infra)
IP アドレス (有線)	×	○	○	×	×
IP アドレス (無線)	×	×	○	○	○
プロジェクター名	×	○	○	○	○
コメント	×	○	○	○	○

ネットワーク接続時のコンピューター設定

IPアドレスを設定する

コンピューターのIPアドレス（有線または無線）を設定する方法をOSごとに説明します。

■ Windows 10 の場合

- 1 画面左下のスタートボタン（Windows ロゴ）を右クリックします。
 - デスクトップモード（デスクトップ画面）で操作する場合
キーボードの [Windows ロゴ] キーと [X] キーを同時に押しても、同じ操作になります。
- 2 画面左下に表示されるショートカットメニューから [コントロールパネル] をクリックします。
- 3 [ネットワークの状態とタスクの表示] をクリックします。
 - アイコン表示の場合
[ネットワークと共有センター] をクリックします。
- 4 [アダプターの設定の変更] をクリックします。
- 5 有線LANの場合は [イーサネット]、無線LANの場合は [Wi-Fi] を右クリックし、[プロパティ] をクリックします。
- 6 「この接続は次の項目を使用します」の一覧から [インターネットプロトコルバージョン4 (TCP/IPv4)] を選んで [プロパティ] ボタンをクリックし、変更する前のネットワーク設定（IPアドレスやサブネットマスク、デフォルトゲートウェイなど）をメモしておきます。
- 7 [次のIPアドレスを使う] を選択し、IPアドレスとサブネットマスクを設定します。プロジェクターの工場出荷時の IP アドレス（有線）は「192.168.254.254」、IP アドレス（無線）は「192.168.253.254」なので、これと重複しないよう設定してください。
- 8 設定が終わったら [OK] ボタンをクリックし、[イーサネットのプロパティ] 画面の [閉じる] ボタンをクリックして閉じます。

■ Windows 8.1 の場合

- 1 スタート画面左下の下向き矢印をクリックします。
- 2 [コントロールパネル] をクリックします。
 - デスクトップ画面から操作する場合
キーボードの [Windows ロゴ] キーと [X] キーを同時に押します。
画面左下に表示されるショートカットメニューから [コントロールパネル] をクリックします。

- 3** [ネットワークの状態とタスクの表示] をクリックします。
 - アイコン表示の場合
 - [ネットワークと共有センター] をクリックします。
- 4** [アダプターの設定の変更] をクリックします。
- 5** 有線LANの場合は [イーサネット]、無線LANの場合は [Wi-Fi] を右クリックし、[プロパティ] をクリックします。
- 6** 「この接続は次の項目を使用します」の一覧から [インターネットプロトコルバージョン 4 (TCP/IPv4)] を選んで [プロパティ] ボタンをクリックし、変更する前のネットワーク設定 (IPアドレスやサブネットマスク、デフォルトゲートウェイ等) をメモしておきます。
- 7** [次のIPアドレスを使う] を選択し、IPアドレスとサブネットマスクを設定します。プロジェクターの工場出荷時の IP アドレス (有線) は「192.168.254.254」、IP アドレス (無線) は「192.168.253.254」なので、これと重複しないよう設定してください。
- 8** 設定が終わったら [OK] ボタンをクリックし、[イーサネットのプロパティ] 画面の [閉じる] ボタンをクリックして閉じます。

■ Windows 7 の場合

- 1** コンピューターの [スタート] メニューで [コントロールパネル] を開きます。
- 2** [ネットワークとインターネット] をクリックし、[ネットワークの状態とタスクの表示] をクリックします。
- 3** ウィンドウの左側のメニューにある [アダプターの設定の変更] をクリックします。
- 4** 有線LANの場合は [ローカル エリア接続]、無線LANの場合は [ワイヤレス ネットワーク接続] を右クリックして [プロパティ] を開きます。
- 5** [インターネット プロトコル バージョン 4 (TCP/IPv4)] を選んで [プロパティ] ボタンをクリックし、変更する前のネットワーク設定 (IP アドレスやサブネットマスク、デフォルトゲートウェイ等) をメモしておきます。
- 6** [次のIPアドレスを使う] を選択し、IPアドレスとサブネットマスクを設定します。プロジェクターの工場出荷時の IP アドレス (有線) は「192.168.254.254」、IP アドレス (無線) は「192.168.253.254」なので、これと重複しないよう設定してください。
- 7** 設定が終わったら [OK] ボタンをクリックし、[ローカル エリア接続] のプロパティ画面の [閉じる] ボタンをクリックして閉じます。

■ Mac OS X の場合

- 1** アップルメニューを開き、[システム環境設定] を選びます。
- 2** システム環境設定ウィンドウの [ネットワーク] をクリックし、ネットワーク画面を表示します。
- 3** 有線LANの場合は [内蔵 Ethernet]、無線LANの場合は [Wi-Fi] を選び、[TCP/IP] タブをクリックして、表示される変更前のネットワーク設定（IP アドレスやサブネットマスク、ルーター、DNS サーバーなど）をメモします。
- 4** 新しいネットワーク環境を作成し、IP アドレスとサブネットマスクを設定します。プロジェクターの工場出荷時の IP アドレス（有線）は「192.168.254.254」、IP アドレス（無線）は「192.168.253.254」なので、これと重複しないよう設定してください。
- 5** [適用] をクリックして、ネットワーク画面を閉じます。

■ コンピューターの IP アドレスの設定を戻すとき

変更時と同じ手順で、メモしておいた内容に従って変更前の値を設定してください。

ネットワークを設定する

ここでは、4K600STZの画面で説明します。

■ ネットワーク設定画面の表示

1 コンピューターとプロジェクターの電源を入れます。

 プロジェクターの電源を入れた後、約 40 秒間はネットワーク機能が使えません。

2 Web ブラウザを起動し、アドレスに「http:// (プロジェクターの IP アドレス)」を入力して [Enter] キーを押します。

プロジェクターの Web 画面が表示されます。

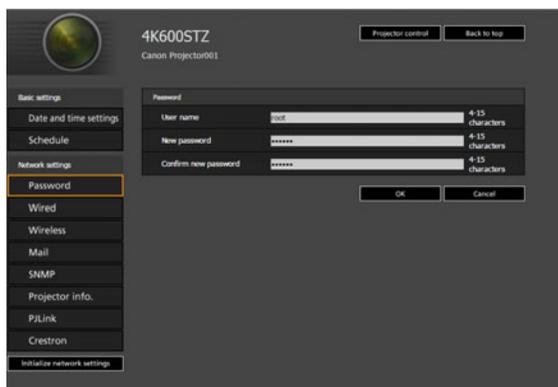


表示される情報は次の通りです。

Projector control	プロジェクターコントロール画面を表示します。
Settings	セッティング画面を表示します。
Projector name	ネットワーク上でのプロジェクター名
Comment	プロジェクターの設置場所などのコメント
MAC address (Wired)	有線 LAN 側の MAC アドレス
IP address (Wired)	有線 LAN (IPv4) の IP アドレス
MAC address (Wireless)	無線 LAN 側の MAC アドレス
IP address (Wireless)	無線 LAN (IPv4) の IP アドレス
Power status	プロジェクターの電源状態
Filter time	エアフィルターの使用時間
Alert	エラーメッセージ (エラーが発生した場合) Temperature abnormality : 温度エラー Faulty light : 光源エラー Faulty cooling fan : ファンエラー Faulty power supply : 電源エラー Faulty air filter unit : エアフィルターエラー

 工場出荷時の有線 LAN (IPv4) の IP アドレスは「192.168.254.254」、無線 LAN (IPv4) の IP アドレスは「192.168.253.254」です。DHCP 設定の場合はネットワーク管理者にプロジェクターの IP アドレスをお問い合わせください。プロジェクターのメニューから、IP アドレスを確認することができます。(P127、P133)

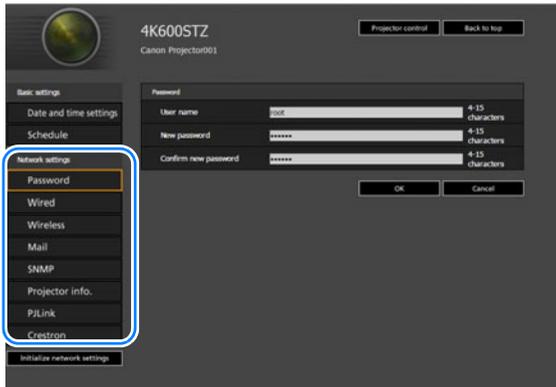
- 3** Web 画面の [Settings] をクリックします。
パスワードの入力画面が表示されます。
- 4** パスワード入力画面にユーザー名とパスワードを入力し、[OK] をクリックします。
工場出荷時のユーザー名は「root」、パスワードは「system」です。
セッティング画面が表示されます。この画面でネットワークの設定を行います。



コンピューターからプロジェクターを制御する場合は [Projector control] をクリックします。(P169)

■ ネットワークの設定

1 セッティング画面のメニューから、設定したい機能を選択します。



2 表示された各欄に設定内容を入力し ①)、[OK] をクリックします ②)。



3 確認画面が表示されるので内容を確認し、問題がなければ [Apply] をクリックします。



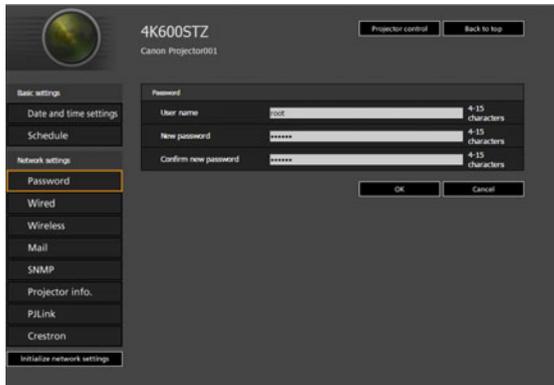
設定内容がプロジェクターに反映されます。

メニューで「Wired」や「Wireless」、[Password] を選択していた場合、「Save completed. Please change setting and reconnect.」と表示されます。それ以外の機能を選択している場合は、「Save completed」と表示されます。[Back to top] をクリックし、Web 画面のトップ画面に戻ります。



パスワードの設定 [Password]

セッティング画面の [Password] では、Web画面にログインする際のユーザー名やパスワードの設定をします。設定の手順については「ネットワークの設定」(P147) を参照してください。



項目	説明	工場出荷時の設定
User name	Web画面にログインする際のユーザー名を半角の英数字・記号(4～15文字)で入力します。	root
New password	Web画面にログインする際のパスワードを半角の英数字・記号(4～15文字)で入力します。	system
Confirm new password	確認のため、[New password]と同じパスワードを入力します。	system



工場出荷時のパスワードは変更することを推奨します。

日付・時刻の設定 [Date and time settings]

セッティング画面の [Date and time settings] では、現在の日付と時刻や、その表示形式、タイムゾーン、サマータイムなどの設定をします。設定の手順については「ネットワークの設定」(P147) を参照してください。

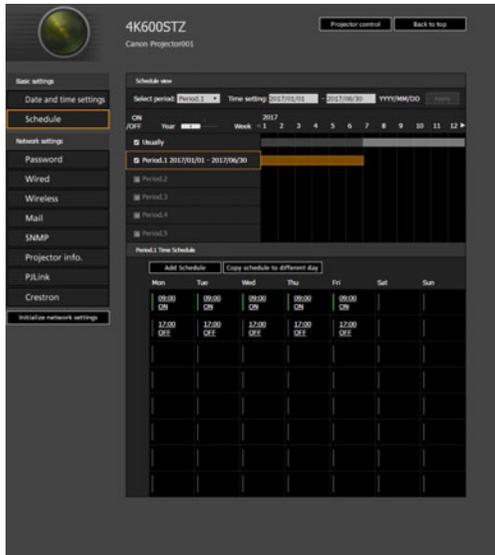


	項目	説明	工場出荷時の設定
Date and time	Day	日付を半角数字で入力します。	2017/01/01
	Indication order	日付の表示形式を [YYYY/MM/DD]、[MM/DD/YYYY]、[DD/MM/YYYY] から選びます。	YYYY/MM/DD
	Time	時刻を半角数字 (00:00:00 ~ 23:59:59) で入力します。	00:00:00
	Time zone	タイムゾーンの地域名を選択します。	(GMT) Dublin, Lisbon, London
	SNTP	SNTP (Simple Network Time Protocol) 機能の ON / OFF を選択します。ON (IPv4) の場合、以下の項目は設定不可となります。 [Day] [Time] [IPv6 SNTP server IP address] ON (IPv6) の場合、以下の項目は設定不可となります。 [Day] [Time] [IPv4 SNTP server IP address]	OFF

項目		説明	工場出荷時の設定
Date and time	IPv4 SNTP server IP address	IPv4 用の SNTP サーバーの IP アドレスを半角数字で入力します。	0.0.0.0
	IPv6 SNTP server IP address	IPv6 用の SNTP サーバーの IP アドレスを半角数字で入力します。	<空欄>
Summer time	ON / OFF	サマータイム機能（サマータイム開始時に時計を 1 時間進め、サマータイム終了時に時計を 1 時間戻す）の ON / OFF を選択します。OFF の場合、以下の項目は設定不可となります。 [Start point Month] [Start point Week] [Start point Day] [Start point Time] [Finish point Month] [Finish point Week] [Finish point Day] [Finish point Time]	OFF
	Start point Month	サマータイムの開始月を選択します。	1
	Start point Week	サマータイムの開始週を選択します。	1
	Start point Day	サマータイムの開始曜日を選択します。	Mon
	Start point Time	サマータイムの開始時刻を半角数字（00:00 ～ 23:59）で入力します。	00:00
	Finish point Month	サマータイムの終了月を選択します。	1
	Finish point Week	サマータイムの終了週を選択します。	1
	Finish point Day	サマータイムの終了曜日を選択します。	Mon
Finish point Time	サマータイムの終了時刻を半角数字（00:00 ～ 23:59）で入力します。	00:00	

スケジュールの設定 [Schedule]

セッティング画面の [Schedule] では、本機を自動的に動作させるためのスケジュールの設定をします。スケジュールは、対象期間を限定しない通常スケジュール (Usually) と、対象期間を限定した5つの特定期間スケジュール (Period.1 ~ Period.5) を選択できます。設定の手順については「ネットワークの設定」(P147) を参照してください。



	項目	説明	工場出荷時の設定
Schedule view	Select period	設定する特定期間スケジュールを選択します。	Period.1
	Time setting	特定期間スケジュールの開始日付 (左側の入力ボックス) と終了日付 (右側の入力ボックス) を半角数字で入力します。 特定期間スケジュールの日付を互いに重複して設定することはできません。	2017/01/01
	Usually	通常のスケジュールを表示し、スケジュールの ON / OFF をチェックボックスで選択します。	チェックなし (OFF)
	Period.1	特定期間 1 のスケジュールを年月日単位で表示し、スケジュールの ON / OFF をチェックボックスで選択します。	チェックなし (OFF)
	Period.2	特定期間 2 のスケジュールを年月日単位で表示し、スケジュールの ON / OFF をチェックボックスで選択します。	チェックなし (OFF)

	項目	説明	工場出荷時の設定
Schedule view	Period.3	特定期間 3 のスケジュールを年月日単位で表示し、スケジュールの ON / OFF をチェックボックスで選択します。	チェックなし (OFF)
	Period.4	特定期間 4 のスケジュールを年月日単位で表示し、スケジュールの ON / OFF をチェックボックスで選択します。	チェックなし (OFF)
	Period.5	特定期間 5 のスケジュールを年月日単位で表示し、スケジュールの ON / OFF をチェックボックスで選択します。	チェックなし (OFF)
Time Schedule		[Schedule view] で選択した通常 / 特定期間スケジュールについて、該当期間のスケジュールを曜日・時刻単位で表示します。緑の縦線は電源 ON、灰色の縦線は電源 OFF を示し、水色の縦線は入力信号の切り換えを示し、紫色の縦線はキャリブレーションを示します。各曜日のスケジュールは 8 つまで登録できます。	<空欄>

[Time Schedule] の各項目をクリックすると、Edit schedule画面が表示され、選択した曜日・時刻のスケジュールを編集することができます。



ネットワーク上のプロジェクターを使用する

	項目	説明	工場出荷時の設定
Edit schedule	Day	選択したスケジュールの曜日を表示します。	—
	Time	自動実行する時刻を半角数字 (00:00 ~ 23:59) で入力します。	<空欄>
	Operation	自動実行する操作を Power / Input / Calibration から選択します。	Power
	Parameter	自動実行する操作のパラメータを、以下から選択します。 <ul style="list-style-type: none"> • [Operation] が Power の場合 ON / OFF • [Operation] が Input の場合 DVI-1 / DVI-2 / DVI-3 / DVI-4 / HDMI-1 / HDMI-2 / DVI 1x4 / DVI 2x2 / DVI 1x2 / HDMI 1x2 • [Operation] が Calibration の場合 LIGHT 	ON

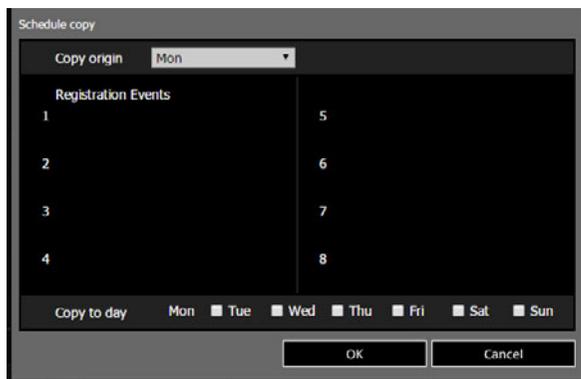
[Time Schedule] で [Add schedule] をクリックすると、Add schedule画面が表示され、選択している通常 / 特定期間スケジュールについて、新たなスケジュールを追加することができます。

The screenshot shows the 'Add schedule' dialog box with the following settings:

- Day: All days (Mon-Sun) are selected with checkboxes.
- Time: An empty text field followed by 'hh:mm'.
- Operation: A dropdown menu with 'Power' selected.
- Parameter: A dropdown menu with 'ON' selected.
- Buttons: 'OK' and 'Cancel' buttons are located at the bottom right.

項目		説明	工場出荷時の設定
Add schedule	Day	自動実行する曜日を選択します。チェックボックスは、複数の選択ができます。	チェックなし
	Time	自動実行する時刻を半角数字 (00:00 ~ 23:59) で入力します。	<空欄>
	Operation	自動実行する操作を Power / Input / Calibration から選択します。	Power
	Parameter	自動実行する操作のパラメータを、以下から選択します。 <ul style="list-style-type: none"> • [Operation] が Power の場合 ON / OFF • [Operation] が Input の場合 DVI-1 / DVI-2 / DVI-3 / DVI-4 / HDMI-1 / HDMI-2 / DVI 1x4 / DVI 2x2 / DVI 1x2 / HDMI 1x2 • [Operation] が Calibration の場合 LIGHT 	ON

[Time Schedule] で [Copy schedule to different day] をクリックすると、Schedule copy 画面が表示され、選択している通常 / 特定期間スケジュールについて、任意の曜日スケジュールを他の曜日にコピーすることができます。



ネットワーク上のプロジェクターを使用する

	項目	説明	工場出荷時の設定
Schedule copy	Copy origin	コピー元の曜日を選択します。	Mon
	Registration Events	選択した曜日のスケジュール内容を表示します。	<空欄>
	Copy to day	コピー先の曜日を選択します。チェックボックスは、複数の選択ができます。	チェックなし

有線LAN基本情報の設定【Wired】

セッティング画面の[Wired]では、有線LANの基本情報についての設定をします。設定の手順については「ネットワークの設定」(P147)を参照してください。



項目	説明	工場出荷時の設定
MAC address	プロジェクターの有線LAN側のMACアドレスを表示します。	プロジェクターの有線LAN側のMACアドレス

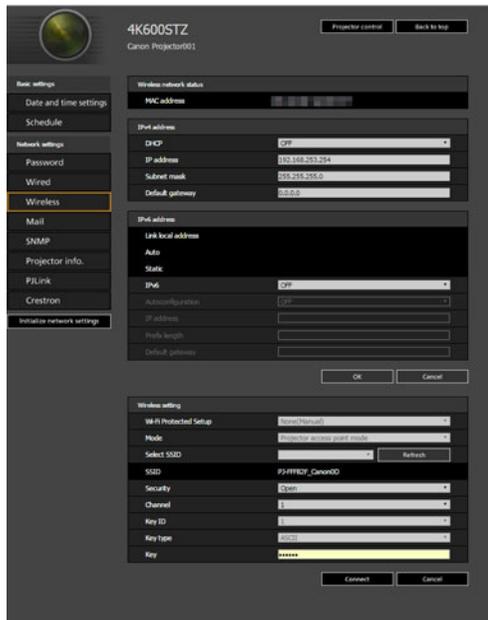
	項目	説明	工場出荷時の設定
IPv4 address	DHCP	有線 LAN (IPv4) の DHCP 機能の ON / OFF を選択します。ON の場合、IP アドレスは DHCP サーバーから取得されるため、以下の項目は設定不可となります。 [IP address] [Subnet mask] [Default gateway]	OFF
	IP address	プロジェクターの有線 LAN (IPv4) の IP アドレスを半角数字で入力します。	192.168.254.254
	Subnet mask	有線 LAN (IPv4) のサブネットマスクを半角数字で入力します。	255.255.255.0
	Default gateway	有線 LAN (IPv4) のデフォルトゲートウェイアドレスを半角数字で入力します。	0.0.0.0
IPv6 address	IPv6	有線 LAN (IPv6) の IPv6 機能の ON / OFF を設定します。OFF の場合、以下の項目は設定不可となります。 [Autoconfiguration] [IP address] [Prefix length] [Default gateway]	OFF
	Autoconfiguration	有線 LAN (IPv6) の自動設定機能の ON / OFF を選択します。ON の場合、以下の項目は設定不可となります。 [IP address] [Prefix length] [Default gateway]	ON
	IP address	有線 LAN (IPv6) アドレスを半角数字で入力します。	<空欄>
	Prefix length	有線 LAN (IPv6) のプレフィックス長を半角数字で入力します。	<空欄>
	Default gateway	有線 LAN (IPv6) のデフォルトゲートウェイアドレスを半角数字で入力します。	<空欄>



TCP / IP に関する設定を変更した場合は、ネットワークに接続し直す必要があります。ネットワークのサブネットマスクを変更した場合は、上記の画面で [Subnet mask] を選び、新しいサブネットマスクを設定してください。

無線 LAN 基本情報の設定 [Wireless]

セッティング画面の [Wireless] では、無線 LAN の基本情報についての設定をします。設定の手順については「ネットワークの設定」(P147) を参照してください。



項目		説明	工場出荷時の設定
MAC address		プロジェクターの無線 LAN 側の MAC アドレスを表示します。	プロジェクターの無線 LAN 側の MAC アドレス
IPv4 address	DHCP	無線 LAN (IPv4) の DHCP 機能の ON / OFF を選択します。ON の場合、IP アドレスは DHCP サーバーから取得されるため、以下の項目は設定不可となります。 [IP address] [Subnet mask] [Default gateway]	OFF
	IP address	プロジェクターの無線 LAN (IPv4) アドレスを半角数字で入力します。	192.168.253.254
	Subnet mask	無線 LAN (IPv4) のサブネットマスクを半角数字で入力します。	255.255.255.0
	Default gateway	無線 LAN (IPv4) のデフォルトゲートウェイアドレスを半角数字で入力します。	0.0.0.0

項目		説明	工場出荷時の設定
IPv6 address	IPv6	無線 LAN (IPv6) 機能の ON / OFF を設定します。OFF の場合、以下の項目は設定不可となります。 [Autoconfiguration] [IP address] [Prefix length] [Default gateway]	OFF
	Autoconfiguration	無線 LAN (IPv6) の自動設定機能の ON / OFF を選択します。ON の場合、以下の項目は設定不可となります。 [IP address] [Prefix length] [Default gateway]	ON
	IP address	無線 LAN (IPv6) の IP アドレスを半角数字で入力します。	<空欄>
	Prefix length	無線 LAN (IPv6) のプレフィックス長を半角数字で入力します。	<空欄>
	Default gateway	無線 LAN (IPv6) のデフォルトゲートウェイアドレスを半角数字で入力します。	<空欄>
Wireless setting	Wi-Fi Protected Setup	無線 LAN 簡単接続方法を選択します。	None (Manual)
	Mode	無線 LAN の接続モードを選択します。	infrastructure mode
	Select SSID	無線 LAN のアクセスポイントの SSID を選択します。[Refresh] ボタンをクリックすると、リストが更新されます。リストに SSID が表示されない場合は、半角の英数字 (1 ~ 32 文字) で入力します。	<空欄>
	Security	無線 LAN のセキュリティ設定を選択します。	Open
	Channel	無線 LAN のチャンネル数を表示します。[Mode] が Projector access point mode の場合は、チャンネルを選択できます。	1
	Key ID	無線 LAN の WEP キー ID を選択します。	1

ネットワーク上のプロジェクターを使用する

項目		説明	工場出荷時の設定
Wireless setting	Key type	無線 LAN のセキュリティキーの入力タイプを選択します。	ASCII
	Key	無線 LAN のセキュリティキーを入力します。	<空欄>



- TCP / IPに関する設定を変更した場合は、ネットワークに接続し直す必要があります。ネットワークのサブネットマスクを変更した場合は、上記の画面で [Subnet mask] を選び、新しいサブネットマスクを設定してください。
- PJAP モード (P121) で接続した場合、IPv6 には対応していません。[IPv6 address] はグレーアウトになります。

メールを設定する [Mail]

セッティング画面の [Mail] では、エラーメール送信およびテストメール送信を行う PJAP モード (P121) で接続した場合、IPv6 には対応していません。[IPv6 address] 項目はグレーアウトになります。ために必要な項目を設定します。設定の手順については「ネットワークの設定」(P147) を参照してください。

項目	説明	工場出荷時の設定
Error report	エラーメール送信機能の ON / OFF と、使用するネットワーク IPv4 / IPv6 を選択します。	OFF
To:	エラーメールの送信先メールアドレスを半角の英数字・記号 (1 ~ 63 文字) で入力します。	MailUserAccount

項目	説明	工場出荷時の設定
Cc:	エラーメールの Cc 送信先メールアドレスを半角の英数字・記号（1～63文字）で入力します。	< 空欄 >
From:	エラーメールの送信元メールアドレスを半角の英数字・記号（1～63文字）で入力します。	Projector@canon.co.jp
IPv4 SMTP server IP address	IPv4 用の SMTP サーバーの IP アドレスを半角数字で入力します。	0.0.0.0
IPv4 SMTP server port number	IPv4 用の SMTP サーバーのポート番号を半角数字（1～65535）で入力します。	25
IPv6 SMTP server IP address	IPv6 用の SMTP サーバーの IP アドレスを半角数字で入力します。	< 空欄 >
IPv6 SMTP server port number	IPv6 用の SMTP サーバーのポート番号を半角数字（1～65535）で入力します。	25
Mail resend interval*	エラーメール再送間隔（秒単位）を 0～59 秒の範囲で半角数字で入力します。	10
Mail resend times	エラーメール再送回数を 0～255 回の範囲で半角数字で入力します。	3

* 0秒を設定した場合、待機時間なしで指定されたエラーメール再送回数の再送を繰り返します。

メール認証を設定する

Mail 画面の [Mail auth] では、エラーが発生したときに送信されるメールの認証について設定します。設定の手順については「ネットワークの設定」(P147) を参照してください。

項目	説明	工場出荷時の設定
Mail authentication	メール認証方式を選択します。OFF の場合は、メール認証の他の項目は変更できません。	OFF
User name	メール認証を行うためのユーザー名を半角英数字・記号（1～63文字）で入力します。	< 空欄 >

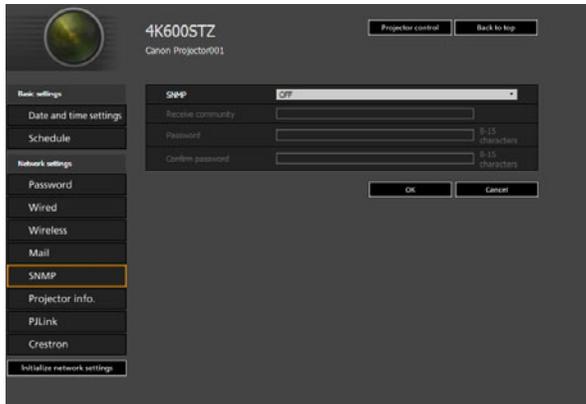
項目	説明	工場出荷時の設定
Password	メール認証を行うためのパスワードを半角英数字・記号（1～63文字）で入力します。	<空欄>
Confirm password	確認のため [Password] と同じパスワードを入力します。	<空欄>
IPv4 POP3 server IP address	IPv4 用の POP3 サーバーの IP アドレスを半角数字で入力します。	0.0.0.0
IPv4 POP3 server port number	IPv4 用の POP3 サーバーのポート番号を半角数字（1～65535）で入力します。	110
IPv6 POP3 server IP address	IPv6 用の POP3 サーバーの IP アドレスを半角数字で入力します。	<空欄>
IPv6 POP3 server port number	IPv6 用の POP3 サーバーのポート番号を半角数字（1～65535）で入力します。	110
POP before SMTP response time	POP3 認証終了から SMTP 認証までの待機時間（ミリ秒単位）を半角数字（0～9999 ミリ秒）で入力します。	300

テストメールを送信する

Mail 画面の [Send test mail] をクリックすると、Mail 画面で設定したメールアドレスに対し、テストメールを送信することができます。

SNMPを設定する [SNMP]

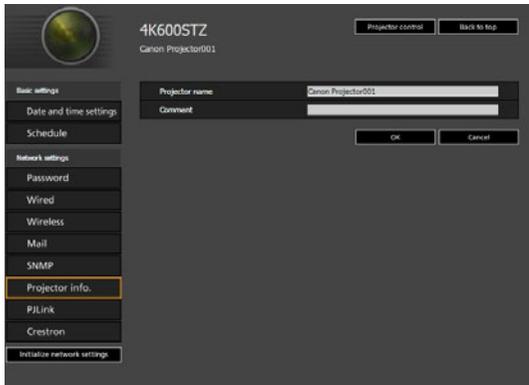
セッティング画面の [SNMP] では、SNMP (Simple Network Management Protocol) を利用したプロジェクターの管理について設定します。設定の手順については「ネットワークの設定」(P147) を参照してください。



項目	説明	工場出荷時の設定
SNMP	SNMP 機能のバージョンを選択します。OFF の場合、この画面の他の項目は設定不可となります。	OFF
Receive community	プロジェクター情報を受信するコミュニティ名を半角の英数字・記号 (1 ~ 15 文字) で入力します。	< 空欄 >
Password	コミュニティ設定のパスワードを半角の英数字・記号 (8 ~ 15 文字) で入力します。SNMP のバージョンが V3 の場合のみ設定できます。	< 空欄 >
Confirm password	確認のため、[Password] と同じパスワードを入力します。	< 空欄 >

プロジェクター情報を設定する [Projector info.]

セッティング画面の [Projector info.] では、複数のプロジェクターがネットワーク上にある場合の識別を行うための名前と設置場所等を設定します。設定の手順については「ネットワークの設定」(P147) を参照してください。



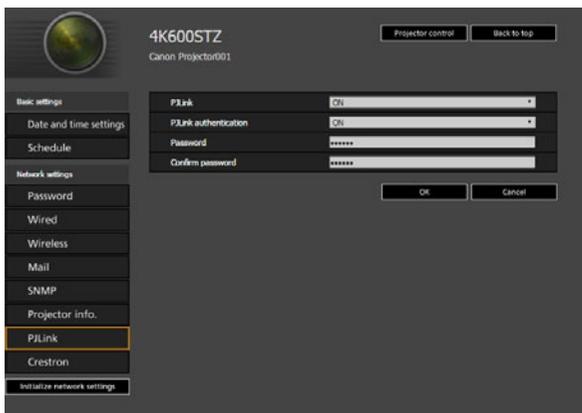
項目	説明	工場出荷時の設定
Projector name	プロジェクター名を半角の英数字・記号（1～63文字）で入力します。	Canon Projector001
Comment	プロジェクターの設置場所などのコメントを入力します。	<空欄>



[Projector name] と [Comment] には、#など使用できない文字があります。

PJLinkを設定する [PJLink]

セッティング画面の [PJLink] では、ネットワークでのプロジェクター管理の規格である PJLink 機能について設定します。設定の手順については「ネットワークの設定」(P147) を参照してください。また、PJLinkについては「PJLinkとは」(P137) を参照してください。



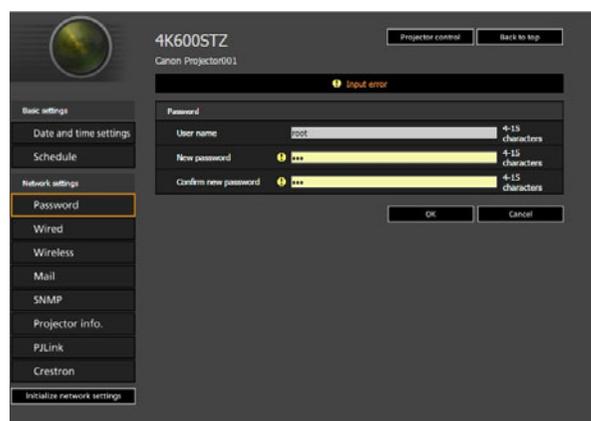
項目	説明	工場出荷時の設定
PJLink	PJLink 機能の ON / OFF を選択します。OFF の場合、この画面の他の項目は設定不可となります。	ON
PJLink authentication	PJLink 認証機能の ON / OFF を選択します。OFF の場合、以下の項目は変更できません。 [Password] [Confirm password]	ON
Password	PJLink 認証パスワードを半角の英数字（1 ～ 32 文字）で入力します。	system
Confirm password	確認のため [Password] と同じパスワードを入力します。	system

クレストロン社製のコントローラーの設定をする [Crestron]

Crestron e-Control 画面が開きます。詳しくはクレストロン社のWebページをご覧ください。http://www.crestron.com

設定時のエラーについて

設定に関してエラーが発生した場合は、画面にエラー名が表示され、エラーの原因となっている入力欄に「!」マークが表示されます。



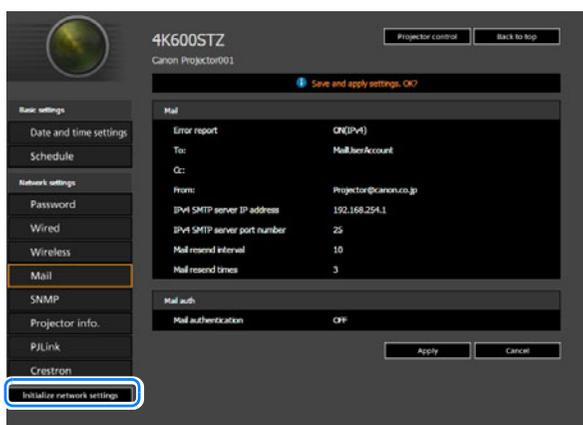
エラーの意味は以下の通りです。

エラー	意味
Input error	各設定画面で有効範囲外の設定がされた。
Password setting error	設定したパスワードと確認パスワードが一致しない。
Invalid SMTP	SMTP サーバーの IP アドレスが設定されていない。
System failed to connect SMTP server.	テストメール送信時に SMTP サーバーとの接続に失敗した。
System failed to connect POP3 server.	テストメール送信時に POP3 サーバーとの接続に失敗した。

エラー	意味
System doesn't support this auth type.	サーバー側でサポートしていない認証タイプを設定した。
System failed to authenticate.	テストメール送信時に認証が失敗した。
The system failed to send the test mail.	SMTP サーバーとの接続または通常発生しないエラーによりテストメール送信が失敗した。

ネットワークの設定を工場出荷時の設定に戻す

- 1 「ネットワーク設定画面の表示」 (P145) の手順 1～3 を行い、セッティング画面を表示します。
- 2 [Initialize network settings] をクリックします。



- 3 確認画面が表示されるので、[OK] をクリックします。

■ エラー通知メール

プロジェクターにエラーが発生したときは、次のエラー表のメッセージが英文で送信されます。

エラー表

温度に関する エラー	件名	Temperature abnormality
	本文	The internal temperature of the projector is abnormally high, or else the ambient air temperature exceeds the threshold. If the problem is with the projector, verify that it is properly installed and is being used correctly, and let the inside of the projector cool down for a while with the power plug disconnected from the wall outlet before resuming projection. Remove any objects that are blocking the air intake or exhaust vent. If the air filter is clogged, try cleaning or replacing it. If the same warning is displayed again, the main unit may be faulty. Please contact your dealer.
	内容	プロジェクター内部の温度が何らかの異常で高温になっているか、外気温度が規定以上になっています。プロジェクター側の異常の場合は、設置や操作が正しく行われているか確認し、電源プラグをコンセントから抜き、プロジェクターの内部をしばらく冷やしてから投写してください。吸気口または排気口がふさがれているときは、ふさいでいるものを取り除いてください。エアフィルターが目詰まりしている場合は、交換を行ってください。再度、同じワーニングが表示される場合は、本体の故障が考えられます。キヤノンお客様相談センターにご連絡ください。
光源に関する エラー	件名	Light source abnormality
	本文	The light source unit or a related component may be faulty. With the power off, disconnect the power plug from the wall outlet, wait for a while, and then plug it in again and turn the power back on. If the same warning is displayed again, please contact your dealer.
	内容	光源ユニットまたはその他の故障が考えられます。電源プラグをコンセントから抜き、しばらく経ってから再度コンセントに接続して電源を入れ直してください。再度、同じワーニングが表示される場合は、キヤノンお客様相談センターにご連絡ください。

ネットワーク上のプロジェクターを使用する

エアフィルターに関するエラー	件名	Faulty air filter unit
	本文	The air filter is incorrectly installed, or a related component may be faulty. With the power off, re-install the air filter correctly, then turn the power back on. If the same warning is displayed again, please contact your dealer.
	内容	エアフィルターの装着異常か、その他の故障が考えられます。エアフィルターを正しく装着し電源を入れ直してください。再度、同じワーニングが表示される場合は、キヤノンお客様相談センターにご連絡ください。
ファンに関するエラー	件名	Faulty cooling fan
	本文	The cooling fan or a related component may be faulty. With the power off, disconnect the power plug from the wall outlet, and then plug it in again and turn the power back on. If the same warning is displayed again, please contact your dealer.
	内容	冷却ファンまたはその他の故障が考えられます。電源プラグをコンセントから抜き、再度コンセントに接続して電源を入れ直してください。再度、同じワーニングが表示される場合は、キヤノンお客様相談センターにご連絡ください。
電源に関するエラー	件名	Faulty power supply
	本文	The power supply voltage may be abnormal, or a related component may be faulty. With the power off, disconnect the power plug from the wall outlet, and then plug it in again and turn the power back on. If the same warning is displayed again, please contact your dealer.
	内容	電源の一部が異常な電圧になっているか、その他の故障が考えられます。電源プラグをコンセントから抜き、再度コンセントに接続して電源を入れ直してください。再度、同じワーニングが表示される場合は、キヤノンお客様相談センターにご連絡ください。

コンピューターからプロジェクターを制御する

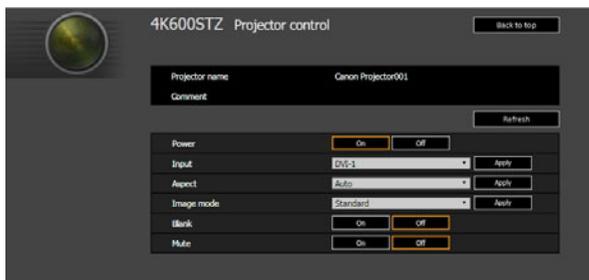
本機を有線 LAN または無線 LAN に接続することで、ネットワーク経由でコンピューターから本機の制御が行えます。

- 1 コンピューターとプロジェクターの電源を入れます。
- 2 Web ブラウザを起動し、アドレスに「http:// (プロジェクターの IP アドレス)」を入力して [Enter] キーを押します。
プロジェクターの Web 画面が表示されます。



工場出荷時の IP アドレス (有線) は「192.168.254.254」、IP アドレス (無線) は「192.168.253.254」です。DHCP 設定の場合はネットワーク管理者にプロジェクターの IP アドレスをお問い合わせください。プロジェクターのメニューから、IP アドレスを確認することができます。

- 3 Web画面の [Projector control] をクリックします。
パスワードの入力画面が表示されます。
- 4 パスワード入力画面にユーザー名とパスワードを入力し、[OK] をクリックします。
工場出荷時のユーザー名は「root」、パスワード「system」です。
ユーザー名とパスワードを変更しないまま使用した場合、悪意を持つ第三者によりプロジェクターを勝手に操作される可能性があります。
セキュリティを高めるためユーザー名とパスワードを変更することを強くお勧めします。(P149)
プロジェクターコントロール画面が表示されます。



この画面でプロジェクターの制御を行います。

項目	説明
Projector name	接続しているプロジェクター名が表示されます。(P164)
Comment	プロジェクターの設置場所などのコメントを表示します。(P164)
Refresh	表示内容を最新の情報に更新します。
Power	プロジェクターの電源をオン / オフします。
Input	入力信号を選択し、[Apply] をクリックすると、入力信号が切り換わります。(P47)
Aspect	アスペクトを選択し、[Apply] をクリックすると、アスペクトが切り換わります。(P55)
Image mode	イメージモードを選択し、[Apply] をクリックすると、イメージモードが切り換わります。(P59)
Blank	ブランク設定のオン / オフを切り換えます。(P62)
Mute	ミュート設定のオン / オフを切り換えます。(P25)
Information	画面上部に制御結果や制御エラーの情報が表示されます。

5 作業が終わったら、[Back to top] をクリックし、Web画面のトップ画面に戻ります。



エッジブレンディング機能を使って投写する

複数台のプロジェクターを並べて投写するとき、各プロジェクターから投写される映像の重なった部分の明るさを調整して目立たなくします。

■ 基本的な使いかた

2台のプロジェクターを左右に並べて投写する場合について説明します。

- 1 **【設置設定】メニューから、【プロフェッショナル設定】、【エッジブレンディング】、【調整】の順に選びます。**



- すでにエッジブレンディングの設定を行っている場合、【調整】を選んだときに機能します。
- 調整を初めからやりなおす場合は、【リセット】を選んでください。

- 2 **【マーカ―】を【入】にします。**

映像に赤（調整の開始位置を示す開始マーカ―）と緑（調整の終端位置を示す終端マーカ―）の線（マーカ―）が表示されます。

エッジブレンディング		
サイド	幅	開始位置
左	0	0
右	0	0
上	0	0
下	0	0
ブレンディング色調整	切	
黒レベル調整	切	
マーカ―	切	
リセット		
戻る		



初期状態では緑と赤のマーカ―が重なり、赤の線しか見えません。

- 3 映像が重なっているサイドの【開始位置】を変更し、重なっている映像の外側の端に開始マーカ―を移動するか、リモコンの数字ボタンを押して開始位置を指定します。

- 4 **【幅】を変更し、重なっている映像の内側の端に終端マーカ―を移動するか、リモコンの数字ボタンを押して修正したい画素範囲を指定します。**

開始マーカ―と終端マーカ―の間をブレンディング領域と呼びます。ここでいうブレンディング領域は、入力側のブレンディング領域と同じ数値になるようにします。この領域がグラデーション加工され、重なった状態で他の部分と同じ明るさになるように調整されます。片側の映像の設定が終わったら、もう片側の映像も同様にブレンディング領域を設定してください。その際、それぞれの映像のブレンディング領域が同じになるよう調整してください。

- 5 **【マーカ―】を【切】にします。**

■ 色を調整する

映像を重ねて投写すると、重なった部分の色つき、色ずれが目立つことがあります。ブレンディング色調整により、映像の重なり部分を目立たなくすることができます。

- 1 [設置設定] メニューから、[プロフェッショナル設定]、[エッジブレンディング]、[調整]、[ブレンディング色調整]、[調整] の順に選びます。
- 2 投写映像を確認しながら、重なり部分の色つきが残らないように各色調整します。

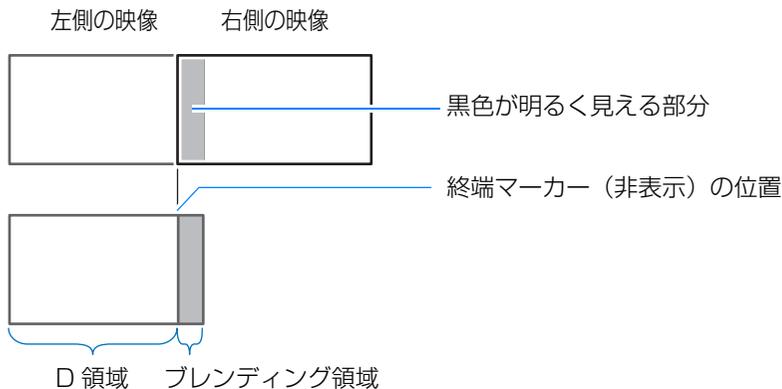


まず [白] で赤・緑・青を同時調整し、さらに [赤]、[緑]、[青] でそれぞれの色味を個別に調整します。

- 3 すべてのプロジェクターについて同様の調整を行います。

■ 黒レベルを合わせる

映像を重ねて投写すると、重なった部分の黒色が他の部分よりも明るく投写されます。重なっていない部分の黒レベル調整をすることで、重なり部分を目立たなくすることができます。



映像の重なっていない終端マーカの内側部分をD領域と呼び、調整します。

本来は終端マーカから順にA、B、Cの領域があります。

ここでは、A、B、Cの幅を初期値の0にしたまま、D領域のみを調整する場合について説明します。



調整を行う前に [無信号時画面] を [黒] に設定し、入力信号のない映像を投写した状態で照明を消すなどして、黒色の映像が確認できるようにしてください。(P103)

- 1 [設置設定] メニューから、[プロフェッショナル設定]、[エッジブレンディング]、[調整]、[黒レベル調整]、[調整] の順に選びます。
- 2 [調整種別]、[黒レベル] の順に選びます。
- 3 [D領域 基準] を選び、投写映像を確認しながらブレンディング領域とD領域の明るさと色が同じになるように調整します。

黒レベル調整	
調整種別	黒レベル
B領域 基準	0
B領域 赤	+0
B領域 緑	+0
B領域 青	+0
D領域 基準	0
D領域 赤	+0
D領域 緑	+0
D領域 青	+0
戻る	

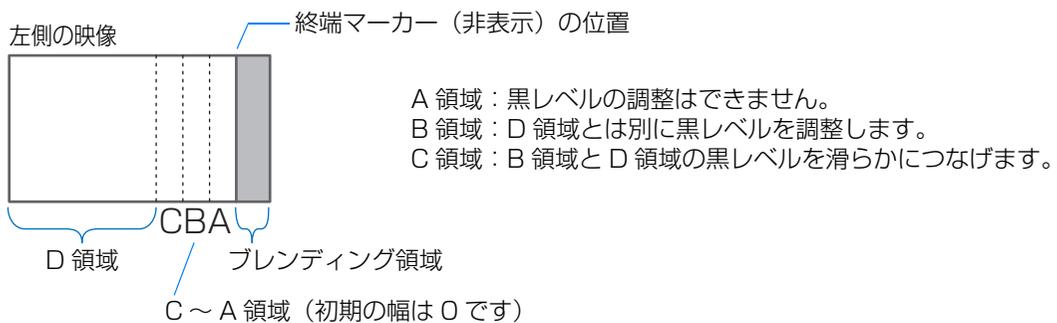
[D領域 基準] で黒レベルの明るさ、[赤]、[緑]、[青] で黒レベルの色味を調整します。

- 4 すべてのプロジェクターについて同様の調整を行います。

■ つなぎ目をよりなめらかにする

D領域の右端（ブレンディング領域に接する部分）の黒レベルが周囲と違って見えることがあります。

B領域の黒レベルを調整することにより、つなぎ目をより滑らかにすることができます。各領域では、以下のような調整をします。



ブレンディング領域が投写映像に対して複数（上下左右方向）表示される場合、A、B、Cの領域の幅をそれぞれに設定する必要があります。

ここでは、B領域を調整する方法を説明します。

- 1 [設置設定] メニューから、[プロフェッショナル設定]、[エッジブレンディング]、[調整]、[黒レベル調整]、[調整] の順に選びます。
- 2 [調整種別]、[領域] を選び、[サイド]、[右] の順に選びます。

3 [B 幅] を選び、B 領域の幅を設定します。

B 領域の幅を B 領域の黒レベルが違って見える部分に大まかにあわせませす。D 領域の幅が狭くなります。

黒レベル調整	
調整種別	領域
サイド	右
A幅	0
B幅	0
C幅	0
戻る	

4 [調整種別]、[黒レベル] の順に選び [B 領域基準] を映像を確認しながら調整します。



- B 領域の黒レベル調整の結果は上下左右、すべてのサイドに反映されます。
- [調整種別]、[黒レベル] の [赤] [緑] [青] を調整することで、より詳細に調整できます。

5 A、B、C の領域の幅を映像を確認しながら調整します。

6 必要に応じて B 領域の黒レベルを再調整します。

想定される投写映像で主要となる階調をターゲットとして「ブレンディング色調整」を行うことで、重なった部分の色つき、色ずれを軽減できる場合があります。



「ブレンディング色調整」などの調整を行っても、映像の重なり部分に色つきや輝度差が残る場合があります。

高度なレジストレーションにより投写画面を調整する

画面内の各領域によって色ずれが気になる場合に、赤、緑、青の色ずれを個別に、各領域ごとに微調整できる機能です。

画面の四隅と中央の計5点を調整する5点調整と、54点（縦6×横9）で細かく調整するマニュアル調整があります。

5点調整してからマニュアル調整を行うと、5点調整の値をそのまま引き継ぎます。5点調整後に、さらに精度を高めたい場合に、マニュアル調整を行ってください。



- ズームやレンズシフト調整をする場合は、[高度なレジストレーション] の調整前に行ってください。
- キーストーン補正を行っている場合 [高度なレジストレーション] は正しく調整できません。キーストーン補正が必要な場合は、[高度なレジストレーション] の調整を先に行ってください。

■ 5点調整を行う

5点調整は、画面の四隅と中央の調整点を動かすことで、簡単に画面全体の色ずれを補正できます。

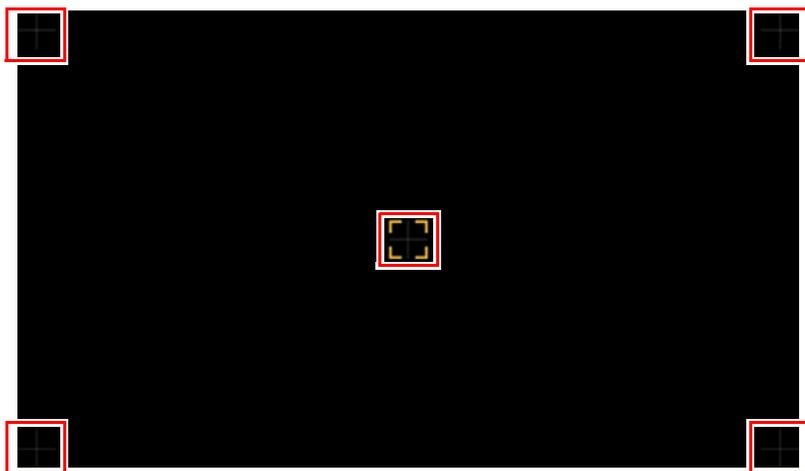
1 [設置設定] メニューから、[プロフェッショナル設定]、[RGBアライメント]、[高度なレジストレーション]、[調整]、[5点調整]、[調整] の順に選びます。

5点調整のポイント選択モードに入り、チャートが表示されます。



- このチャート（ポイント選択画面）は、[パネルドライブモード] 別に大きさの異なる2種があります。
- 高度なレジストレーションを行うと、市松模様や網掛け処理をした箇所に色ムラ、模様が生じることがあります。

- 2** 【▲】【▼】【◀】【▶】 ボタンで調整する点を選び、【OK】 ボタンを押します。
色選択モードになります。

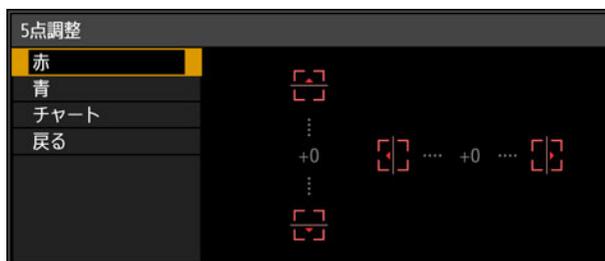


 【MENU】 ボタンを押すと、「高度なレジストレーション」に戻ります。

- 3** 色種の【赤】または【青】を選び、【OK】 ボタンを押します。

 ・ここで【チャート】を選び、【OK】を押すたびにチャートと入力映像が交互に表示されます。
・テストパターンを表示した状態で5点調整画面に入ったときは、入力映像の代わりにテストパターンが表示されます。

- 4** 【▲】【▼】【◀】【▶】 ボタンで、調整点のアライメント（上下方向、左右方向）を調整します。



- 5** 【OK】 ボタンを押すと、色選択モードの画面に戻ります。

- 6** 残りの色種や調整点も同様に調整します。

■ マニュアル調整を行う

画面の部分的なレジストレーションを調整したい場合は、マニュアル調整を行います。

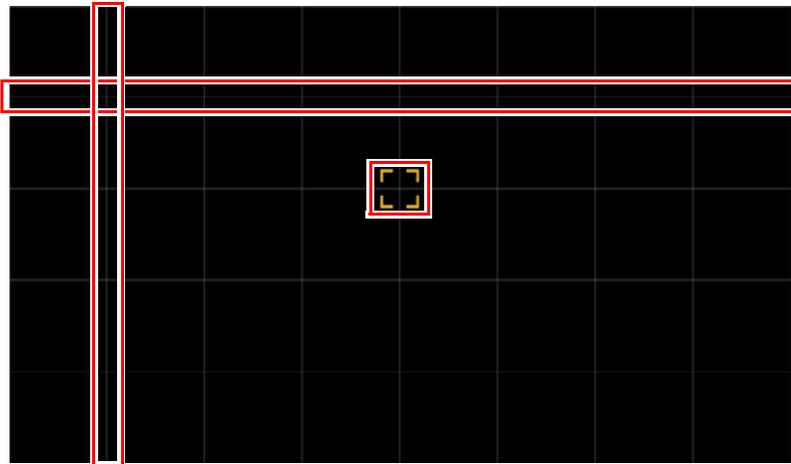
 マニュアル調整から5点調整に切り換えた場合は、マニュアル調整の値はリセットされます。

- 1 **【設置設定】メニューから、【プロフェッショナル設定】、【RGBアライメント】、【高度なレジストレーション】、【調整】、【マニュアル調整】の順に選びます。**
マニュアル調整のポイント選択モードに入り、チャートが表示されます。



- 
- このチャート（ポイント選択画面）は、【パネルドライブモード】別に大きさの異なる2種があります。
 - 高度なレジストレーションを行うと、市松模様や網掛け映像の箇所に色ムラ、模様が生じることがあります。

- 2 **【▲】【▼】【◀】【▶】ボタンで調整する点を選び、【OK】ボタンを押します。**
色選択モードになります。



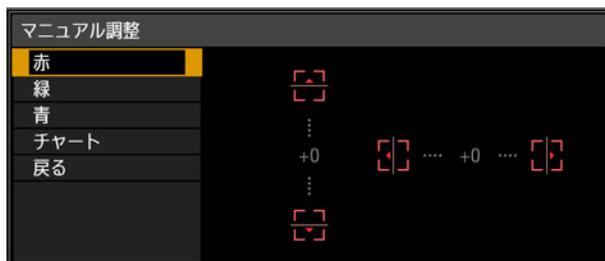
 **【MENU】** ボタンを押すと、【高度なレジストレーション】に戻ります。

3 色種を [赤]、[緑]、[青] から選び、【OK】 ボタンを押します。



- ここで [チャート] を選び、【OK】 を押すたびにチャートと入力映像が交互に表示されます。
- テストパターンを表示した状態でマニュアル調整画面に入ったときは、入力映像の代わりにテストパターンが表示されます。

4 【▲】 【▼】 【◀】 【▶】 ボタンで、調整点のアライメント（上下方向、左右方向）を調整します。



5 【OK】 ボタンを押すと、色選択モードの画面に戻ります。

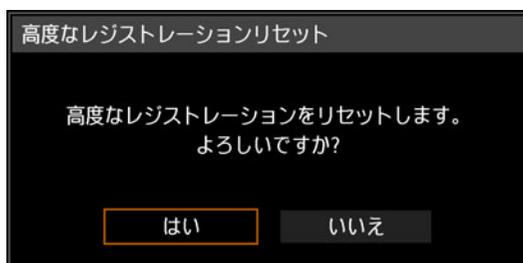
6 残りの色種、残りの調整点も同様に調整します。

■ 調整をリセットする

5点調整、マニュアル調整の設定値をリセットします。

1 【設置設定】メニューから、【プロフェッショナル設定】、【RGBアライメント】、【高度なレジストレーション】、【調整】、【リセット】の順に選びます。

リセット確認の画面が表示されます。



2 【はい】を選んで、調整をリセットします。

以下の処理を実行します。

- 5点調整の設定値をリセットする
- 5点調整を [切] にする
- マニュアル調整の設定値をリセットする

周辺フォーカスを調整する

画面周辺部のフォーカスを調整できる機能です。

- ドーム型スクリーンに投写する場合に、周辺のフォーカスを調整します。
- 平面スクリーンにおいて画面全体のピントを合わせても画面周辺がぼけている場合は、周辺フォーカスを調整してピントを合わせます。

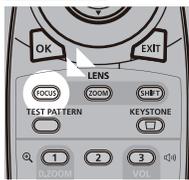
 あらかじめ【周辺フォーカス】を【入】に設定する必要があります。(P97)

■ 画面周辺のピントを合わせる

リモコンの【FOCUS】ボタンまたは本体の【LENS】ボタンで画面周辺のピントを調整することができます。

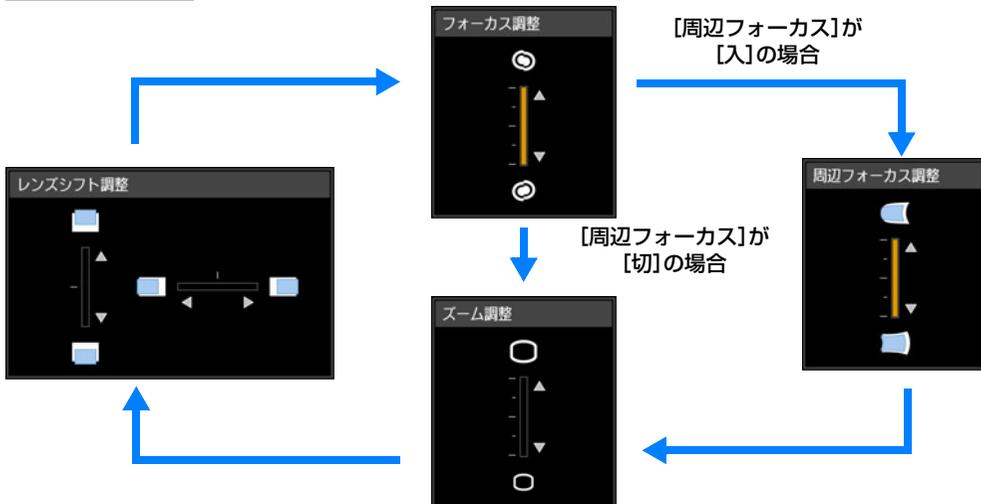
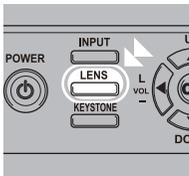
1 リモコンの【FOCUS】ボタンを2回押すと、周辺フォーカス調整画面が表示されます。

リモコン 2回押す

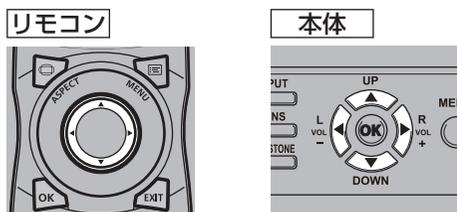


本体の【LENS】ボタンは、押すたびにレンズ関連の画面表示が切り換わります。【LENS】ボタンを2回押すと、周辺フォーカス調整画面が表示されます。

本体 2回押す



2 方向ボタンで画面周辺のピントを合わせます。



【▲】 【▶】 【▼】 【◀】 ボタンで、周辺のフォーカスを調整します。

3 ピントが合ったら【OK】ボタン、または【FOCUS】ボタンを押します。

■ 調整をリセットする

周辺フォーカス調整の設定値をリセットします。

調整をリセットするには、[設置設定] メニューから、[プロフェッショナル設定]、[周辺フォーカス]、[リセット] の順に選びます。

⚠ 周辺フォーカス調整

周辺フォーカス調整をリセット中です。
しばらくお待ちください。

以下の処理を実行します。

- 周辺フォーカスの設定値をリセットする
- [周辺フォーカス] を [切] にする

🔒 [周辺フォーカス] を [切] にしただけでは、周辺フォーカスの設定値はリセットされません。

■ トリガーアウトを使用する

本機のトリガー端子 (P23) に、例えば電動スクリーンに接続し、メニューの [システム設定]、[トリガーアウト]、[電源連動] (P118) に設定すると、本機の電源を入れたときに連動し、電動スクリーンをセットすることができます。

その他

安全にお使いいただくために

はじめに

設置のしかた

接続のしかた

投写のしかた

便利な機能

メニューの使いかた

メニューの構成

メニューによる設定

ネットワーク上の
プロジェクターを使用する

高度な投写

メンテナンス

製品の仕様

困ったときには

基本編

応用編

その他

本体を清掃する

本機に、ホコリなどがたまらないようにこまめに清掃してください。
レンズ表面が汚れると、投写する映像に影響が出ることがあります。



警告

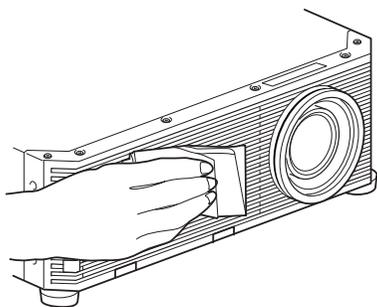
本機のメンテナンスの際に接着剤、潤滑剤、油、アルカリ性の洗剤などを使用しないでください。



注意

本体を清掃するときは、必ず本体の電源を切り、冷却ファンが停止してから電源プラグをコンセントから抜き、1時間以上経過してから行ってください。電源を切った直後は、本体がたいへん高温になっているため、やけどやけがをする原因になることがあります。

本体や本体操作部の汚れは、柔らかい布で軽く拭き取ってください。
汚れがひどいときは、水で薄めた中性洗剤に布を浸してよく絞り、ふき取ってから乾いた布で仕上げてください。



- ベンジンや揮発性の清掃液を使用すると、変質したり塗装がはげることがあります。
- 化学ぞうきんは使用しないでください。
- レンズの表面は傷が付きやすいので、固い布やティッシュペーパーなどは使用しないでください。

エアフィルターを交換する



注意

エアフィルターは、内部のレンズやミラーをホコリや汚れから守っています。エアフィルターにホコリがたまると、空気の流れが悪くなり、内部の温度が上昇して故障の原因となります。

エアフィルターの交換が必要な時間になると、本機の電源を入れたときに次の画面が表示されますので、新品のエアフィルターに交換してください。



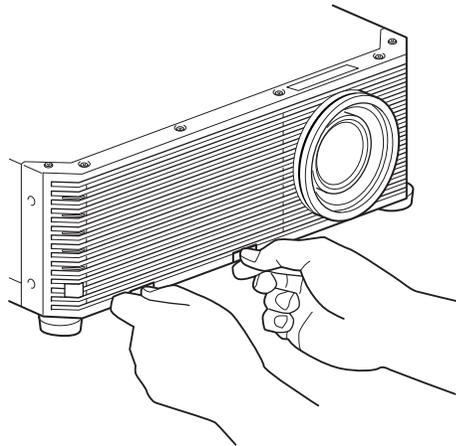
⚠ エアフィルター交換

新品エアフィルターに交換してください。

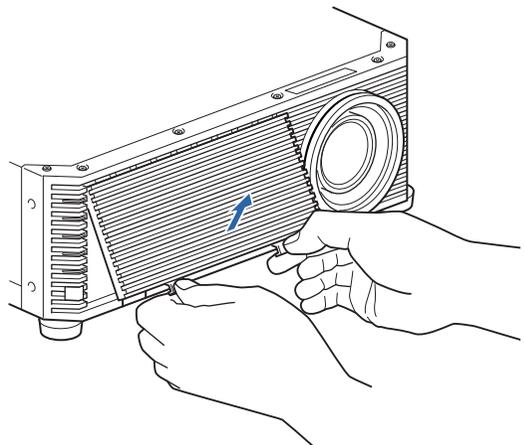
- この画面の表示中は【◀】、【▶】、【OK】、【POWER】、【EXIT】、【FOCUS】、【ZOOM】、【SHIFT】 ボタンのみ反応します。(【POWER】ボタンを押すと「もう一度POWERボタンを押すと電源が切れます」というメッセージが表示されます。)
- 10秒後にこの画面が消えると、すべてのボタンが操作できるようになります。

エアフィルターの交換は次の手順で行ってください。

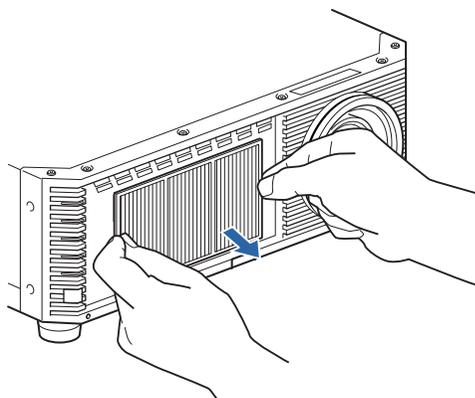
- 1 本機の電源を切り、電源プラグを抜きます。
- 2 フィルタカバー下側のボタン2箇所を押し上げながら、手前に引きます。



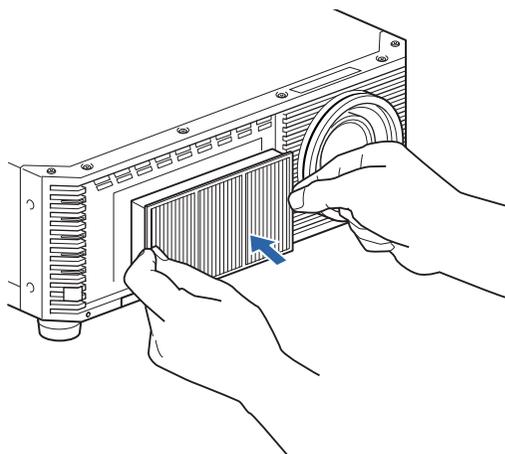
- 3 フィルターカバーを開いて外します。



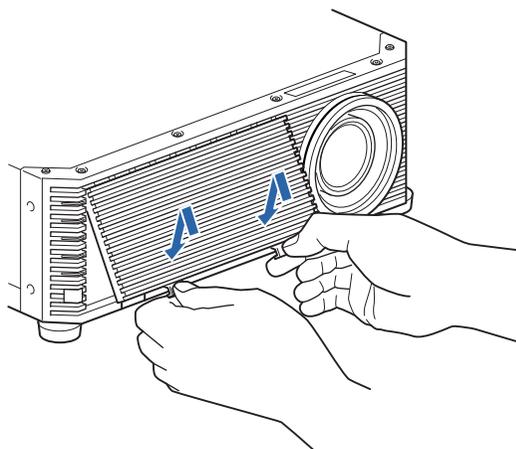
- 4** エアフィルターのつまみを持ち、取り外します。



- 5** 新しいエアフィルターのつまみを持ち、本機に取り付けます。



- 6** フィルターカバーのツメを本機の溝にはめてからフィルターカバーを閉じます。



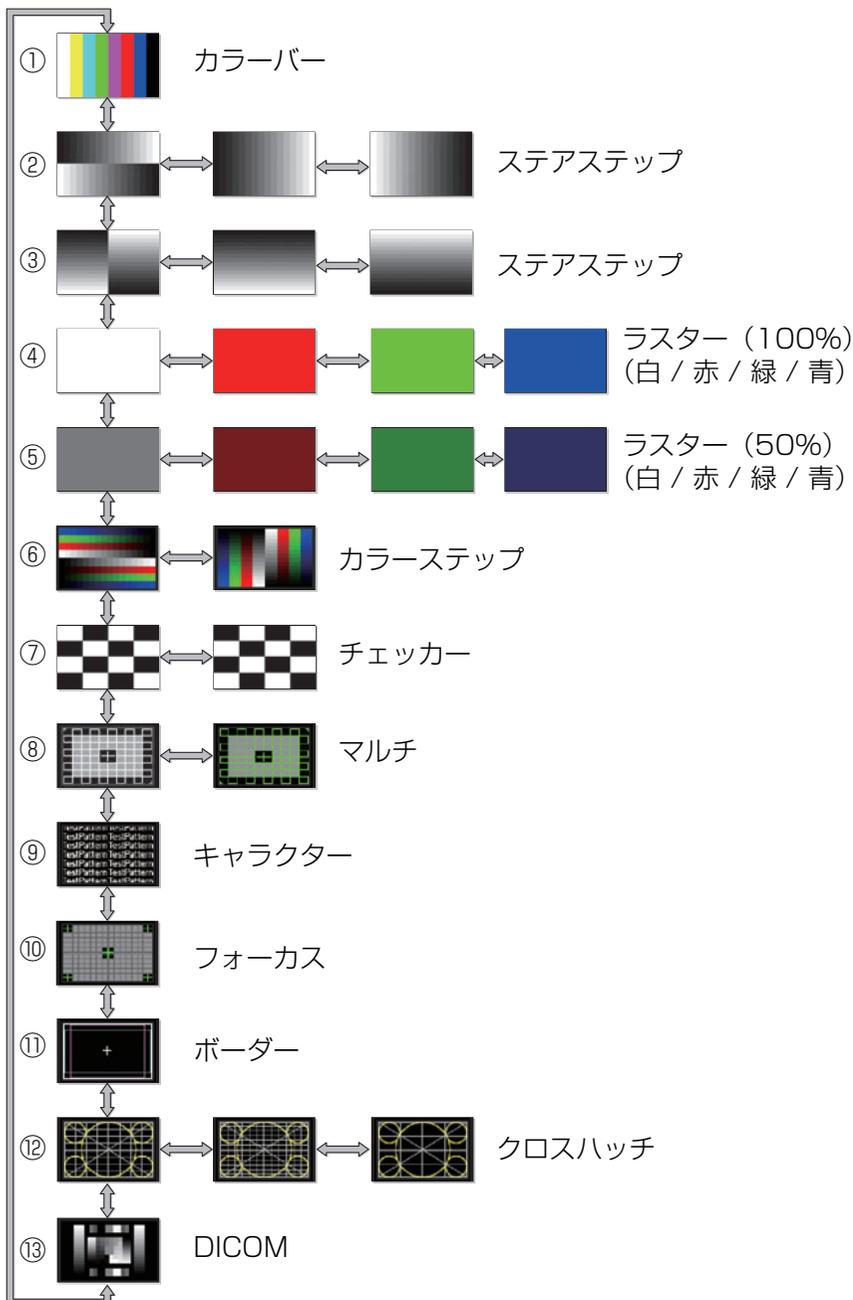
- エアフィルターの交換後は、[エアフィルターカウンター] をリセット (P118) してください。
- エアフィルターはていねいに扱ってください。破損するとエアフィルターの効果が損なわれます。
- エアフィルター (品番: RS-FL04) のご注文は、お買い上げの販売店にご相談ください。

表示できるテストパターン

【設置設定】メニューの【テストパターン】(P101)で【入】を選ぶ、または、リモコンの【TEST PATTERN】ボタンを押すと、テストパターン・ダイレクトメニューが表示されます。テストパターン・ダイレクトメニューの表示中に【▲】【▼】ボタンを押すと、他のテストパターンに切り換えることができます。また、オプションのパターンがある場合、【◀】【▶】ボタンで切り換えることができます。

表示できるテストパターンは、以下の通りです。

【▲】【▼】で オプションパターン
切り換え 【◀】【▶】で切り換え



対応信号

コンピューターまたは AV 機器が下の表のいずれかに対応していれば、入力信号が自動的に正しい映像を投写することができます。

HDMI (single)

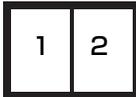


FP : フロントポート
SW : 同期信号期間
BP : バックポート

入力信号の 解像度	水平 周波数 [kHz]	垂直 周波数 [Hz]	ドット クロック [MHz]	HDMI マルチイン プットモード	プランキング情報	
					水平 FP, SW, BP	垂直 FP, SW, BP
640x480	31.469	59.940	25.175	標準, シングル	16, 96, 48	10, 2, 33
720x480	31.469	59.940	27.000	標準, シングル	16, 62, 60	9, 6, 30
720x576	31.250	50.000	27.000	標準, シングル	12, 64, 68	5, 5, 39
800x600	37.879	60.317	40.000	標準, シングル	40, 128, 88	1, 4, 23
1280x720	18.000	24.000	59.400	標準, シングル	1760, 40, 220	5, 5, 20
	37.500	50.000	74.250	標準, シングル	440, 40, 220	5, 5, 20
	45.000	60.000	74.250	標準, シングル	110, 40, 220	5, 5, 20
1024x768	48.363	60.004	65.000	標準, シングル	24, 136, 160	3, 6, 29
1366x768	47.712	59.790	85.500	シングル	70, 143, 213	3, 3, 24
	48.000	60.000	72.000		14, 56, 64	1, 3, 28
1440x900	55.469	59.901	88.750	標準, シングル	48, 32, 80	3, 6, 17
	55.935	59.887	106.500	標準, シングル	80, 152, 232	3, 6, 25
1280x1024	63.981	60.020	108.000	標準, シングル	48, 112, 248	1, 3, 38
1920x1080(i)	28.125	50.000	74.250	標準, シングル	528, 44, 148	4.5, 10, 30.5
	31.250	50.000	72.000		32, 168, 184	45.5, 10, 114.5
	33.750	60.000	74.250	標準, シングル	88, 44, 148	4.5, 10, 30.5
1920x1080	27.000	24.000	74.250	標準, シングル	638, 44, 148	4, 5, 36
	56.250	50.000	148.500	標準, シングル	528, 44, 148	4, 5, 36
	67.500	60.000	148.500	標準, シングル	88, 44, 148	4, 5, 36
2048x1080	66.576	59.924	147.000	標準, シングル	48, 32, 80	3, 10, 18
	67.500	60.000	148.500	標準, シングル	44, 44, 64	4, 5, 36
2560x1080	26.400	24.000	99.000	標準, シングル	998, 44, 148	4, 5, 11
	56.250	50.000	185.625	標準, シングル	548, 44, 148	4, 5, 36
	66.636	59.978	181.250		48, 32, 80	3, 10, 18
	66.000	60.000	198.000	標準, シングル	248, 44, 148	4, 5, 11
1920x1200	74.038	59.950	154.000	標準, シングル	48, 32, 80	3, 6, 26
	74.556	59.885	193.250	標準, シングル	136, 200, 336	3, 6, 36
2048x1200	74.582	59.905	205.250	標準, シングル	136, 216, 352	3, 10, 32
	74.100	60.000	157.684		8, 32, 40	21, 8, 6
2560x1440	88.787	59.951	241.500	シングル	48, 32, 80	3, 5, 33
2560x1600	98.713	59.972	268.500	標準, シングル	48, 32, 80	3, 6, 37
3840x2160	52.593	23.993	266.750		216, 400, 616	3, 5, 24
	52.438	23.999	209.750		48, 32, 80	3, 5, 17
	54.000	24.000	297.000	標準, シングル	1276, 88, 296	8, 10, 72
	56.250	25.000	297.000	標準, シングル	1056, 88, 296	8, 10, 72
	67.500	30.000	297.000	標準, シングル	176, 88, 296	8, 10, 72
	112.500	50.000	594.000	標準*3, シングル*3	1056, 88, 296	8, 10, 72
	135.000	60.000	594.000	標準*3, シングル*3	176, 88, 296	8, 10, 72
4096x2160	52.561	23.979	284.250		224, 432, 656	3, 10, 19
	52.397	23.980	223.000		48, 32, 80	3, 10, 12
	54.000	24.000	297.000	標準, シングル	1020, 88, 296	8, 10, 72
	56.250	25.000	297.000	標準, シングル	968, 88, 128	8, 10, 72
	67.500	30.000	297.000	標準, シングル	88, 88, 128	8, 10, 72
	112.500	50.000	594.000	標準*3, シングル*3	968, 88, 128	8, 10, 72
	135.000	60.000	594.000	標準*3, シングル*3	88, 88, 128	8, 10, 72

HDMI マルチインプットモードの設定を適用すると、該当する行のフォーマットがEDIDに記載されます。空欄はEDIDに記載されないため、コンピューター側の出力フォーマットの手動設定が必要となります。

HDMI 1x2



FP : フロントポート
 SW : 同期信号期間
 BP : バックポート

マルチインプット結合解像度	各入力端子に入力する信号の解像度	水平周波数 [kHz]	垂直周波数 [Hz]	ドットクロック [MHz]	HDMI マルチインプットモード	ランキング情報	
						水平 FP, SW, BP	垂直 FP, SW, BP
1280x480	640x480	31.469	59.940	25.175	標準, 1x2	16, 96, 48	10, 2, 33
1440x480	720x480	31.469	59.940	27.000	標準, 1x2	16, 62, 60	9, 6, 30
1440x576	720x576	31.250	50.000	27.000	標準, 1x2	12, 64, 68	5, 5, 39
2560x720	1280x720	37.500	50.000	74.250	標準, 1x2	440, 40, 220	5, 5, 20
		45.000	60.000	74.250	標準, 1x2	110, 40, 220	5, 5, 20
3840x1080	1920x1080(I)	28.125	50.000	74.250	標準, 1x2	528, 44, 148	4.5, 10, 30.5
		33.750	60.000	74.250	標準, 1x2	88, 44, 148	4.5, 10, 30.5
3840x1080	1920x1080	67.500	60.000	148.500	標準, 1x2	88, 44, 148	4, 5, 36
2560x1600	1280x1600	98.611	59.910	142.000	1x2	48, 32, 80	3, 10, 33
3840x2160	1920x2160	52.404	23.983	109.000		48, 32, 80	3, 10, 12
		54.000	24.000	148.500	1x2 * 2	638, 44, 148	8, 10, 72
		112.500	50.000	297.000	1x2	528, 44, 148	8, 10, 72
		133.293	59.988	277.250		48, 32, 80	3, 10, 49
		135.000	60.000	297.000	標準, 1x2	88, 44, 148	8, 10, 72
4096x2160	2048x2160	133.320	60.000	266.640		8, 32, 40	48, 8, 6
		52.515	23.957	142.000		112, 216, 328	3, 10, 19
		52.423	23.992	115.750		48, 32, 80	3, 10, 12
		54.000	24.000	148.500	1x2	510, 44, 148	8, 10, 72
		112.500	50.000	297.000	1x2	484, 44, 64	8, 10, 72
		133.265	59.975	294.250		48, 32, 80	3, 10, 49
3200x2400	1600x2400	133.320	60.000	283.704		8, 32, 40	48, 8, 6
		135.000	60.000	297.000	標準, 1x2	44, 44, 64	8, 10, 72
		148.011	59.948	260.500	1x2 * 1	48, 32, 80	3, 10, 56
3840x2400	1920x2400	148.140	60.000	296.280		8, 32, 40	55, 8, 6

HDMI マルチインプットモード列の設定を適用すると、該当する行のフォーマットがEDIDに記載されます。空欄はEDIDに記載されないため、コンピューター側の出力フォーマットの手動設定が必要となります。

DVI (single)

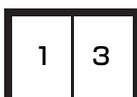


FP : フロントポーチ
 SW : 同期信号期間
 BP : バックポーチ

入力信号の解像度	水平周波数 [kHz]	垂直周波数 [Hz]	ドットクロック [MHz]	DVI マルチインプットモード	ブランキング情報	
					水平 FP, SW, BP	垂直 FP, SW, BP
640x480	31.469	59.940	25.175	標準, シングル	16, 96, 48	10, 2, 33
800x600	37.879	60.317	40.000	標準, シングル	40, 128, 88	1, 4, 23
1280x720	45.000	60.000	74.250	標準, シングル	110, 40, 220	5, 5, 20
1024x768	48.363	60.004	65.000	標準, シングル	24, 136, 160	3, 6, 29
1366x768	47.712	59.790	85.500	シングル	70, 143, 213	3, 3, 24
	48.000	60.000	72.000		14, 56, 64	1, 3, 28
1440x900	55.469	59.901	88.750	標準, シングル	48, 32, 80	3, 6, 17
	55.935	59.887	106.500	標準, シングル	80, 152, 232	3, 6, 25
1280x1024	63.981	60.020	108.000	標準, シングル	48, 112, 248	1, 3, 38
1920x1080	27.000	24.000	74.250	標準, シングル	638, 44, 148	4, 5, 36
	67.500	60.000	148.500	標準, シングル	88, 44, 148	4, 5, 36
2048x1080	66.576	59.924	147.000		48, 32, 80	3, 10, 18
	67.500	60.000	148.500	標準, シングル	44, 44, 64	4, 5, 36
2560x1080	66.636	59.978	181.250		48, 32, 80	3, 10, 18
	66.000	60.000	198.000	シングル	248, 44, 148	4, 5, 11
1920x1200	74.038	59.950	154.000	標準, シングル	48, 32, 80	3, 6, 26
	74.556	59.885	193.250	標準, シングル	136, 200, 336	3, 6, 36
2048x1200	74.049	59.959	163.500	標準, シングル	48, 32, 80	3, 10, 22
2560x1440	88.787	59.951	241.500	シングル	48, 32, 80	3, 5, 33
3840x2160	52.438	23.999	209.750	シングル	48, 32, 80	3, 5, 17
4096x2160	52.397	23.980	223.000		48, 32, 80	3, 10, 12

DVI マルチインプットモード列の設定を適用すると、該当する行のフォーマットがEDIDに記載されます。空欄はEDIDに記載されないため、コンピューター側の出力フォーマットの手動設定が必要となります。

DVI 1x2



FP : フロントポーチ
 SW : 同期信号期間
 BP : バックポーチ

マルチインプット結合解像度	各入力端子に入力する信号の解像度	水平周波数 [kHz]	垂直周波数 [Hz]	ドットクロック [MHz]	DVI マルチインプットモード	ブランキング情報	
						水平 FP, SW, BP	垂直 FP, SW, BP
2560x1080	1280x1080	66.493	59.850	95.750	1x2	48, 32, 80	3, 10, 18
2560x1440	1280x1440	88.715	59.902	127.750	1x2	48, 32, 80	3, 10, 28
2560x1600	1280x1600	98.611	59.910	142.000	標準, 1x2	48, 32, 80	3, 10, 33
3840x2160	1920x2160	52.512	23.956	132.750		104, 200, 304	3, 10, 19
		52.404	23.983	109.000		48, 32, 80	3, 10, 12
		54.000	24.000	148.500	標準* 2, 1x2	638, 44, 148	8, 10, 72
		67.500	30.000	148.500	1x2	88, 44, 148	8, 10, 72
4096x2160	2048x2160	52.515	23.957	142.000		112, 216, 328	3, 10, 19
		52.423	23.992	115.750		48, 32, 80	3, 10, 12
		54.000	24.000	148.500	標準* 2, 1x2	510, 44, 148	8, 10, 72
		67.500	30.000	148.500	1x2	44, 44, 64	8, 10, 72

DVI マルチインプットモード列の設定を適用すると、該当する行のフォーマットがEDIDに記載されます。空欄はEDIDに記載されないため、コンピューター側の出力フォーマットの手動設定が必要となります。

DVI 2x2

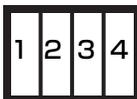
1	3
2	4

FP : フロントポーチ
 SW : 同期信号期間
 BP : バックポーチ

マルチイン プット結合 解像度	各入力端子に 入力する信号 の解像度	水平周波 数 [kHz]	垂直周波 数 [Hz]	ドットク ロック [MHz]	DVI マルチ インプット モード	プランキング情報	
						水平 FP, SW, BP	垂直 FP, SW, BP
3840x2160	1920x1080	27.000	24.000	74.250	標準, 2x2	638, 44, 148	4, 5, 36
		33.750	30.000	74.250	標準, 2x2	88, 44, 148	4, 5, 36
		66.587	59.934	138.500	標準, 2x2	48, 32, 80	3, 5, 23
		67.158	59.963	173.000	標準, 2x2	128, 200, 328	3, 5, 32
		67.500	60.000	148.500	標準, 2x2	88, 44, 148	4, 5, 36
4096x2160	2048x1080	27.000	24.000	74.250	2x2 * 2	594, 44, 64	4, 5, 36
		33.750	30.000	74.250	2x2 * 2	44, 44, 64	4, 5, 36
		66.576	59.924	147.000	2x2	48, 32, 80	3, 10, 18
		67.160	59.964	183.750		128, 216, 344	3, 10, 27
		67.500	60.000	148.500	標準, 2x2	44, 44, 64	4, 5, 36
4096x2304	2048x1152	70.992	59.909	156.750	標準*1, 2x2 * 1	48, 32, 80	3, 5, 25
		71.584	59.903	197.000	標準*1, 2x2 * 1	136, 216, 352	3, 5, 35
		72.000	60.000	162.000	標準*1, 2x2 * 1	26, 80, 96	1, 3, 44
3200x2400	1600x1200	74.006	59.924	130.250	2x2 * 1	48, 32, 80	3, 4, 28
		75.000	60.000	162.000	2x2 * 1	64, 192, 304	1, 3, 46
3840x2400	1920x1200	74.556	59.885	193.250	標準, 2x2 * 1	136, 200, 336	3, 6, 36
		74.038	59.950	154.000	標準, 2x2 * 1	48, 32, 80	3, 6, 26
4096x2400	2048x1200	74.582	59.905	205.250		136, 216, 352	3, 10, 32
		74.049	59.959	163.500	標準, 2x2 * 1	48, 32, 80	3, 10, 22

DVI マルチインプットモード列の設定を適用すると、該当する行のフォーマットがEDIDに記載されます。空欄はEDIDに記載されないため、コンピューター側の出力フォーマットの手動設定が必要となります。

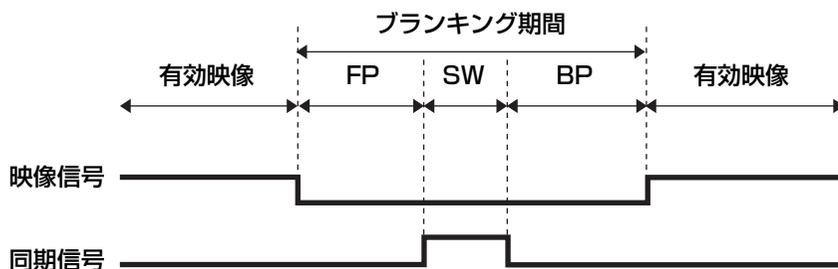
DVI 1x4



FP : フロントポーチ
 SW : 同期信号期間
 BP : バックポーチ

マルチイン プット結合 解像度	各入力端子に 入力する信号 の解像度	水平周波 数 [kHz]	垂直周波 数 [Hz]	ドットク ロック [MHz]	DVI マルチ インプット モード	ブランキング情報	
						水平 FP, SW, BP	垂直 FP, SW, BP
3840x2160	960x2160	134.036	59.918	178.000		80, 104, 184	3, 10, 64
		133.259	59.973	149.250	1x4 ※2	48, 32, 80	3, 10, 49
		133.319	60.000	138.652		8, 32, 40	48, 8, 6
		135.000	60.000	148.500	標準, 1x4	44, 22, 74	8, 10, 72
4096x2160	1024x2160	134.055	59.926	188.750		80, 112, 192	3, 10, 64
		133.235	59.962	157.750	1x4 ※2	48, 32, 80	3, 10, 49
		133.320	60.000	147.185		8, 32, 40	48, 8, 6
4096x2304	1024x2304	142.103	59.959	168.250	1x4 ※1	48, 32, 80	3, 10, 53
		143.111	59.979	201.500		80, 112, 192	3, 10, 69
		142.199	60.000	156.988	1x4 ※1	8, 32, 40	52, 8, 6
3840x2400	960x2400	147.991	59.940	165.750	1x4 ※1	48, 32, 80	3, 10, 56
		149.096	59.974	198.000		80, 104, 184	3, 10, 73
		148.139	60.000	154.065	標準※1, 1x4 ※1	8, 32, 40	55, 8, 6
4096x2400	1024x2400	148.970	59.924	209.750		80, 112, 192	3, 10, 73
		148.015	59.949	175.250	1x4 ※1	48, 32, 80	3, 10, 56
		148.139	60.000	163.546	標準※1, 1x4 ※1	8, 32, 40	55, 8, 6

DVI マルチインプットモード列の設定を適用すると、該当する行のフォーマットがEDIDに記載されます。空欄はEDIDに記載されないため、コンピューター側の出力フォーマットの手動設定が必要となります。



- ※1 [パネルドライブモード] が [4096x2400] のときのみ
- ※2 [パネルドライブモード] が [4096x2160] のときのみ
- ※3 [HDMI-1(2) EDID] が [9Gbps] のときはYCbCr420のみ対応 (RGB、YCbCr444、YCbCr422は非対応)

仕様一覧

■ 本体

形名		4K600STZ / 4K600Z	
表示方式		反射型液晶パネル (LCOS) × 3枚	
光学方式		ダイクロイックミラー、 偏光ビームスプリッターによる色分離・プリズムによる色合成方式	
表示 素子	有効表示域サイズ	0.76型 / 128:75 (約 17:10)	
	有効画素数	9,830,400 (4096 × 2400)	
	その他特徴	アクティブマトリックス方式	
投写 レン ズ	ズーム	1.3倍 (電動) (4K600STZ) / 1.76倍 (電動) (4K600Z)	
	フォーカス	電動	
	レンズシフト	V: ± 60% (電動) H: ± 10% (電動)	
	焦点距離	f = 17.2mm ~ 22.3mm (4K600STZ) / f = 22.7mm ~ 39.8mm (4K600Z)	
	F値	F2.6 (4K600STZ) / F2.6 ~ F2.75 (4K600Z)	
光源	種類	青色レーザーダイオード + 黄色蛍光体	
画面サイズおよび投写距離		最小: 101.6cm (40インチ) ~ 最大: 1524cm (600インチ)、 投写距離: 1.2m ~ 30.9m (4K600Z) 0.9m ~ 17.7m (4K600STZ)	
色数		1,677万色	
光出力 (*1)(*2) (光源モード: 標準 / 静音 1 / 静音 2)		6000 / 4560 / 2400lm	
コントラスト比 (*1)(*3)(*7)		4000:1 (全白:全黒、ネイティブ)	
周辺照度比 (*1)		80%	
スピーカ		5W、モノラル	
入力対応信号		対応信号 (186 ~ 190ページ) をご覧ください。	
表示 解像 度	コンピューター信号入力	最大入力解像度 4096 × 2400ドット	
	ビデオ信号入力	最大入力解像度 4096 × 2160ドット	
映 像 信 号	DVI 入力	DVI (single)	640 × 480, 800 × 600, 1280 × 720, 1024 × 768, 1366 × 768, 1440 × 900, 1280 × 1024, 1920 × 1080, 2048 × 1080, 2560 × 1080, 1920 × 1200, 2048 × 1200, 2560 × 1440, 3840 × 2160(*4), 4096 × 2160(*4)(*5)
		DVI (1 × 2)	2560 × 1080, 2560 × 1440, 2560 × 1600, 3840 × 2160(*4), 4096 × 2160(*4)
		DVI (2 × 2)	3840 × 2160, 4096 × 2160, 4096 × 2304(*6), 3200 × 2400(*6), 3840 × 2400(*6), 4096 × 2400(*6)
		DVI (1 × 4)	3840 × 2160, 4096 × 2160, 4096 × 2304(*6), 3840 × 2400(*6), 4096 × 2400(*6)
	HDMI 入力	HDMI (single)	640 × 480, 720 × 480, 720 × 576, 800 × 600, 1280 × 720, 1024 × 768, 1366 × 768, 1440 × 900, 1280 × 1024, 1920 × 1080, 2048 × 1080, 2560 × 1080, 1920 × 1200, 2048 × 1200, 2560 × 1440, 2560 × 1600, 3840 × 2160, 4096 × 2160
		HDMI (1 × 2)	1280 × 480, 1440 × 480, 1440 × 576, 2560 × 720, 3840 × 1080, 2560 × 1600, 3840 × 2160, 4096 × 2160, 3200 × 2400(*6), 3840 × 2400(*5)(*6)

製品の仕様

形名		4K600STZ / 4K600Z
映像信号入力端子	DVI-D × 4	デジタル PC (DVI コネクター 29ピン)
	HDMI × 2	デジタル PC、デジタルビデオ
その他 入出力 端子	ミニジャック	音声入力
	ミニジャック	音声出力
	ミニジャック	ワイヤードリモコン
	ミニジャック	トリガー出力 (12V)
	RS-232C	CONTROL (Dsub9)
	USB	USB Type A
	RJ-45	ネットワーク接続 (1000BASE-T/100BASE-TX/10BASE-T)
騒音	37 / 32 / 29 dB (光源モード: 標準 / 静音 1 / 静音 2)	
使用温度	0℃ ~ 45℃	
電源	AC100V ~ 240V 50 / 60Hz	
最大消費電力	665W	
待機 消費 電力	LAN OFF	0.4W
	LAN ON	0.8W
標準外形寸法	幅 559mm × 高さ 201mm × 奥行 624mm	
質量	26.0kg	
付属品	リモコン、リモコン用乾電池、電源コード、レンズキャップ、 重要なお知らせ (Important Information)、保証書	
無線 LAN	規格	IEEE802.11b/g/n
	対応チャンネル	1 ~ 11CH
	周波数帯域	2.4GHz 帯

(*1) 出荷時における本プロジェクター全体の平均的な値を示しており、JIS X 6911: 2015 データプロジェクターの仕様書様式に則って記載しています。測定方法、測定条件については附属書 B に基づいています。

(*2) イメージモードが [プレゼンテーション]、MB リダクションが [切]、光源モードが [標準] の場合。プロジェクター保護のため、使用環境温度の上昇に応じて、プロジェクターの光出力が低下することがあります。

(*3) パネルドライブモードが [4096x2400]、MB リダクションが [切]、光源モードが [標準] の場合。

(*4) 低周波数 (24 ~ 30Hz) のみ対応

(*5) EDID 非対応

(*6) パネルドライブモードが [4096x2400] の場合。

(*7) アイリス機能がクローズ 3 の場合。

※ 液晶パネルの有効画素は 99.99% 以上です。投写中 0.01% 以下の点灯したままの点や、消灯したままの点が見られる場合がありますが、これは液晶パネルの特性で生じるもので故障ではありません。

※ 長時間・連続使用の際は、光学部品の劣化を早めることがありますのでご注意ください。

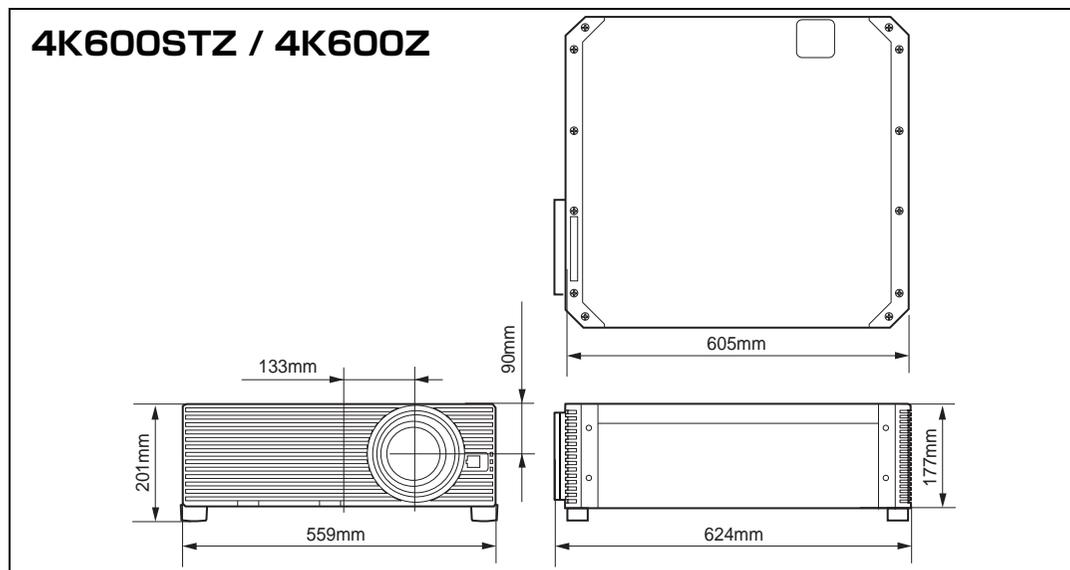
※ 本プロジェクターは JIS C 61000-3-2 適合品です。

※ 製品の仕様および外観の一部を予告なく変更することがあります。

■ リモコン

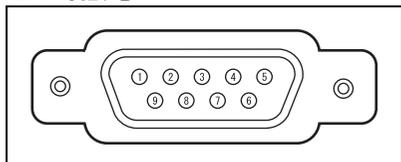
品番	RS-RC05
電源	DC3.0V 単3形乾電池2本使用
到達距離	約8m 縦横±25°(受光部正面)
本体寸法	幅51mm×高さ28mm×奥行176mm
質量	約100g

■ 外観図



■ サービス用端子 (CONTROL)

ピン配列



ピン番号	信号
1	OPEN
2	RxD
3	TxD
4	OPEN
5	GND
6	OPEN
7	内部プルアップ
8	OPEN
9	OPEN

通信フォーマット

通信方式 : RS-232C 調歩同期 半2重通信

通信速度 : 19200bps

キャラクタ長 : 8ビット

ストップビット : 1/2ビット

パリティ : なし

フロー制御 : なし

おもなユーザーコマンド

コマンド種		ASCII 表記	バイナリ表記
電源	電源 ON	POWER=ON<CR>	50h 4Fh 57h 45h 52h 3Dh 4Fh 4Eh 0Dh
	電源 OFF	POWER=OFF<CR>	50h 4Fh 57h 45h 52h 3Dh 4Fh 46h 46h 0Dh
電源状態取得		GET=POWER<CR>	47h 45h 54h 3Dh 50h 4Fh 57h 45h 52h 0Dh
入力ソース	HDMI-1	INPUT=HDMI1<CR>	49h 4Eh 50h 55h 54h 3Dh 48h 44h 4Dh 49h 31h 0Dh
	HDMI-2	INPUT=HDMI2<CR>	49h 4Eh 50h 55h 54h 3Dh 48h 44h 4Dh 49h 32h 0Dh
	HDMI 1X2	INPUT=HDMI1X2<CR>	49h 4Eh 50h 55h 54h 3Dh 48h 44h 4Dh 49h 31h 58h 32h 0Dh
	DVI-1	INPUT=D-RGB1<CR>	49h 4Eh 50h 55h 54h 3Dh 44h 2Dh 52h 47h 42h 31h 0Dh
	DVI-2	INPUT=D-RGB2<CR>	49h 4Eh 50h 55h 54h 3Dh 44h 2Dh 52h 47h 42h 32h 0Dh
	DVI-3	INPUT=D-RGB3<CR>	49h 4Eh 50h 55h 54h 3Dh 44h 2Dh 52h 47h 42h 33h 0Dh
	DVI-4	INPUT=D-RGB4<CR>	49h 4Eh 50h 55h 54h 3Dh 44h 2Dh 52h 47h 42h 34h 0Dh
	DVI 1X2	INPUT=D-RGB1X2<CR>	49h 4Eh 50h 55h 54h 3Dh 44h 2Dh 52h 47h 42h 31h 58h 32h 0Dh
	DVI 2X2	INPUT=D-RGB2X2<CR>	49h 4Eh 50h 55h 54h 3Dh 44h 2Dh 52h 47h 42h 32h 58h 32h 0Dh
	DVI 1X4	INPUT=D-RGB1X4<CR>	49h 4Eh 50h 55h 54h 3Dh 44h 2Dh 52h 47h 42h 31h 58h 34h 0Dh
入力ソース取得		GET=INPUT<CR>	47h 45h 54h 3Dh 49h 4Eh 50h 55h 54h 0Dh
イメージモード	スタンダード	IMAGE=STANDARD<CR>	49h 4Dh 41h 47h 45h 3Dh 53h 54h 41h 4Eh 44h 41h 52h 44h 0Dh
	プレゼンテーション	IMAGE=PRESENTATION<CR>	49h 4Dh 41h 47h 45h 3Dh 50h 52h 45h 53h 45h 4Eh 54h 41h 54h 49h 4Fh 4Eh 0Dh
	フォト/sRGB	IMAGE=PHOTO_SRGB<CR>	49h 4Dh 41h 47h 45h 3Dh 50h 48h 4Fh 54h 4Fh 5Fh 53h 52h 47h 42h 0Dh
	DICOM SIM	IMAGE=DCM_SIM<CR>	49h 4Dh 41h 47h 45h 3Dh 44h 43h 4Dh 5Fh 53h 49h 4Dh 0Dh
	ダイナミック	IMAGE=DYNAMIC<CR>	49h 4Dh 41h 47h 45h 3Dh 44h 59h 4Eh 41h 4Dh 49h 43h 0Dh
	ビデオ	IMAGE=VIDEO<CR>	49h 4Dh 41h 47h 45h 3Dh 56h 49h 44h 45h 4Fh 0Dh
	ユーザー 1	IMAGE=USER_1<CR>	49h 4Dh 41h 47h 45h 3Dh 55h 53h 45h 52h 5Fh 31h 0Dh
	ユーザー 2	IMAGE=USER_2<CR>	49h 4Dh 41h 47h 45h 3Dh 55h 53h 45h 52h 5Fh 32h 0Dh
ユーザー 3	IMAGE=USER_3<CR>	49h 4Dh 41h 47h 45h 3Dh 55h 53h 45h 52h 5Fh 33h 0Dh	
イメージモード取得		GET=IMAGE<CR>	47h 45h 54h 3Dh 49h 4Dh 41h 47h 45h 0Dh
明るさ	明るさ設定	BRI=<数値><CR>	42h 52h 49h 3Dh <数字コード> 0Dh
明るさ取得		GET=BRI<CR>	47h 45h 54h 3Dh 42h 52h 49h 0Dh
シャープネス	シャープネス設定	SHARP=<数値><CR>	53h 48h 41h 52h 50h 3Dh <数字コード> 0Dh

製品の仕様

コマンド種		ASCII 表記	バイナリ表記
シャープネス取得		GET=SHARP<CR>	47h 45h 54h 3Dh 53h 48h 41h 52h 50h 0Dh
コントラスト	コントラスト設定	CONT=<数値><CR>	43h 4Fh 4Eh 54h 3Dh <数字コード> 0Dh
コントラスト取得		GET=CONT<CR>	47h 45h 54h 3Dh 43h 4Fh 4Eh 54h 0Dh
アスペクト	オート	ASPECT=AUTO<CR>	41h 53h 50h 45h 43h 54h 3Dh 41h 55h 54h 4Fh 0Dh
	リアル	ASPECT=TRUE<CR>	41h 53h 50h 45h 43h 54h 3Dh 54h 52h 55h 45h 0Dh
アスペクト取得		GET=ASPECT<CR>	47h 45h 54h 3Dh 41h 53h 50h 45h 43h 54h 0Dh
ブランク	実行	BLANK=ON<CR>	42h 4Ch 41h 4Eh 4Bh 3Dh 4Fh 4Eh 0Dh
	解除	BLANK=OFF<CR>	42h 4Ch 41h 4Eh 4Bh 3Dh 4Fh 46h 46h 0Dh
ブランク取得		GET=BLANK<CR>	47h 45h 54h 3Dh 42h 4Ch 41h 4Eh 4Bh 0Dh

LED インジケータのワーニング

本体に異常が発生すると、電源が切れた後、本体側面部のLED インジケータが点灯または点滅し続けます。

- 本体の冷却が終了した後に、電源コードを抜いてから対処してください。

LED インジケータの状態	内容	原因と対処
WARNINGとTEMPが点灯	温度の異常	本体内部の温度が何らかの異常で高温になっているか、外気温度が規定以上になっています。本体側の異常の場合は、設置や操作が正しく行われているか確認し、電源プラグをコンセントから抜き、本体の内部をしばらく冷やしてから投写してください。吸気口または排気口がふさがれているときは、ふさいでいるものを取り除いてください。エアフィルターが目詰まりしている場合は、交換を行ってください。(P183) 再度、同じワーニングが表示される場合は、本体の故障が考えられます。*
WARNINGとLIGHTが点灯	光源の異常	光源が点灯しません。電源を入れ直して、投写されるか確認してください。それでも光源が点灯しない場合は、光源の駆動回路などの故障が考えられます。*
WARNINGのみが3回点滅を繰り返す	フィルター異常	エアフィルターの装着異常です。エアフィルターを正しく装着し、電源を入れ直してください。再度、同じワーニングが表示される場合は、本体の故障が考えられます。*
WARNINGのみが4回点滅を繰り返す	冷却ファンの異常	冷却ファンまたはその他の故障が考えられます。電源プラグをコンセントから抜き、再度コンセントに接続して電源を入れ直してください。再度、同じワーニングが表示される場合は、本体の故障が考えられます。*
WARNINGのみが5回点滅を繰り返す	電源の異常	電源の一部が異常な電圧になっているか、その他の故障が考えられます。電源プラグをコンセントから抜き、再度コンセントに接続して電源を入れ直してください。再度、同じワーニングが表示される場合は、本体の故障が考えられます。電源プラグをコンセントから抜いてください。*

* キヤノンお客様相談センターにご連絡ください。

困ったときのアドバイス

■ 電源が入らない

原因	対処のしかた
電源コードが正しく接続されていない	電源コードがきちんと接続されていることを確認してください。(P43)
電源コードを接続した直後である	電源プラグを接続し、1秒以上経過してから【POWER】ボタンを押してください。接続直後は電源を入れることができません。(P44)
吸気口または排気口がふさがれて本体内部の温度が上昇し、安全装置が作動した	安全装置の作動中は、電源コードを接続しても【POWER】インジケータは点灯しません。なお安全装置は安全のため、お客様が解除できないようになっています。吸気口または排気口をふさいでいるものを取り除き、キャノンお客様相談センターにご連絡ください。
エアフィルターが正しく取り付けられていない	エアフィルターが正しく取り付けられていることを確認してください。(P183)
キーロックが設定されている	本体またはリモコンのキーロック (P106) が設定されているか確認してください。

■ 映像が投写されない

原因	対処のしかた
接続ケーブルが正しく接続されていない	コンピューターやAV機器とプロジェクターとが正しく接続されていることを確認してください。(P36、P37)
電源を入れて20秒経過していない	電源を入れると、約20秒間オープニング画面が表示されます。すぐに映像を投写する場合は、リモコンまたは本体操作部の【OK】ボタンを押してください。(P21、P24)
AV機器から映像が送られていない	接続したビデオカメラ、DVDなどで、映像の再生が行われていることを確認してください。
入力端子への接続が正しくない	接続している機器が本体の入力端子へ正しく接続されていることを確認してください。(P23)
接続機器の入力信号が選ばれていない	接続している機器と同じ入力信号が正しく【INPUT】メニューから選ばれていることを確認してください。(P47)
入力信号の形式が合っていない	入力信号の形式が正しく選ばれていることを確認してください。(P47、P186)
【BLANK】になっている	リモコンの【BLANK】ボタンを押してください。(P62)
コンピューター側の問題で映像が送られない	プロジェクター、コンピューターの順で電源を入れ直してください。

原因	対処のしかた
ノート型コンピューター側の外部モニターへの出力が正しく設定されていない	ノート型コンピューターの外部モニターへの出力をオンに設定してください。外部モニターへの出力をオンにするには、コンピューターのキーボードの [Fn] を押しながら、[LCD] や [VGA] または画面のアイコンが表記されたファンクションキーを押します。Windows 10 / Windows 8.1 / Windows 7 ではWindows ロゴキーを押しながらP キーを押すと、画面出力を切り換えることができます。(P46) なお、キー操作はノート型コンピューターの種類によって異なります。詳しくは、ご使用のノート型コンピューターの取扱説明書などを確認してください。
コンピューターの画面と同じ映像が表示されない	コンピューターの画面設定が2画面(マルチディスプレイ)モードになっていないかを確認してください。2画面モードになっている場合は、コンピューター側の操作で出力設定を複製表示モードにしてください。 なお、出力設定の方法はコンピューターによって異なります。詳しくは、ご使用のコンピューターの取扱説明書などを確認してください。

■ 音が出ない

原因	対処のしかた
音声ケーブルが正しく接続されていない	音声ケーブルの接続を確認してください。(P36、P37)
MUTEになっている	リモコンの【MUTE】ボタンを押してください。(P25)
音量が最小に調整されている	リモコンの【VOL】ボタンまたは本体操作部の【VOL+】ボタンを押して音量を調整してください。(P21、P25)
抵抗内蔵の音声ケーブルが使用されている	音声ケーブルは、抵抗なしのものを使用してください。
音声入力端子の選択が[切]になっている	適切な音声入力端子の設定に変更してください。(P108)

■ 映像が鮮明でない

原因	対処のしかた
フォーカスが合っていない	フォーカスを調整してください。(P51)
スクリーンまでの距離が近すぎる	スクリーンとの距離が適正であるか確認してください。(P32)
本体がスクリーンの正面に置かれていない	スクリーンに対して過度に斜め方向から投写していないか確認してください。ある程度の角度であれば、キーストーンの補正機能で補正できます。(P56)
温度差の激しい場所に移動した	温度の低い場所から温度の高い場所に移動した場合、レンズにくもりが発生する場合があります。しばらくすると、くもりは消え、正常な画面の投写が可能になります。
レンズが汚れている	レンズを清掃してください。(P182)
動画がぼけて投写される	MBリダクションを設定してください。(P110)
MBリダクションが設定できない	イメージモードが [DICOM SIM] の場合には、MBリダクションが設定できません。

■ 映像が正しく表示されない

原因	対処のしかた
映像が上下、または左右逆に投写される	天吊り / リア投写の設定に誤りがあります。設置設定メニューで [反転表示] の設定内容を確認してください。(P92)
一部のピンが結線されていないコンピューターケーブルを使用している	全てのピンが結線されたコンピューターケーブルを使用してください。

■ 電源が切れてしまう

原因	対処のしかた
吸気口または排気口がふさがれている	吸気口または排気口がふさがれていないか確認してください。吸気口または排気口がふさがれていると、本体内部の温度が上昇し、本体保護のために自動的に電源が切れるようになっています。([WARNING] インジケーターと [TEMP] インジケーターが点灯します。) 本体の温度が下がってから、吸気口または排気口 (P20) をふさがないようにして、再度電源を入れてください。(P44)
エアフィルターが汚れている	エアフィルターがホコリなどで目詰まりしていないか確認してください。目詰まりしている場合はエアフィルターの交換を行ってください。(P183)

原因	対処のしかた
使用環境が適正でない	使用環境が0℃～45℃であることを確認してください。 (P13) 海拔2,300m以上の高地でご使用される場合は、プロジェクターの設定を変更する必要があります。設置設定メニューの[プロフェッショナル設定]の[高地設定]を[入]にしてください。(P96)

■ ネットワークに接続できない

原因	対処のしかた
LANケーブル(シールドタイプ)が正しく接続されていない	プロジェクターにLANケーブル(シールドタイプ)が正しく接続されていることを確認してください。(P120)
電源を入れて約40秒経過していない	電源を入れた直後の約40秒間はネットワークに接続できません。約40秒以上経過してから再度ネットワークに接続してください。(P145)
無線LANに接続できない	「ネットワークの設定」(P147～P148)、「無線LAN(Wi-Fi)について」(P123)、「詳細設定(無線)」(P131～P136)の手順に従い、再度設定してください。PJ APモードの場合、プロジェクター本体側で無線LANのチャンネル変更をお試しください(P131～P132)。インフラストラクチャーモードの場合、ご利用のアクセスポイント側で無線LANのチャンネル変更をお試しください。それでも接続ができない場合はキヤノンお客様センターにご連絡ください。

■ リモコンの操作ができない

原因	対処のしかた
電池が正しく入っていない / 電池が切れている	電池が正しく入っているか確認してください。電池が入っている場合は、新しい電池と交換してください。(P26)
リモコンの届かない位置から操作している	プロジェクター本体のリモコン受光範囲内で操作しているか確認してください。(P27)
リモコンと本体の間に障害物がある	プロジェクター本体のリモコン受光部とリモコンの間の障害物を取り除くか、障害物のない位置でリモコンを操作してください。
リモコンの使用環境が適正でない	プロジェクター本体のリモコン受光部に直射日光や照明器具の強い光が当たっていないか確認してください。(P27)
リモコンのチャンネル設定が合っていない	リモコンのチャンネル設定を切り換えていないか確認してください。システム設定メニューで [リモコンチャンネル] の設定を確認できます。(P107)
キーロックでリモコンの操作を禁止している	[キーロック] でリモコンからの操作がロックされていないか確認してください。 システム設定メニューで [キーロック] を [切] に設定してください。(P106)

英数字

4点補正	57
6軸色調整	88
AMX Device Discovery	138
ASPECT	55
AV 機器との接続	37
BLANK	62
Crestron RoomView	138
FREEZE	62
HDMI 端子	23, 36, 37
IMAGE	59
INPUT	47
KEYSTONE	56
LAN 端子	23
LED インジケータ	22, 197
MENU	66
OK	21, 24
PJLink	137, 164
POWER	44, 61
USB 端子	23
WARNING インジケータ	22, 197
Wi-Fi	4

あ

明るさ	84
アスペクト	55
アンビエントライト	86

い

イメージ調整	66, 82
イメージモード (画質)	59
インフォメーション	66, 140

え

エアフィルター	20, 183
映像の重なった部分の明るさを 調整する	171
エッジブレンディング	4, 97, 171

お

オート (アスペクト)	55
音声出力端子	23
音声入力端子	23

か

外部モニター切り換え	46
------------------	----

環境光による影響	86
ガンマ補正	84

き

キーストーン	56
キーロック	106
記憶色補正	88
起動時画面	103

け

言語	111
----------	-----

こ

光学的なズーム	51
コントラスト	84

し

システム設定	66, 102
シャープネス	84
信号形式	186

す

スーパーホワイト	79
スクリーン色補正	100

せ

接続端子	23
------------	----

た

台形ひずみ調整	56
ダイナミックガンマ	87
ダイレクトパワーオン	110

て

デジタル PC / DVI-D 端子	23
テストパターン	185
天吊り	31, 92

に

入力信号選択	47
入力端子	23

ね

ネットワーク設定	66, 120
ネットワークパスワード	125

の

ノイズリダクション 86, 87

は

パスワード 112, 113

ひ

表示解像度（コンピューターの準備） 49

表示言語の選択 45, 111

表示状態を設定する 66, 77

ほ

本体操作部 21

ま

マルチインプット 39, 93

む

無線 LAN 121, 126, 131

め

メニュー 66

ゆ

有線 LAN 126, 127

り

リア投写 31, 92

リアル（アスペクト） 55

リセット 58, 90, 119

リモコン 24, 25, 26, 107

れ

レンズシフト 34, 53

保証とアフターサービス

■この商品には保証書がついています

保証書は、本機に付属しています。お買い上げ日、販売店名などが記入されていることをお確かめの上、内容をお読みいただき、大切に保管してください。

なお、保証内容については保証書に記載しております。

■修理サービスのご相談

修理サービスのご相談は、裏表紙のキヤノンお客様相談センターにご相談ください。

■修理を依頼される前に

197～202ページの「困ったときには」にそって故障かどうかお確かめください。それでも直らない場合は、ただちに電源プラグをコンセントから抜き、修理をご依頼ください。

■修理方法

本商品は、引取修理させていただきます。

お客様先にプロジェクターを引取にお伺いし、修理完了後にお届けいたします。また、ご要望により代替機の貸出サービスを準備しております。

〈修理料金〉

保証期間内	引取修理サービス	無償
	代替機貸出サービス	無償
保証期間終了後	引取修理サービス	有償
	代替機貸出サービス	有償

※ 上記、引取サービスおよび代替機の貸し出しは、キヤノンお客様相談センターにてサービスをご利用いただいた場合に適用されます。

※ 引取修理サービスは、国内のみのお取り扱いとなります。

■修理を依頼されるときにご連絡いただきたいこと

- お客様のお名前
- ご住所、お電話番号
- 商品の機種名およびシリアルナンバー
- 故障の内容（できるだけ詳しく）

■補修用性能部品について

保守サービスの為に必要な補修用性能部品の最低保有期間は、製品の製造打切り後 7 年間です。（補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。）

別売品

● 天吊り金具 品番：RS-CL15* ¹	● 天吊りパイプ(600-1000mm)品番:RS-CL09* ²
● 天吊りアーム 品番：RS-CL17* ¹	● 交換エアフィルター 品番：RS-FL04
● 天吊りパイプ (400-600mm) 品番：RS-CL08* ²	● リモコン 品番：RS-RC05

*¹ 本機を天井に取り付ける場合、天吊り金具（RS-CL15）と天吊りアーム（RS-CL17）の両方が必要となります

*² 高い天井から本機を吊り下げる場合に使用します。

●長年ご使用のプロジェクターの点検をぜひ!

(熱、湿気、ホコリなどの影響や使用の度合いにより部品が劣化し、故障したり、時には、安全性を損なって事故につながることもあります。)

このような
症状は
ありませんか

- 電源スイッチを入れても映像や音が出ない。
- 映像が時々消えることがある。
- 変なにおいがしたり、煙が出たりする。
- 電源スイッチを切っても、映像や音が消えない。
- 内部に水や異物が入った。
- その他異常や故障がある。



ご使用
中止

故障や事故防止のため、
スイッチを切り、コンセントから電源プラグをはずして、必ず販売店にご相談ください。

お客様メモ

品番	
お買い上げ年月日	年 月 日
お買い上げ店名	☎

Canon

お客様相談センター(全国共通番号)

0570-08-0071

[受付時間] <平日>9:00~17:00

(土日祝日と年末年始弊社休業日は休ませていただきます)

※上記番号をご利用いただけない方は、03-6634-4487をご利用ください。

※受付時間は予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。